

第3期特定健康診査等実施計画

## 第2期データヘルス計画

(平成30～35年度)

平成30年3月作成

栃木県 日光市

# 目 次

## 第1章 計画の基本的事項

|                     |   |
|---------------------|---|
| 1 計画策定の背景・趣旨 .....  | 1 |
| 2 計画の位置づけ・期間 .....  | 1 |
| 3 KDB システムの活用 ..... | 2 |

## 第2章 現状の整理

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 1 日光市の状況 .....        | 3～4  |
| 2 国民健康保険被保険者の状況 ..... | 5    |
| 3 第1期計画の振り返り          |      |
| (1)成果指標からの評価 .....    | 6～10 |
| (2)評価結果のまとめ .....     | 10   |

## 第3章 医療情報・健診等の分析

|                                             |       |
|---------------------------------------------|-------|
| 1 医療費の推移                                    |       |
| (1)1人当りの年間医療費と受診率 .....                     | 11    |
| (2)被保険者1人当りの月間平均医療費の推移 .....                | 12    |
| (3)国民健康保険 受診率・被保険者1人当りの診療費・レセプト1件当りの診療費県内比較 | 13    |
| 2 日光市の疾病の現状                                 |       |
| (1)医療費から見た疾病構造 .....                        | 14    |
| (2)疾病傾向 .....                               | 15    |
| 3 日光市の生活習慣病の状況                              |       |
| (1)生活習慣病の推移 .....                           | 16～17 |
| (2)生活習慣病が占める医療費 .....                       | 18    |
| (3)生活習慣病が占める医療費の県内比較 .....                  | 19    |
| 4 糖尿病合併症及び人工透析の状況 .....                     | 20～21 |
| 5 後期高齢者の状況 .....                            | 22    |
| 6 介護認定の状況                                   |       |
| (1)介護認定審査会対象者の主たる疾病分類 .....                 | 23    |

|                                            |       |
|--------------------------------------------|-------|
| (2)要介護度別介護認定審査会対象者の主たる疾病分類(小分類) .....      | 24    |
| (3)地域・地区別要介護等認定状況 .....                    | 25    |
| 7 特定健診の状況                                  |       |
| (1)受診率と形態別受診者の推移 .....                     | 26    |
| (2)性別・年齢別受診状況 .....                        | 27    |
| (3)継続受診・継続未受診・不規則受診の推移 .....               | 27    |
| (4)地域・年齢別受診率 .....                         | 28    |
| (5)各種検査項目の有所見率 .....                       | 29    |
| (6)特定健診データ分析受診勧奨事業 .....                   | 30～32 |
| 8 特定保健指導の状況                                |       |
| (1)特定保健指導利用率・利用形態の推移 .....                 | 33～34 |
| (2)年齢別利用状況 .....                           | 34    |
| (3)メタボリックシンドローム該当・予備群及び特定保健指導該当者等の推移 ..... | 35～37 |
| (4)特定保健指導(会場方式)参加者分析 .....                 | 38    |
| (5)特定保健指導修了者の変化 .....                      | 39    |
| (6)特定保健指導参加者の指導前後の健診結果の比較 .....            | 40～41 |
| (7)尿中塩分量測定 of 状況 .....                     | 42～44 |
| 9 その他の保健事業                                 |       |
| (1)若年層の一般健康診査・保健指導実施状況 .....               | 45    |
| (2)歯科健診受診者の年次推移及び有所見率 .....                | 46    |
| (3)脳ドック・人間ドック受診状況 .....                    | 47～48 |
| (4)健康づくり推進事業 .....                         | 49    |
| (5)後期高齢者(はつらつ)健診受診状況 .....                 | 50    |
| 10 分析のまとめ .....                            | 51～54 |
| 11 現状の保健事業 .....                           | 55～56 |

## 第4章 目的・目標の設定及び評価指標

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| 1 目的・目標の設定 .....      | 57    |
| 2 データヘルス計画の参考指標 ..... | 58    |
| 3 データヘルス計画の評価指標 ..... | 59～60 |

## 第5章 保健事業の実施内容

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 1 「優先的課題」に対する疾患毎の対応策（保健事業） ..... | 61 |
| 2 保健事業の概要① .....                 | 62 |
| 3 保健事業の概要②（平成30～35年度） .....      | 63 |

## 第6章 個人情報保護

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 1 特定健診・特定保健指導の記録データの保存方法 ..... | 64 |
| 2 健康記録情報の保存年限 .....            | 64 |
| 3 健康記録情報の管理方法 .....            | 64 |

## 第7章 計画の公表及び周知

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 1 特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画の公表 ..... | 64 |
| 2 特定健康診査等実施の周知 .....             | 64 |

## 第8章 計画の評価及び見直し .....

65

## 第9章 その他の事項

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1 関係機関との連携 .....     | 66 |
| 2 地域包括ケアに係る取組み ..... | 66 |

## 参考資料

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| メタボリックシンドローム診断と特定保健指導階層化 ..... | 67 |
| 略語解説 .....                     | 68 |

# 第1章 計画の基本的事項

## 1. 計画策定の背景・趣旨

近年、特定健康診査（以下「特定健診」という）の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト等」という）の電子化の整備の進展、国保データベースシステム（以下「KDBシステム」という）の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して国民健康保険被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいます。

こうした中、平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として保健事業実施計画（以下「データヘルス計画」という。）の作成、公表、事業実施、評価等の取組を推進し、データを活用した効率的、効果的な保健事業の展開が求められました。

また、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針の一部改正を受け、健康・医療情報等の客観的なデータを活用してPDCAに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、データヘルス計画を策定し、保健事業の実施及び評価を行うこととされました。

日光市では、平成25年度に「第2期特定健康診査等実施計画」（計画期間：平成25年度～平成29年度）を策定、また、平成26年度に「第1期データヘルス計画」（計画期間：平成26年度～平成29年度）を策定し、多くの被保険者の方に健康に対する関心をもっていただき、医療費の適正化を図ることを目標として事業を実施してきたところです。第1期データヘルス計画が平成29年度をもって最終年度を迎えることから第1期データヘルス計画を評価し、それを踏まえた上で、第2期データヘルス計画を策定します。

## 2. 計画の位置づけ・期間

本計画は、国民健康保険法（昭和33年法律第192号）第82条第4項の規定に基づき厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という）の一部改正に基づいて策定します。

現在、同時に策定している「第3期特定健康診査等実施計画」と合わせ、データ分析結果から抽出された課題や、取組み内容等を含めて明記することで、現在、実施している事業の見直しと継続の必要性を検証します。そのうえで、今後、継続する事業内容の更なる充実と実績の向上を図るため、「第3期特定健康診査等実施計画」を踏まえて保健事業全体の方向性を網羅したデータヘルス計画を策定します。また、データヘルス計画について、関係課と連携・情報共有を進め、外部有識者や被保険者等が委員を務める国民健康保険運営協議会にて報告し策定します。

策定にあたっては、第2次日光市総合計画前期基本計画及び第2次健康にっこう21計画、第2次食育推進計画、歯科保健推進計画と整合性を図ります。

計画の期間は、平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

### 3. KDBシステムの活用

データヘルス計画の策定にあたってはKDBシステムにより得られる情報を多く活用します。

KDBシステムとは、国民健康保険団体連合会が各種業務を通じて管理している健診や医療、介護の情報に基づき、各種統計情報や個人の健康に関するデータを作成し情報提供することで、効果的・効率的な保健事業の実施をサポートするために作られたシステムです。

KDBシステムの導入により、地域の現状や健康課題を把握するとともに、統一された指標、基準で国や県、同規模の市町村と比較することができるため、特性に合わせた保健事業の展開が期待されます。

#### 【 健康づくり関連計画との関連・期間 】

|     | H25<br>年度         | H26<br>年度        | H27<br>年度 | H28<br>年度              | H29<br>年度 | H30<br>年度 | H31<br>年度      | H32<br>年度 | H33<br>年度 | H34<br>年度 | H35<br>年度 |
|-----|-------------------|------------------|-----------|------------------------|-----------|-----------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 日光市 |                   |                  |           |                        |           |           |                |           |           |           |           |
|     | 日光市総合計画<br>(後期計画) |                  |           | 第2次日光市総合計画<br>(前期基本計画) |           |           |                |           | (後期基本計画)  |           |           |
|     |                   |                  |           |                        |           |           |                |           |           |           |           |
|     |                   | 第2次日光市健康にっこう21計画 |           |                        |           |           |                |           |           |           |           |
|     |                   |                  |           |                        |           |           |                |           |           |           |           |
|     |                   | 第2次日光市食育推進計画     |           |                        |           |           | 第3次日光市食育推進計画   |           |           |           |           |
|     |                   |                  |           |                        |           |           |                |           |           |           |           |
|     |                   | 日光市歯科保健推進計画      |           |                        |           |           | 第2次日光市歯科保健推進計画 |           |           |           |           |
|     |                   |                  |           |                        |           |           |                |           |           |           |           |
|     |                   | 第2期特定健康診査等実施計画   |           |                        |           |           | 第3期特定健康診査等実施計画 |           |           |           |           |
|     |                   | 第1期データヘルス計画      |           |                        |           |           | 第2期データヘルス計画    |           |           |           |           |

## 第2章 現状の整理

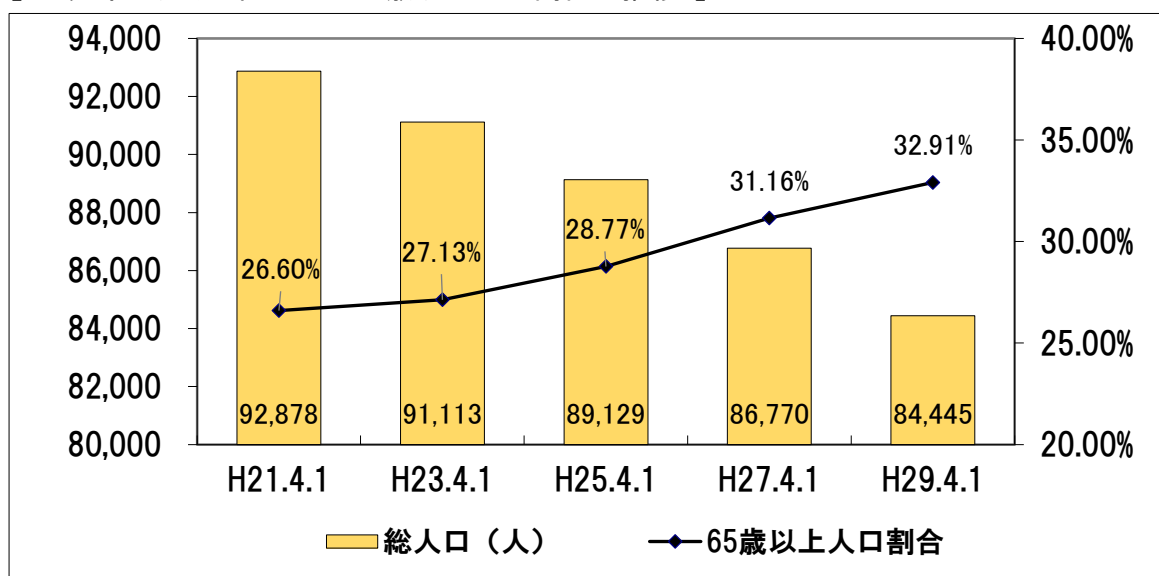
### 1. 日光市の状況

平成29年4月1日現在の日光市の人口は、84,445人で年々減少しており、65歳以上の人口割合は32.91%で年々高齢化が進んでいます。

平成27年度の死因順位は、悪性新生物（がん）が最も多く、次いで心疾患、脳血管疾患となっており、心疾患の占める割合は、県と比べ高い状況です。

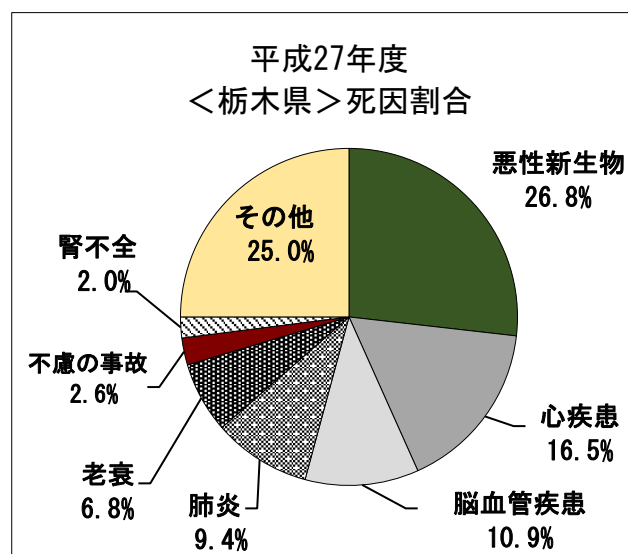
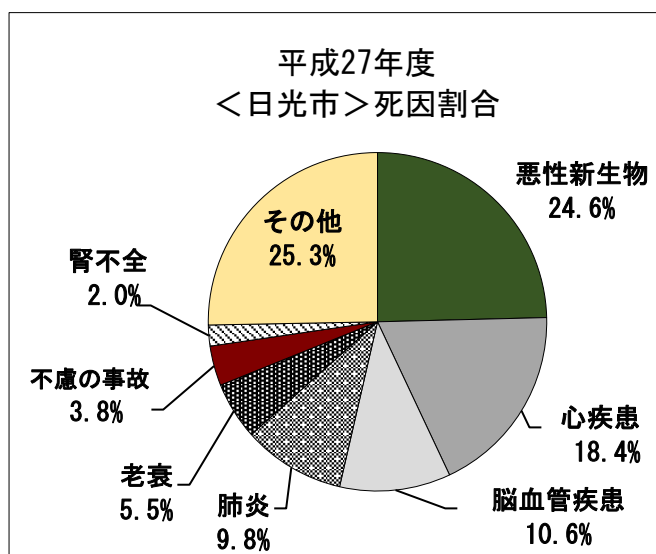
また、男女別でみると男性はがんが3割近く占めており、女性は心疾患が19.6%を占め高い状況となっています。

【 日光市における総人口と65歳以上人口割合の推移 】



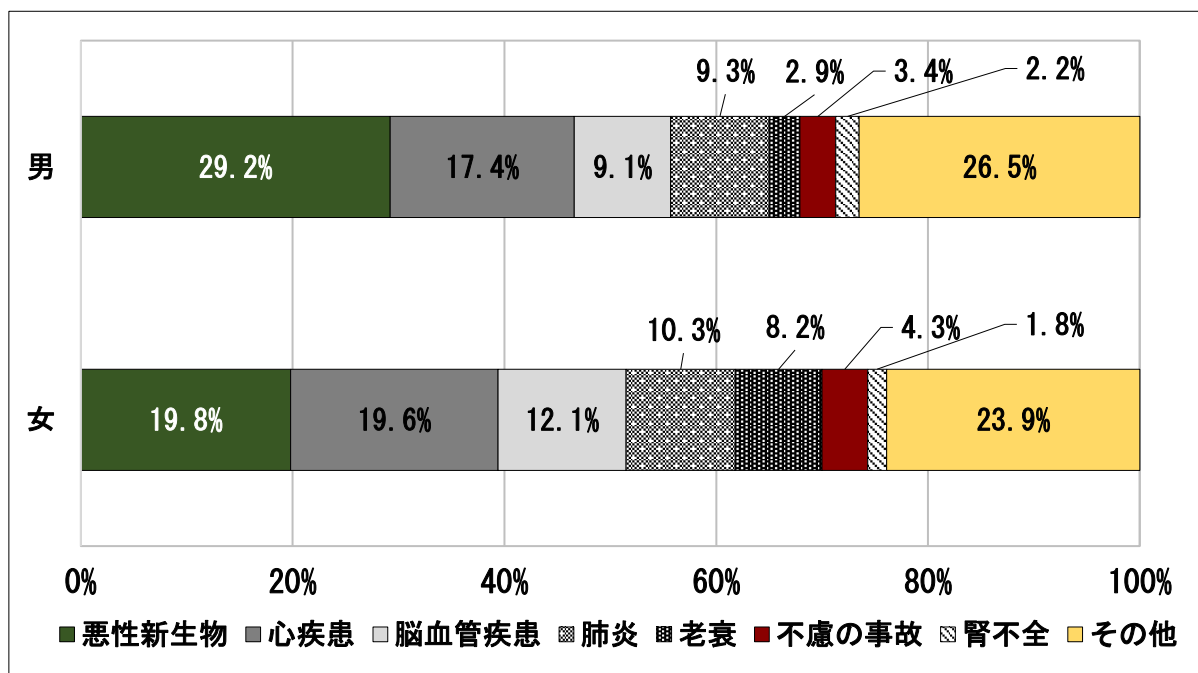
＜人口統計表より＞

【 日光市と栃木県における死因割合 】

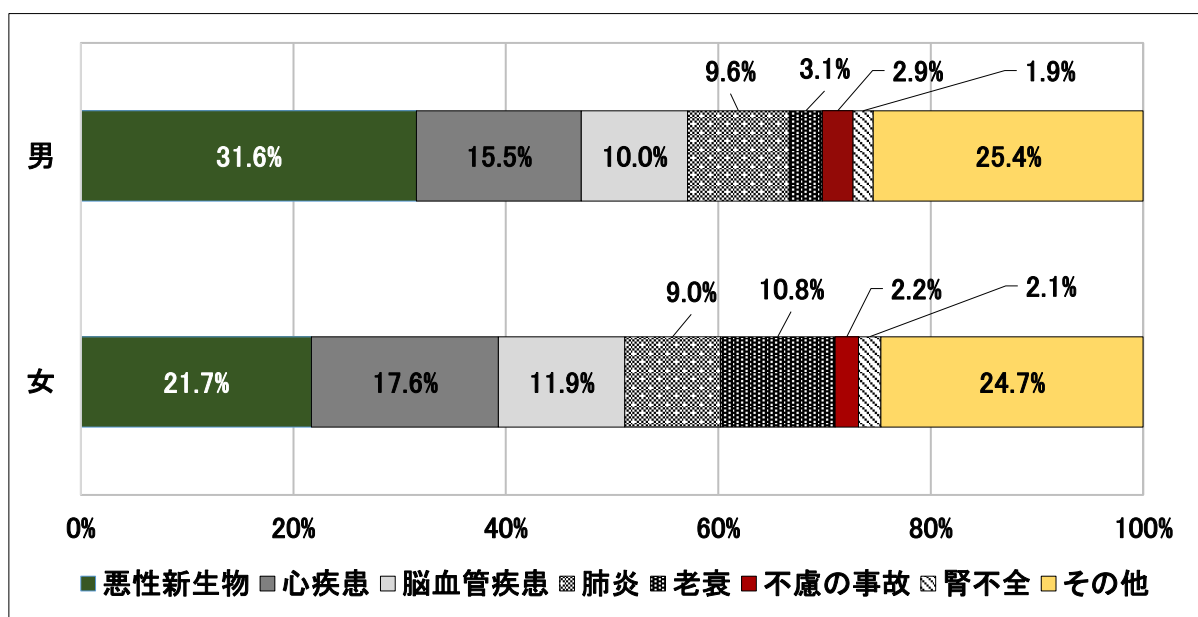


＜平成27年度版栃木県保健統計年報より＞

【 平成27年度 日光市における男女別死因割合 】



【 平成27年度 栃木県における男女別死因割合 】



＜平成27年度版栃木県保健統計年報より＞

【 （参考） 平成28年度 死因割合の県平均・同規模県・国との比較 】

| 死因  | 日光市  |      | 県    | 同規模<br>(県) | 国    |
|-----|------|------|------|------------|------|
|     | H25  | H28  |      |            |      |
| がん  | 0.3% | 0.3% | 0.3% | 0.3%       | 0.3% |
| 心臓病 | 0.2% | 0.2% | 0.2% | 0.2%       | 0.2% |
| 脳疾患 | 0.2% | 0.1% | 0.1% | 0.1%       | 0.1% |

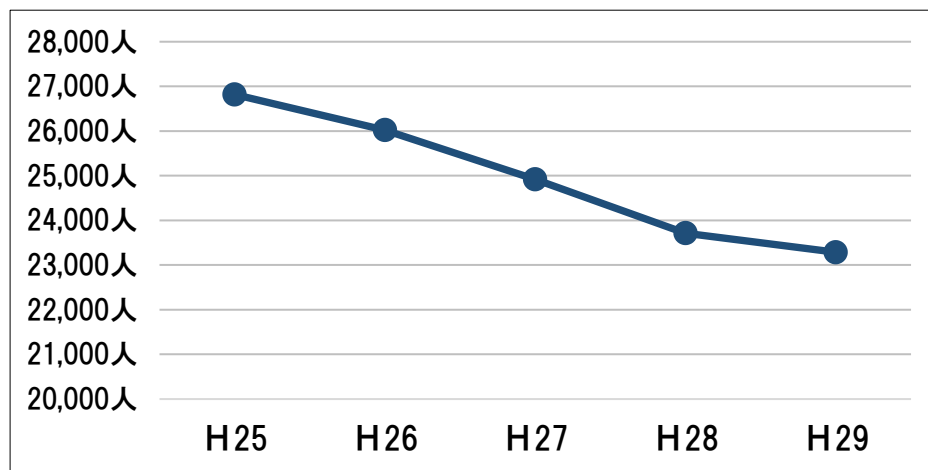
＜KDB システムより＞

## 2. 国民健康保険被保険者の状況

日光市国民健康保険被保険者数は、減少傾向にあります。

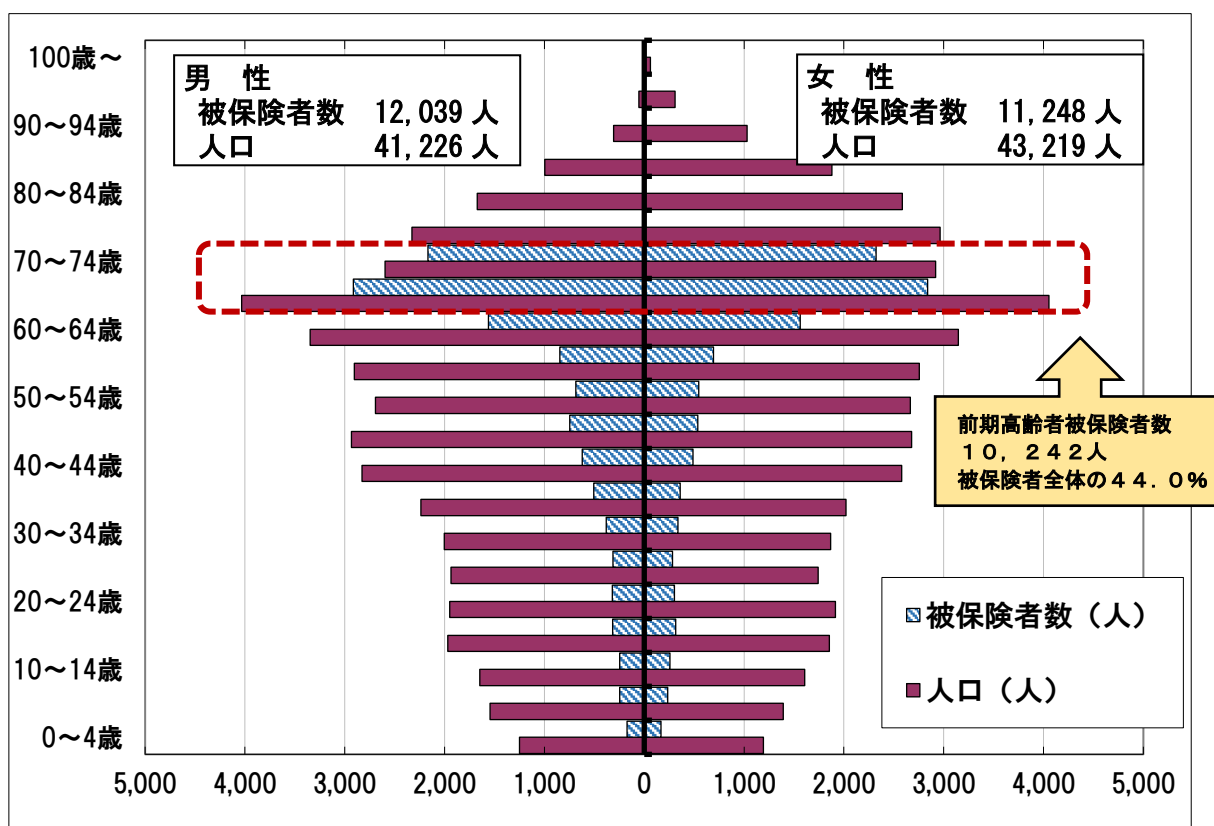
平成29年4月1日現在の被保険者の年齢構成は、65歳から74歳の前期高齢者が44.0%を占めており、特に65歳から69歳が男女ともに多くなっています。また、高齢になるほど国民健康保険への加入率が高くなっています。

【 被保険者数の推移 】



<各年4月1日現在>

【 被保険者数と人口の割合 】



<平成29年4月1日現在>

### 3. 第1期計画の振り返り

#### (1) 成果指標からの評価

##### ① アウトプット評価

実施量を立案した計画の実施率や開催回数で評価します。

##### A. 特定健診

受診率及び男性受診率はやや向上し、年々増加傾向にあります。しかし、新規受診者及び継続受診者の伸び率は低下しています。受診率の増加は不定期受診者の受診と思われます。

不定期受診者には、毎年受診する行動の習慣化に向けた支援の継続が必要です。新規受診者はレセプトの有無別に勧奨内容を変えて通知しましたが、通院者については健診受診にはなかなかつながらない現状です。

| No. | 項 目                                   |                    | H26年度 | H27年度             | H28年度             | 第1期中長期<br>目標<br>(H29年度) |
|-----|---------------------------------------|--------------------|-------|-------------------|-------------------|-------------------------|
| 1   | 特定健診受診率の増加                            | 目標値<br>前年度目標の1.5%増 | 41.0% | 評価指標<br>の再設定43.9% | 評価指標<br>の再設定44.8% | 45.5%                   |
|     |                                       | 実績(決算値)            | 42.4% | 43.3%             | 44.8%             |                         |
| 2   | 男性の受診率の増加                             | 目標値<br>前年度目標の2.0%増 | 36.3% | 38.3%             | 40.3%             | 42.3%                   |
|     |                                       | 実績(決算値)            | 35.3% | 36.0%             | 37.2%             |                         |
| 3   | 新規受診者の増加<br>※過去3年間未受診で<br>当年度受診した人の割合 | 目標値<br>前年度目標の0.2%増 | 3.7%  | 3.9%              | 4.1%              | 4.3%                    |
|     |                                       | 実績(決算値)            | 3.2%  | 2.8%              |                   |                         |
| 4   | 継続受診者の増加<br>※3年間継続受診した人の割合            | 目標値<br>前年度目標の2.0%増 | 29.0% | 31.0%             | 33.0%             | 35.0%                   |
|     |                                       | 実績(決算値)            | 28.2% | 27.8%             |                   |                         |

※特定健診受診率の増加については、平成27年度より評価指標の再設定を行い、目標値を前年度実績から1.5%増とすることに改めました。

##### B. 特定保健指導

利用率は年度により変動がありますが、中長期目標には届かない状況でした。

継続利用者は年々増加しており、リスクが改善されるまで利用する必要性のメッセージを伝えること、利用して満足できるような支援を委託している業者と検討しながら実施してきたことが、継続利用の増加につながったと思われます。また、未終了者には、脱落者の理由を確認し、6ヶ月間継続できるような支援方法を検討し、対応する必要があります。

| No. | 項 目                  |                    | H26年度 | H27年度             | H28年度             | 第1期中長期<br>目標<br>(H29年度) |
|-----|----------------------|--------------------|-------|-------------------|-------------------|-------------------------|
| 5   | 特定保健指導利用率の増加         | 目標値<br>前年度目標の1.5%増 | 46.0% | 評価指標<br>の再設定48.2% | 評価指標<br>の再設定49.6% | 50.5%                   |
|     |                      | 実績(決算値)            | 46.7% | 48.1%             | 46.5%             |                         |
| 6   | 継続利用者の増加<br>※2年連続参加率 | 目標値<br>前年度目標の1.0%増 | 36.9% | 37.9%             | 38.9%             | 39.9%                   |
|     |                      | 実績(決算値)            | 49.6% | 63.2%             |                   |                         |

※特定保健指導利用率の増加については、平成27年度より評価指標の再設定を行い、目標値を前年度実績から1.5%増とすることに改めました。

【 参考：法定報告値 】

|           | H26年度 | H27年度 | H28年度 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 特定健診受診率   | 39.6% | 40.1% | 41.3% |
| 特定保健指導終了率 | 42.4% | 44.3% | 45.1% |
| 特定保健指導利用率 | 44.7% | 55.8% | 43.1% |

C. 若年層保健事業

一般健康診査受診者（男性）は昨年度より若干増加しました。受診勧奨は健康課と連携し、他関係課の協力を得て実施してきました。この年代は、健康不安が少ない年齢層であり、また就労による国保加入・喪失の変動、非正規雇用者の職場健診受診等が考えられます。

若年層から健康意識を向上させ、将来の重症化を予防するため、引き続き、関係課と連携・協力しながらポピュレーション及びハイリスク両面から継続的にアプローチしていく必要があると考えられます。

| No. | 項 目                                       |                    | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 第1期中長期<br>目標<br>(H29年度) |
|-----|-------------------------------------------|--------------------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 7   | 若年層19歳～39歳（男性）の<br>一般健康診査受診者増加<br>※国保加入者分 | 目標値<br>前年度目標の20人増  | 173人  | 193人  | 213人  | 233人                    |
|     |                                           | 実績（決算値）            | 170人  | 146人  | 149人  |                         |
| 8   | 若年層の保健指導（動機づけ支援）<br>利用率の増加                | 目標値<br>前年度目標の0.5%増 | 25.5% | 26.0% | 26.5% | 27.0%                   |
|     |                                           | 実績（決算値）            | 28.3% | 27.5% | 25.5% |                         |

② アウトカム評価

事業を実施したことによる成果を目標の達成度で評価します。成果が出るまでには、中長期的追跡が必要となります。

A. 特定健診結果有所見率の低下および脳血管疾患による死因割合の減少、生活習慣病保有者割合の減少

中性脂肪の有所見率は変動があります。HbA1cは年々増加しており、H26年度に急増しています。

また、生活習慣病保有者割合は年々微増している状況です。

HbA1c値の改善は、一時的な生活習慣改善ではなく、適正な生活習慣の継続が必要です。

| 期間    | No. | 項 目             |                    | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 第1期中長期<br>目標<br>(H29年度) |
|-------|-----|-----------------|--------------------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 短期・中期 |     | 特定健診結果有所見率の低下   |                    |       |       |       |                         |
|       | 1   | (男性) 中性脂肪の有所見率  | 目標値<br>前年度目標の0.5%減 | 22.3% | 21.8% | 21.3% | 20.8%                   |
|       |     |                 | 実績（決算値）            | 23.5% | 22.1% | 23.3% |                         |
|       | 2   | (男性) HbA1cの有所見率 | 目標値<br>前年度目標の1.0%減 | 43.9% | 42.9% | 41.9% | 40.9%                   |
|       |     |                 | 実績（決算値）            | 56.6% | 57.4% | 59.0% |                         |

| 期間 | No. | 項 目                                          | H26年度   | H27年度 | H28年度 | 長期目標<br>(H36年度) |
|----|-----|----------------------------------------------|---------|-------|-------|-----------------|
| 長期 | 1   | 脳血管疾患による死因割合の減少<br>(H36年度の評価指標はH25年度県平均値を計上) | 評価指標    | 現状把握  | 現状把握  | 0.1%            |
|    |     |                                              | 実績(決算値) | 0.2%  | 0.1%  |                 |
|    | 2   | 生活習慣病保有者割合の減少                                | 評価指標    | 現状把握  | 現状把握  | 34.9%           |
|    |     |                                              | 実績(決算値) | 38.2% | 39.1% |                 |

## B. 特定保健指導効果、特定保健指導減少率、メタボ該当者及び予備群該当者割合の減少

指導効果は計画時と比べ、平均体重は増加傾向です。中性脂肪は減少し、評価指標を達成しました。

指導対象者の減少率(特定保指導実施+未実施者減少率)は年々増加傾向、特定保健指導実施者の減少率も年々増加傾向にあり、それがメタボ該当者・予備群該当者割合の減少につながり、該当者もやや減少したと思われます。

| 期<br>間                | No. | 項 目                                |                      | H26年度           | H27年度           | H28年度           | 第1期中長期<br>目標<br>(H29年度) |
|-----------------------|-----|------------------------------------|----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------------|
| 短<br>期<br>・<br>中<br>期 |     | 特定保健指導効果                           |                      |                 |                 |                 |                         |
|                       | 3   | 翌年度健診：<br>平均体重減少                   | 目標値<br>前年度目標の0.1kg減  | -1.65kg         | 1.75kg          | 1.85kg          | -1.95kg                 |
|                       |     |                                    | 実績（決算値）              | -1.52kg         | -1.48kg         |                 |                         |
|                       | 4   | 翌年度健診：<br>中性脂肪値減少                  | 目標値<br>前年度目標の-1mg/dl | -16.43<br>mg/dl | -17.03<br>mg/dl | -18.21<br>mg/dl | -19.43<br>mg/dl         |
|                       |     |                                    | 実績（決算値）              | -12.03<br>mg/dl | -16.21<br>mg/dl |                 |                         |
|                       |     | 特定保健指導減少率                          |                      |                 |                 |                 |                         |
|                       | 5   | 昨年度の特定保健指導対象者の<br>うち、対象ではなくなった者の割合 | 目標値<br>H25現状を維持する    | 22.4%           | 22.4%           | 22.4%           | 22.4%                   |
|                       |     |                                    | 実績（決算値）              | 21.5%           | 23.8%           | 23.0%           |                         |
|                       | 6   | 特定保健指導による特定保健指<br>導対象者の減少率         | 目標値<br>前年度目標の0.5%増   | 28.3%           | 28.8%           | 29.3%           | 29.8%                   |
|                       |     |                                    | 実績（決算値）              | 25.0%           | 31.2%           | 26.1%           |                         |

| 期間 | No. | 項 目                                              | H26年度   | H27年度 | H28年度 | 長期目標<br>(H36年度) |
|----|-----|--------------------------------------------------|---------|-------|-------|-----------------|
| 長期 |     | メタボ該当者及び予備群該当者割合の減少<br>(H36年度の評価指標はH25年度県平均値を計上) |         |       |       |                 |
|    | 3   | メタボ該当者割合の減少                                      | 評価指標    | 現状把握  | 現状把握  | 15.0%           |
|    |     |                                                  | 実績(決算値) | 15.6% | 15.5% |                 |
|    | 4   | メタボ予備群該当者割合の減少                                   | 評価指標    | 現状把握  | 現状把握  | 11.7%           |
|    |     |                                                  | 実績(決算値) | 11.5% | 10.7% |                 |

### ③プロセス評価

目的達成に向けた実施過程や活動状況を評価します。

| No. | 項目                                  | 内容                                                                               |
|-----|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 受診率・実施率・受診者数・参加者数等を向上させるための工夫点等の再確認 | ・目標を達成するために、毎年、左記視点での見直し・評価を実施<br>・その結果に基づいて実施方法等を修正し、毎年度作成する「保健事業個別実施計画書」に反映させる |
| 2   | 関係機関・関係課との連携体制の構築                   |                                                                                  |
| 3   | 特定健診未受診者・特定保健指導不参加者の行動変容に至る働きかけの有無等 |                                                                                  |

#### A. 向上に向けた再確認及び関係機関・関係課との連携

受診率・実施率等を向上させるために、定期的に関係課・関係機関と協議の場を設定し、実施経過及びその結果の確認・評価を行っています。その上で今後の方向性等を導き、事業の継続・変更・拡充を決定し、次の事業計画・実施につなげ、プロセス評価を実施しています。

#### B. 特定健診未受診者・特定保健指導不参加者への働きかけ

特定健診未受診者については、広く周知・啓発をする働きかけをすると共に、一部業務委託し、未受診者の特性別（受診歴・健康意識・通院の有無等）且つ個別に働きかける方法を平成26年度から引き続き実施しています。毎年度、前年度の結果を基に評価・検討し、課題解決に向けた事業計画を策定しています。

インセンティブとして、平成27年度から健診受診を必須条件としてにっこう健康マイレージを開始し、今後も継続実施により周知していく必要があります。

特定保健指導不参加者には、個別に通知・電話等での複数回にわたる働きかけをしています。参加に向けてにっこう健康マイレージの活用や、特典（尿中塩分量測定の実施や健康グッズ配布等）を付けています。

### ④ストラクチャー評価

事業を実施するための仕組みや体制が整っているかを評価します。

| No. | 項目                              | 内容                                                                               |
|-----|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 医師会、歯科医師会、薬剤師会への協力依頼と連携による事業の実施 | ・目標を達成するために、毎年、左記視点での見直し・評価を実施<br>・その結果に基づいて実施方法等を修正し、毎年度作成する「保健事業個別実施計画書」に反映させる |
| 2   | 行政内関係各課との連携による事業の効率的・効果的組立てを実施  |                                                                                  |
| 3   | 市内各関係事業所、関連組織等への働きかけによる事業の協働実施等 |                                                                                  |

#### A. 医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携

毎年度、行政で協力を得ている各種事業に関する協議の機会を定例で持っています。事業の変更を検討する際には、説明・相談し、円滑に行えるよう努めている状況です。また、各団体

からの推薦者に国保運営協議会委員になって頂き、ご理解・ご意見を頂いています。

## B. 関係各課との連携による事業の実施

健康課や各地区公民館事業の中で生活習慣病予防事業や健診受診勧奨に向け、教育委員会等にも協力を得て、実施しています。今後も関係課との連携を図り、地域の特性を見ながら、効率的かつ効果的な事業を実施していく必要があります。

## C. 市内各事業所・関連組織との協働実施

引き続き、市内事業所からの事業主健診結果の情報提供等、協働で実施していきます。

## (2) 評価結果のまとめ

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特定健診   | <ul style="list-style-type: none"><li>・特定健診の受診率は、年々増加しているものの、目標値には達していない</li><li>・新規受診者及び継続受診者の伸び率は低下している</li><li>・受診率の増加は不定期受診者の受診と思われる</li></ul>  <ul style="list-style-type: none"><li>・健診を一度も受診していない人への受診勧奨を行い、継続受診につなげる対策の検討</li><li>・不定期受診者への継続受診につながる対策の検討</li><li>・医療機関へ通院しているが、健診を受けていない未受診者には、医療機関への協力を行う等連携体制の構築</li></ul> |
| 特定保健指導 | <ul style="list-style-type: none"><li>・利用率は年々増加傾向にあるが、年度により変動があり、評価指標には届いていない</li></ul>  <ul style="list-style-type: none"><li>・アンケートにより特定保健指導未利用者や未終了者の理由を把握しているので、保健指導につながる方法の検討及び脱落者を減らす取り組みについての検討</li><li>・医関係機関との連携協力により継続的な働きかけの実施</li></ul>                                                                                 |
| 重症化予防  | <ul style="list-style-type: none"><li>・健診結果において、血糖値(HbA1c)の有所見者の増加や血圧、脂質代謝の有所見率が高い</li></ul>  <ul style="list-style-type: none"><li>・今後も重症化予防に向けた対策の強化</li><li>・医師会・医療機関など関係機関との連携した体制づくりの推進</li></ul>                                                                                                                              |

### 第3章 医療情報・健診等の分析

#### 1. 医療費の推移

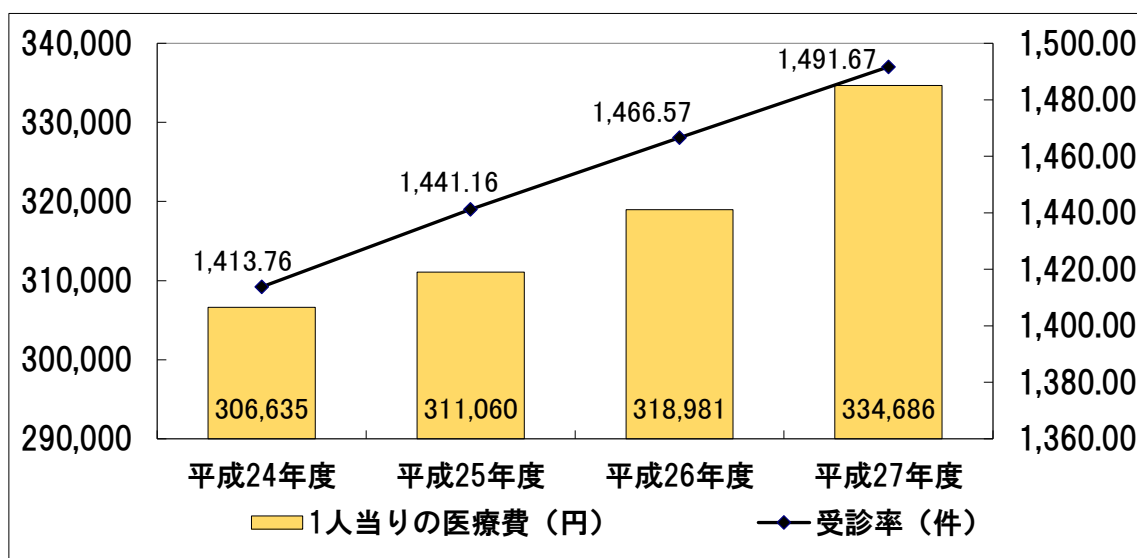
##### (1) 1人当りの年間医療費と受診率

被保険者の医療費は年々増加傾向にあります。

1人当りの医療費の推移をみると、平成24年度の306,635円から平成27年度には334,686円に増加し、医療機関への受診率も上昇しています。

また、平成27年度の医療費を男女別で見ると、男性は女性に比べ医療機関への受診率は低いものの、1人当りの医療費は男性の方が高く、45歳から医療費が増加しています。

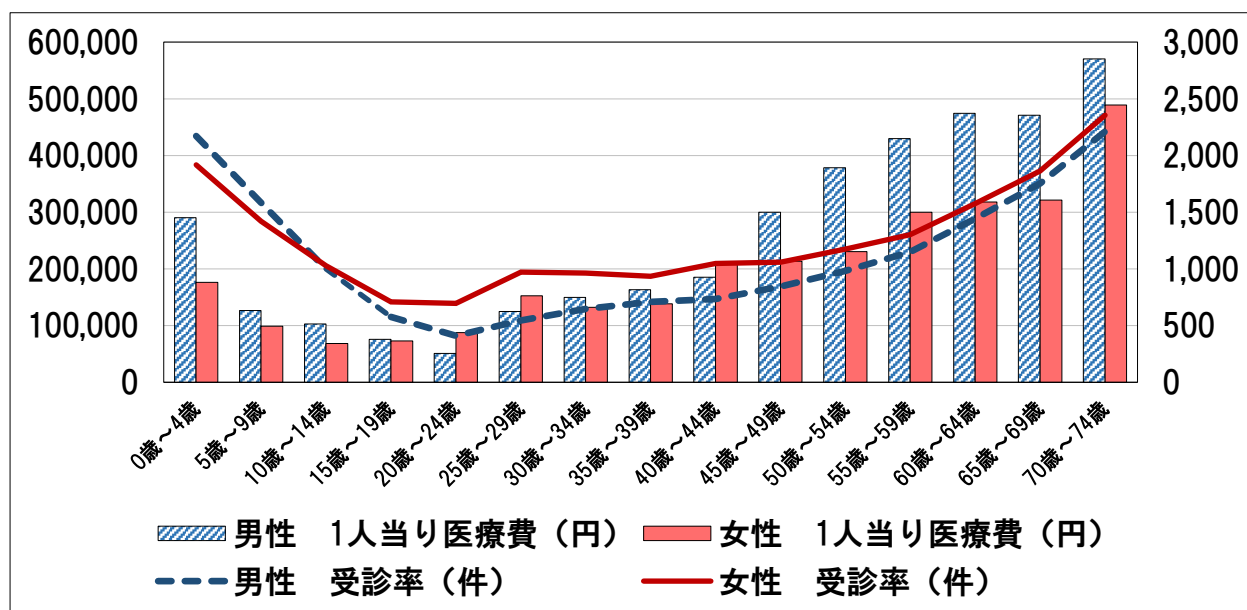
【 1人当りの医療費と医療機関への受診率の推移 】



※受診率:被保険者100人当りの年間件数(以下同様)

<レセプトデータより>

【 平成27年度 性別・年齢別医療費状況 】

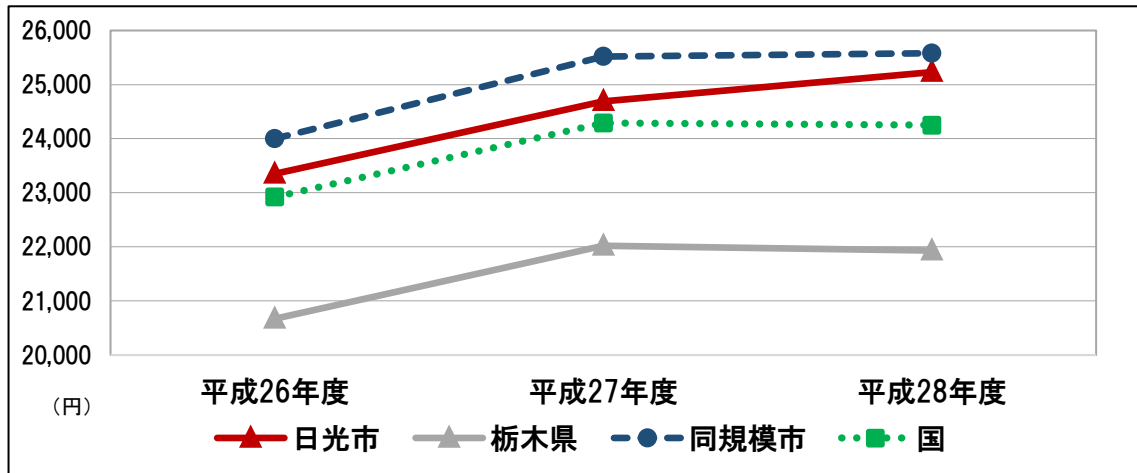


<国保総合システム及びレセプトデータより>

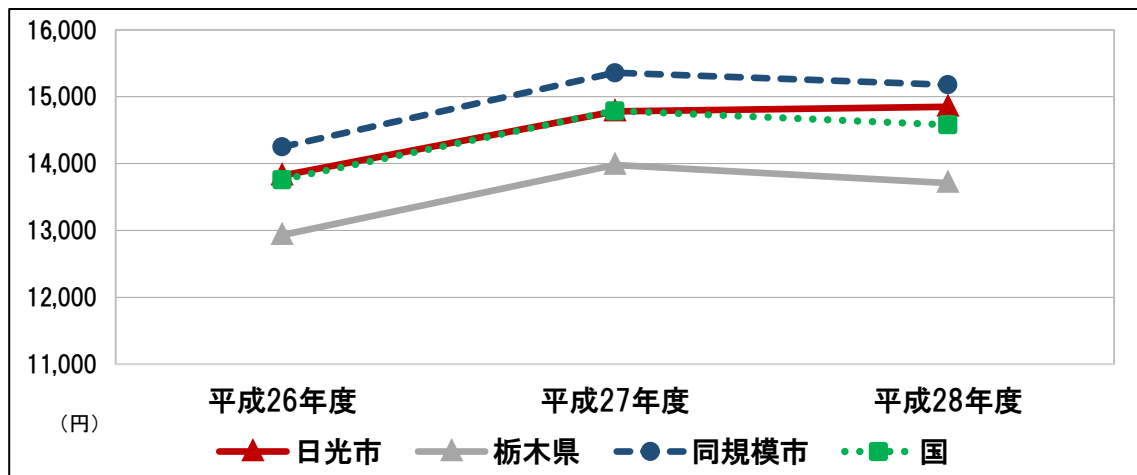
## (2)被保険者1人当りの月間平均医療費の推移

平成26年度から平成28年度までの被保険者1人当りの月間平均医療費の推移について、国・栃木県・同規模市と比較しました。被保険者1人当月間平均医療費・外来・入院ともに年々増加しています。

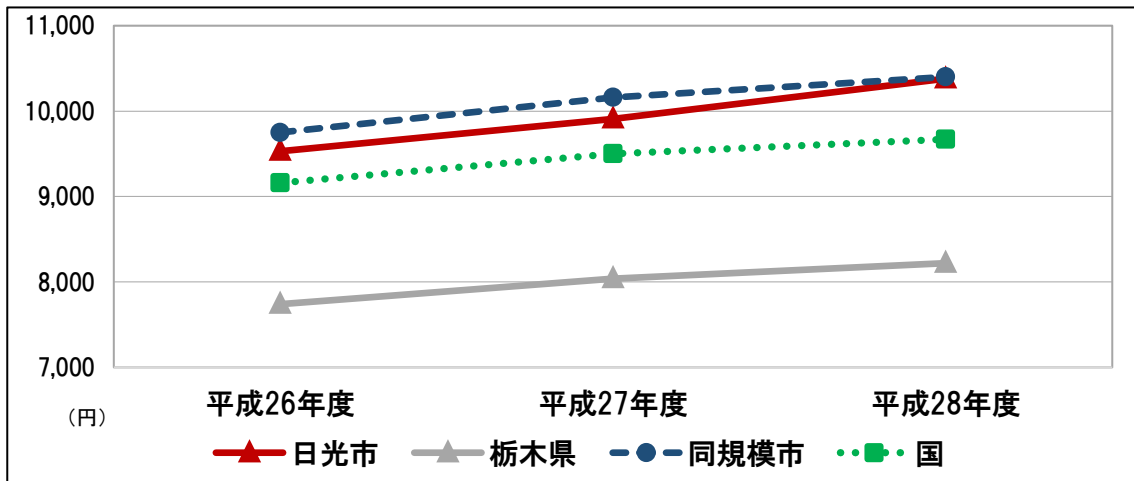
【 被保険者1人当月間平均医療費 】



【 被保険者1人当月間平均外来医療費 】



【 被保険者1人当月間平均入院医療費 】



< K D Bシステムより >

### (3) 国民健康保険 受診率・被保険者1人当りの診療費・レセプト1件当りの診療費県内比較

平成28年5月診療分の診療状況において、国民健康保険では日光市の医療機関への受診率は県平均を下回り、被保険者1人当りの診療費とレセプト1件当りの診療費は県平均よりも高い状況です。日光市の国民健康保険加入者は、状態が悪化してから医療機関に受診するという傾向にと考えられます。

また、国民健康保険1人当りの医療費(一般・退職被保険者)では、日光市は平成27年度において県内で5番目に高く、県内で一番低い市貝町とは51,580円の差がみられます。

#### 【平成28年度 医療機関への受診率・被保険者1人当りの診療費・レセプト1件当りの診療費の県内比較】

| 【医療機関への受診率】 |       |        |        | 【被保険者1人当りの診療費】 |       |             |        | 【レセプト1件当りの診療費】 |       |             |        |
|-------------|-------|--------|--------|----------------|-------|-------------|--------|----------------|-------|-------------|--------|
| ＜国保＞        |       |        |        | ＜国保＞           |       |             |        | ＜国保＞           |       |             |        |
| 順位          | 保険者名  | 受診率(%) | 指数     | 順位             | 保険者名  | 1人当りの診療費(円) | 指数     | 順位             | 保険者名  | 1件当りの診療費(円) | 指数     |
| 1           | 宇都宮市  | 89.60  | 106.38 | 1              | 那須烏山市 | 23,175      | 110.86 | 1              | 那須烏山市 | 27,724      | 111.70 |
| 2           | 下野市   | 88.26  | 104.79 | 2              | 鹿沼市   | 22,161      | 106.01 | 2              | 矢板市   | 27,243      | 109.77 |
| 3           | さくら市  | 87.41  | 103.77 | 3              | 栃木市   | 21,551      | 103.09 | 3              | 鹿沼市   | 27,179      | 109.51 |
| 4           | 足利市   | 87.02  | 103.32 | 4              | 日光市   | 21,510      | 102.90 | 4              | 日光市   | 26,486      | 106.72 |
| 栃木県         |       | 84.23  | 100.00 | 5              | 矢板市   | 21,425      | 102.49 | 5              | 佐野市   | 26,119      | 105.24 |
| 5           | 那須烏山市 | 83.18  | 98.75  | 6              | 宇都宮市  | 21,319      | 101.98 | 6              | 栃木市   | 26,093      | 105.13 |
| 6           | 真岡市   | 82.67  | 98.15  | 7              | 佐野市   | 21,279      | 101.79 | 7              | 那須塩原市 | 25,847      | 104.14 |
| 7           | 栃木市   | 82.59  | 98.06  | 栃木県            |       | 20,905      | 100.00 | 8              | 大田原市  | 25,219      | 101.61 |
| 8           | 大田原市  | 82.10  | 97.47  | 8              | 足利市   | 20,723      | 99.13  | 栃木県            |       | 24,819      | 100.00 |
| 9           | 鹿沼市   | 81.54  | 96.81  | 9              | 大田原市  | 20,705      | 99.04  | 9              | 小山市   | 24,652      | 99.33  |
| 10          | 佐野市   | 81.47  | 96.72  | 10             | さくら市  | 20,524      | 98.18  | 10             | 足利市   | 23,813      | 95.95  |
| 11          | 日光市   | 81.21  | 96.42  | 11             | 小山市   | 19,913      | 95.26  | 11             | 宇都宮市  | 23,794      | 95.87  |
| 12          | 小山市   | 80.78  | 95.90  | 12             | 下野市   | 19,846      | 94.93  | 12             | さくら市  | 23,482      | 94.61  |
| 13          | 矢板市   | 78.64  | 93.37  | 13             | 那須塩原市 | 19,738      | 94.42  | 13             | 下野市   | 22,485      | 90.60  |
| 14          | 那須塩原市 | 76.37  | 90.66  | 14             | 真岡市   | 18,471      | 88.36  | 14             | 真岡市   | 22,343      | 90.02  |

＜H28年5月診療分 国民健康保険・後期高齢者医療疾病分類統計表より＞

#### 【平成27年度 国民健康保険1人当りの医療費(一般被保険者+退職被保険者)】

| 順位  |      |          | H27県内上位5市町 |      |          | 順位          |         |           | H27県内下位5市町 |     |          | 差額 |      | 順位       |   |      | H24県内上位5市町 |   |     |          |   |     |          |
|-----|------|----------|------------|------|----------|-------------|---------|-----------|------------|-----|----------|----|------|----------|---|------|------------|---|-----|----------|---|-----|----------|
| 1   | 塩谷町  | 372,941円 | 21         | 真岡市  | 299,372円 | <div></div> | 51,580円 | (日光市－市貝町) | 1          | 日光市 | 308,885円 | 2  | 茂木町  | 308,697円 | 3 | 上三川市 | 305,257円   | 4 | 壬生町 | 300,600円 | 5 | 矢板市 | 299,917円 |
| 2   | 茂木町  | 352,774円 | 22         | 高根沢町 | 298,926円 |             |         |           | 2          | 茂木町 | 308,697円 | 3  | 上三川市 | 305,257円 | 4 | 壬生町  | 300,600円   | 5 | 矢板市 | 299,917円 |   |     |          |
| 3   | 上三川町 | 344,869円 | 23         | 那須町  | 290,789円 |             |         |           | 2          | 茂木町 | 308,697円 | 3  | 上三川市 | 305,257円 | 4 | 壬生町  | 300,600円   | 5 | 矢板市 | 299,917円 |   |     |          |
| 4   | 壬生町  | 342,959円 | 24         | 益子町  | 352,774円 |             |         |           | 2          | 茂木町 | 308,697円 | 3  | 上三川市 | 305,257円 | 4 | 壬生町  | 300,600円   | 5 | 矢板市 | 299,917円 |   |     |          |
| 5   | 日光市  | 336,596円 | 25         | 市貝町  | 285,016円 |             |         |           | 2          | 茂木町 | 308,697円 | 3  | 上三川市 | 305,257円 | 4 | 壬生町  | 300,600円   | 5 | 矢板市 | 299,917円 |   |     |          |
| 県平均 |      | 298,773円 |            |      |          |             |         |           |            |     |          |    |      |          |   |      |            |   |     |          |   |     |          |
| 市平均 |      | 317,584円 |            |      |          |             |         |           |            |     |          |    |      |          |   |      |            |   |     |          |   |     |          |

<平成27年度 国民健康保険事業状況より>

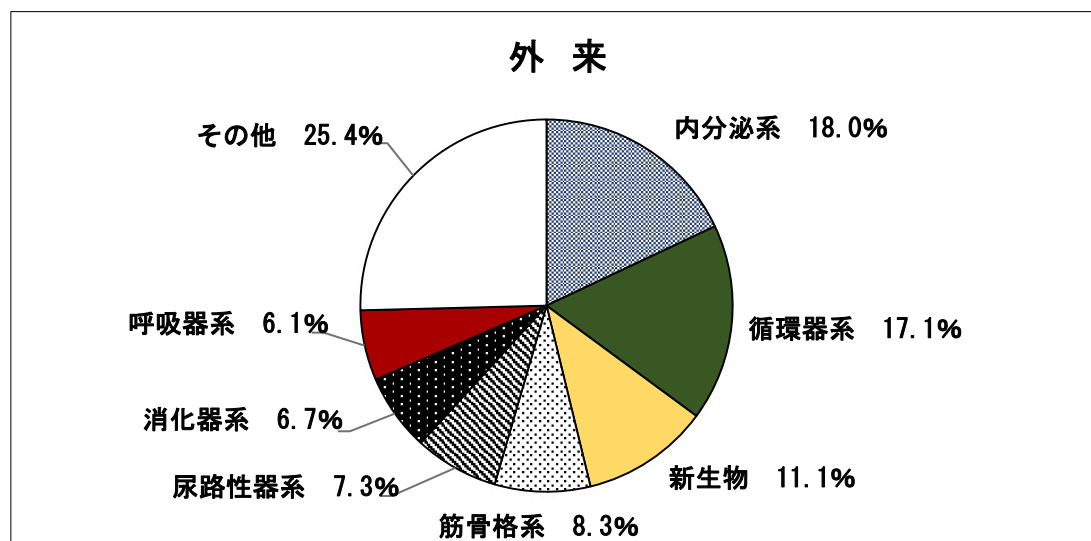
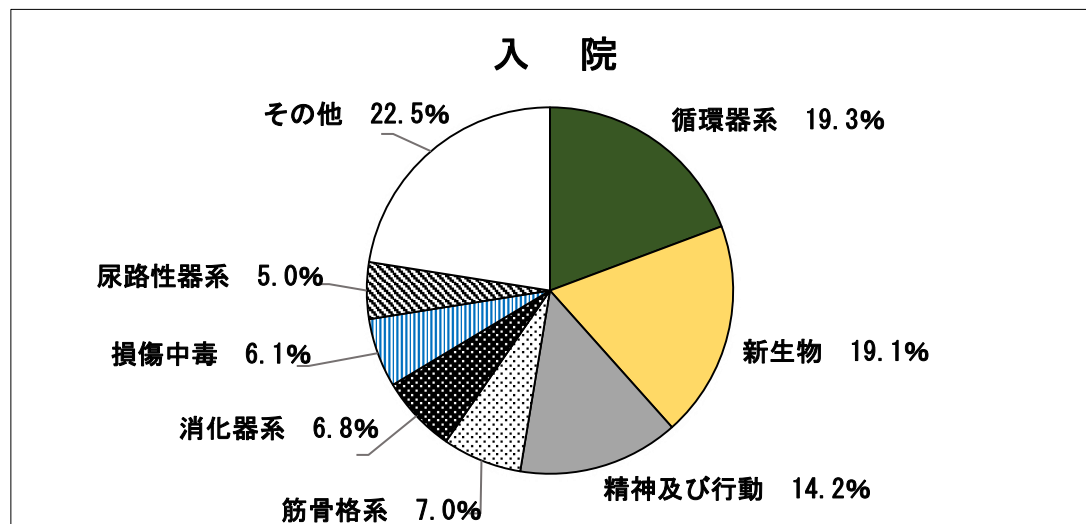
＜平成27年度 国民健康保険事業状況より＞

## 2. 日光市の疾病の現状

### (1) 医療費から見た疾病構造

疾病大分類別医療費割合をみると、入院では循環器系・新生物が多く、外来では内分泌系・循環器系による医療費が多く割合を占めています。循環器系・新生物については、入院、外来ともに多くの割合を占める結果となっています。

【平成28年度 疾病大分類別医療費割合】



<KDBシステムより>

## (2) 疾病傾向

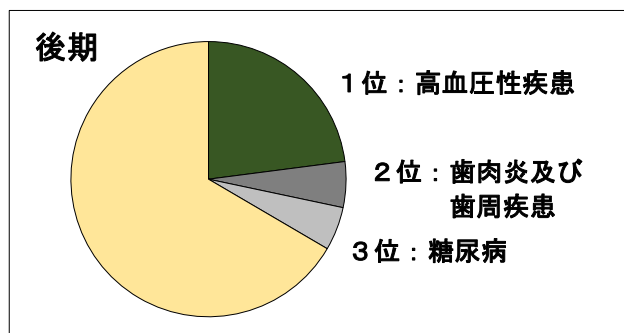
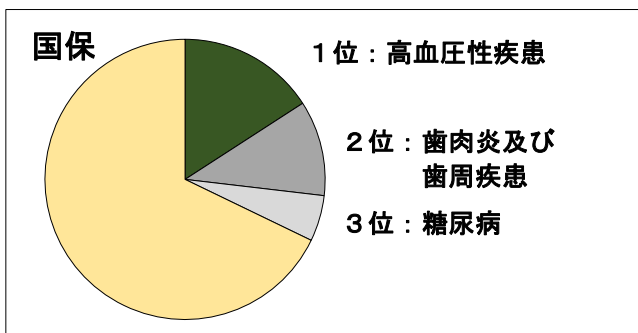
日光市における多発疾病上位6疾患については、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病となっています。過去5年上位3疾患に変動は見られません。後期高齢者においては高血圧性疾患が全体の約2割を占め、1位となっています。

平成27年度と平成28年度の1件当りの医療費上位を見ると、腎不全と白血病となっています。腎不全においては、継続的な治療(人工透析)を必要とするため、年間医療費は他疾患に比べ高額になります。

### 【 日光市多発疾患上位6疾患 】

| 国民健康保険（日光市） |                           |        |        |
|-------------|---------------------------|--------|--------|
| 順位          | 項目                        | 件数     | 割合     |
| 1位          | 高血圧性疾患                    | 3,061  | 15.86% |
| 2位          | 歯肉炎及び歯周疾患                 | 2,122  | 11.00% |
| 3位          | 糖尿病                       | 1,023  | 5.30%  |
| 4位          | その他の内分泌・栄養及び代謝疾患(脂質異常症など) | 994    | 5.15%  |
| 5位          | その他の損傷及びその他の外因の影響         | 490    | 2.54%  |
| 6位          | その他の眼及び付属器の疾患             | 487    | 2.52%  |
| }           |                           |        |        |
| 計           |                           | 19,296 | 100%   |

| 《参考》後期高齢者医療制度（日光市） |                           |        |        |
|--------------------|---------------------------|--------|--------|
| 順位                 | 項目                        | 件数     | 割合     |
| 1位                 | 高血圧性疾患                    | 4,285  | 22.95% |
| 2位                 | 歯肉炎及び歯周疾患                 | 1,003  | 5.37%  |
| 3位                 | 糖尿病                       | 954    | 5.11%  |
| 4位                 | その他の内分泌・栄養及び代謝疾患(脂質異常症など) | 862    | 4.62%  |
| 5位                 | 脊椎障害(脊椎症を含む)              | 548    | 2.94%  |
| 6位                 | その他の眼及び付属器の疾患             | 525    | 2.81%  |
| }                  |                           |        |        |
| 計                  |                           | 18,670 | 100%   |



＜平成28年5月診療分 疾病分類統計表より＞

### 【 1件当りの医療費上位3疾患 】

| 順位 | H 2 7               |         | H 2 8  |         |
|----|---------------------|---------|--------|---------|
|    | 疾病分類名               | 医療費／1件  | 疾病分類名  | 医療費／1件  |
| 1位 | 腎不全                 | 385,220 | 白血病    | 395,281 |
| 2位 | 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 | 336,200 | くも膜下出血 | 370,620 |
| 3位 | 白血病                 | 226,500 | 腎不全    | 343,989 |

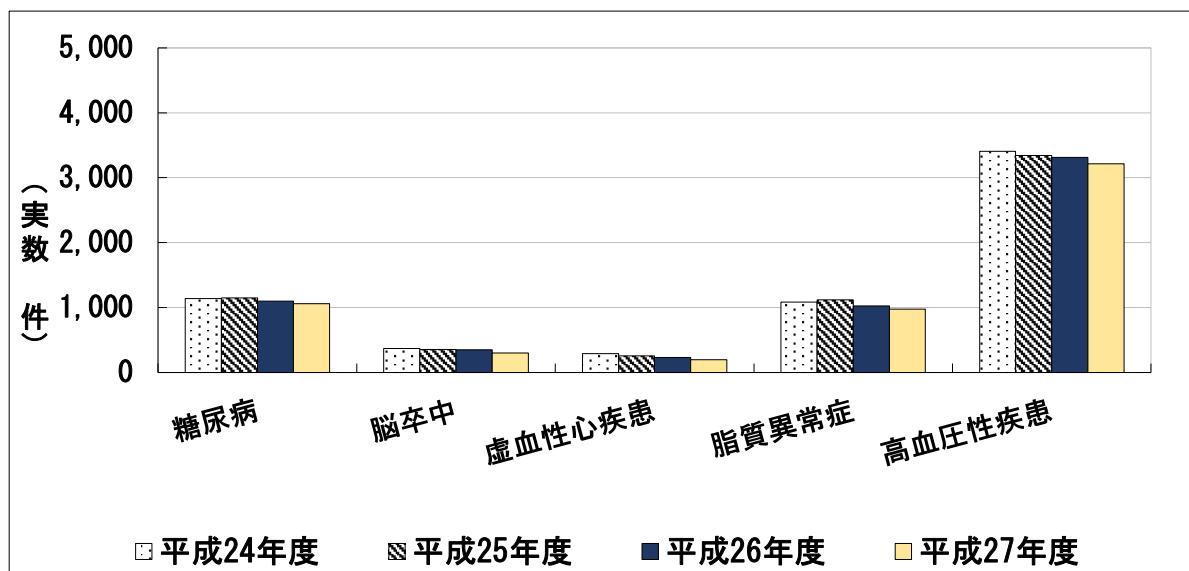
＜平成27年及び28年5月診療分 疾病分類統計表より＞

### 3. 日光市の生活習慣病の状況

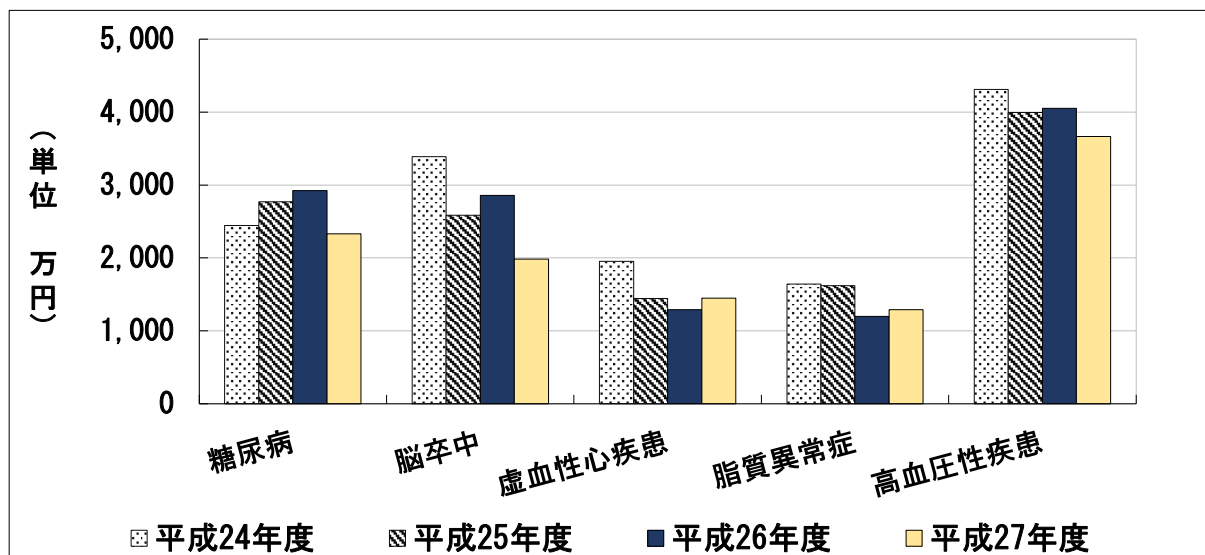
#### (1) 生活習慣病の推移

生活習慣病の推移をみると、医療機関への受診件数は高血圧性疾患が多く占めています。医療費を件数と比較すると、1人当たりの医療費が高額になる脳卒中は、年々減少傾向にあります。

【 生活習慣病における件数の年度推移 】(40歳～74歳)



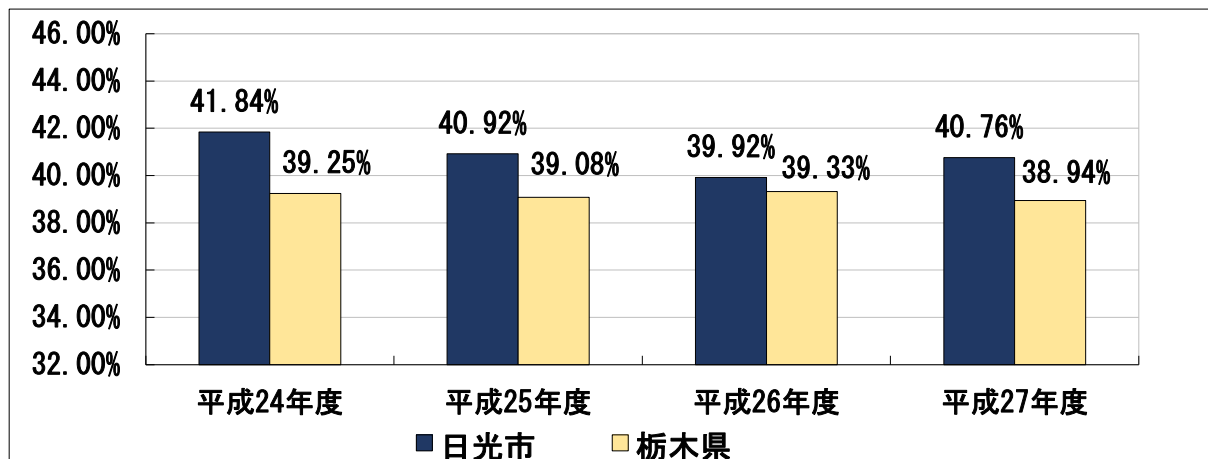
【 生活習慣病における医療費の年度推移 】(40歳～74歳)



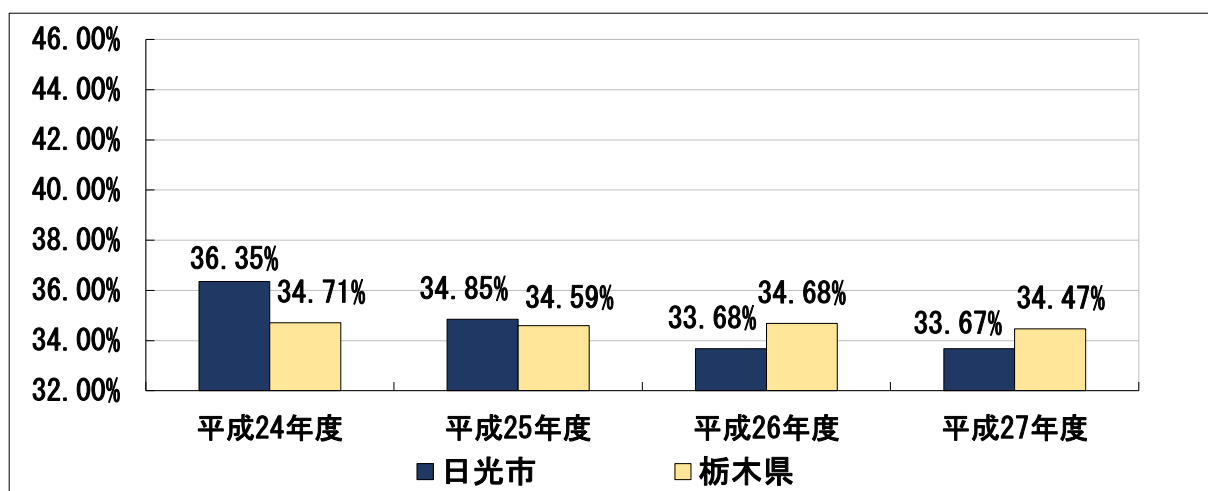
<各年5月診療分疾病分類統計表より>

医療費に占める生活習慣病の割合では平成27年度は40.76%を占め、県に比べ高い状況です。  
 年齢で見ると、40歳から74歳では33.67%で年々減少し、平成26年度から県より下回っています。75歳以上では、45.20%を占めており、県と比べ高い状況です。

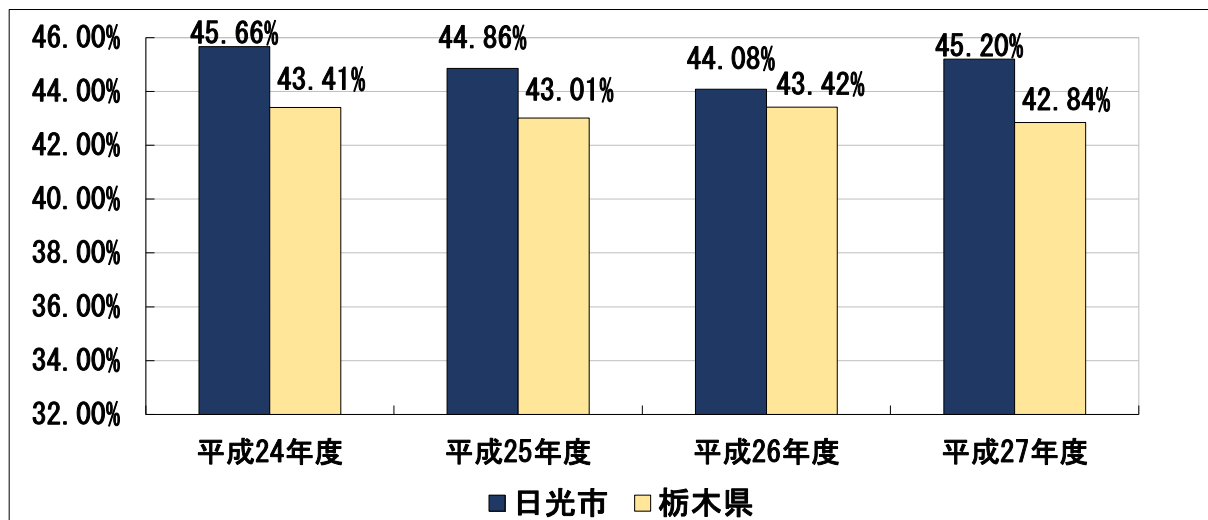
【 各年度5月診療分 医療費に占める生活習慣病の割合 】(40歳以上)



【 各年度5月診療分 医療費に占める生活習慣病の割合 】(40歳～74歳)



【 各年度5月診療分 医療費に占める生活習慣病の割合 】(75歳以上後期高齢者)

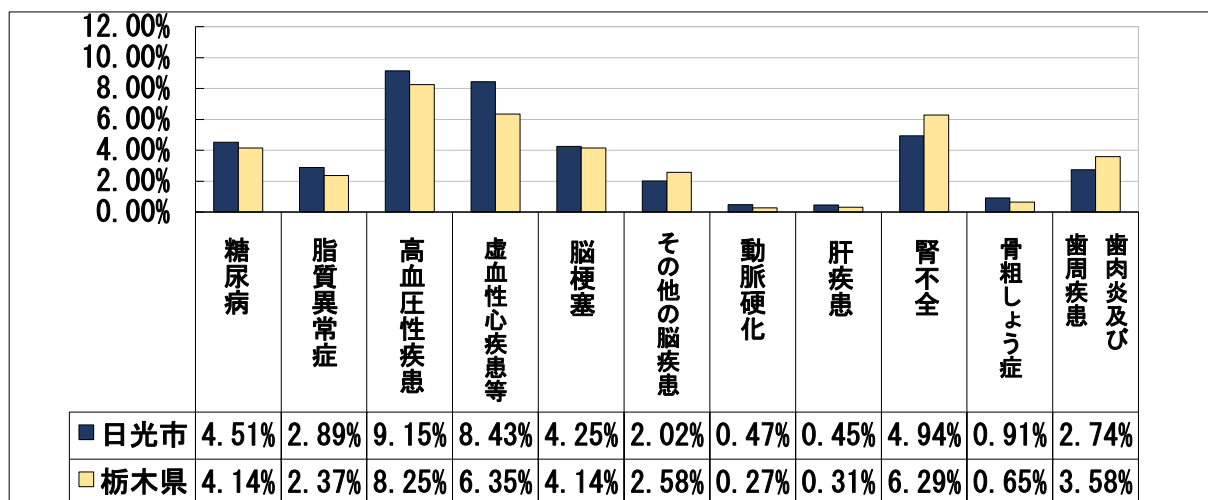


<各年5月診療分疾病分類統計表より>

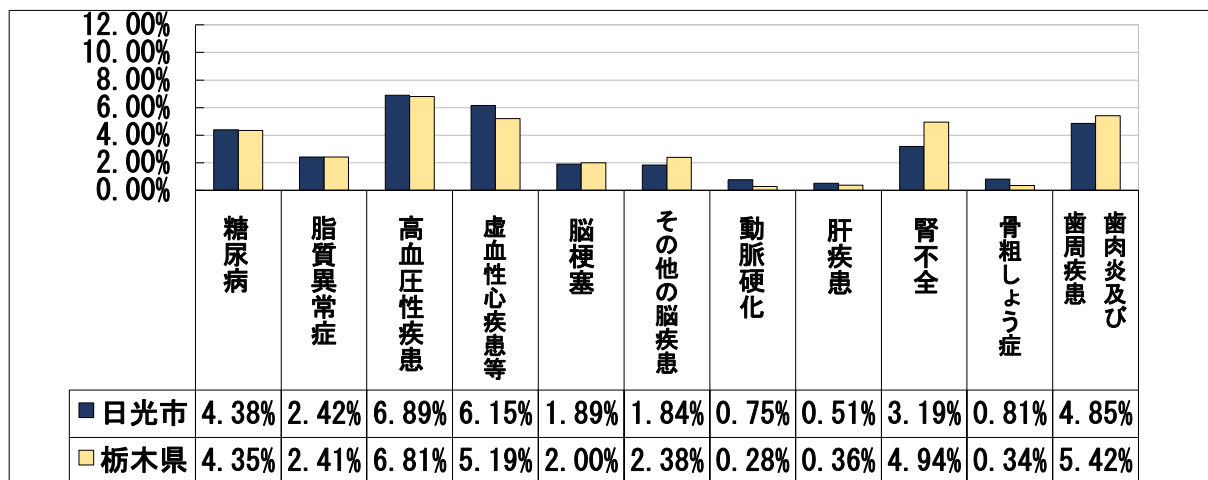
## (2)生活習慣病が占める医療費

医療費全体に占める生活習慣病の医療費を疾病別で見ると、高血圧性疾患、虚血性心疾患、腎不全の順で高くなっています。栃木県と比較すると、高血圧性疾患、虚血性心疾患の割合は県を上回っています。

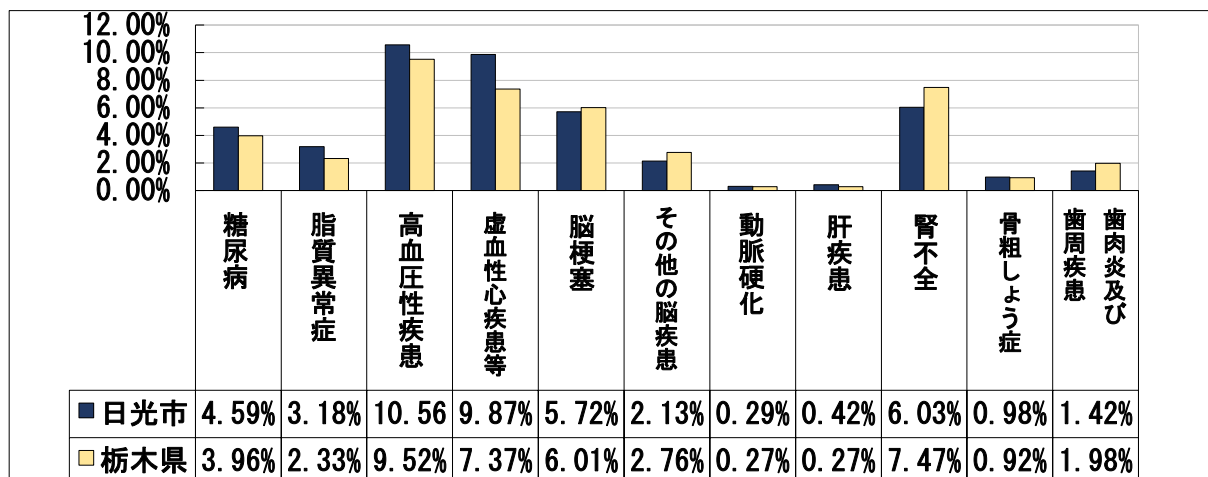
【平成27年度 医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合】(40歳以上)



【平成27年度 医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合】(40歳～74歳)



【平成27年度 医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合】(75歳以上後期高齢者)



<5月診療分疾病分類統計表より>

(3)生活習慣病が占める医療費の県内比較

日光市は、県内の他市と比較して全体の医療費に占める生活習慣病の医療費の割合は平成24年度において14市中1位でしたが、平成27年度は40.76%と若干低くなり、県内3位という状況です。生活習慣病の中で、特に割合の高い疾患は高血圧性疾患、次いで虚血性心疾患となっています。

その他、他市と比較して割合の高い疾患は、動脈硬化・脂質異常症・肝疾患となっています。骨粗しょう症による受診割合も他市より高い状況です。また、糖尿病・腎不全についての割合は平成24年度と比較して増加しており、国・県でも取り組んでいる糖尿病重症化予防への取り組みが重要です。

【平成27年度 生活習慣病が占める医療費の割合 県内比較】

| H24年度 |        |        |        |
|-------|--------|--------|--------|
| 市名    | がん     | 生活習慣病  | その他    |
| 日光市   | 10.81% | 41.84% | 47.35% |

| H27年度 |        |        |        |       |        |        |        |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 市名    | がん     | 生活習慣病  | その他    | 市名    | がん     | 生活習慣病  | その他    |
| 日光市   | 11.20% | 40.76% | 48.05% | 真岡市   | 9.65%  | 43.14% | 47.21% |
| 宇都宮市  | 12.34% | 38.75% | 48.91% | 大田原市  | 11.03% | 37.28% | 51.69% |
| 足利市   | 10.46% | 39.85% | 49.69% | 矢板市   | 11.79% | 39.83% | 48.38% |
| 栃木市   | 13.39% | 38.72% | 47.88% | 那須塩原市 | 12.28% | 38.11% | 49.61% |
| 佐野市   | 11.86% | 36.19% | 51.96% | 下野市   | 12.92% | 39.00% | 48.08% |
| 鹿沼市   | 12.99% | 38.05% | 48.97% | さくら市  | 10.31% | 42.36% | 47.34% |
| 小山市   | 11.39% | 39.20% | 49.40% | 那須烏山市 | 11.78% | 36.99% | 51.23% |
|       |        |        |        | 全市平均  | 11.67% | 39.16% | 49.17% |

【平成27年度 生活習慣病医療費の内訳 県内比較】

| 市名    | 生活習慣病内訳 |       |        |         |       |         |       |       |       |         |          | 計      |
|-------|---------|-------|--------|---------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|----------|--------|
|       | 糖尿病     | 脂質異常症 | 高血圧性疾患 | 虚血性心疾患等 | 脳梗塞   | その他の脳疾患 | 動脈硬化  | 肝疾患   | 腎不全   | 骨粗しょう症等 | 歯肉及び歯周疾患 |        |
| 日光市   | 4.51%   | 2.89% | 9.15%  | 8.43%   | 4.25% | 2.02%   | 0.47% | 0.45% | 4.94% | 0.91%   | 2.74%    | 40.76% |
| 宇都宮市  | 4.08%   | 2.78% | 7.81%  | 5.37%   | 3.98% | 2.42%   | 0.22% | 0.32% | 6.72% | 0.79%   | 4.26%    | 38.75% |
| 足利市   | 4.09%   | 2.02% | 7.90%  | 7.54%   | 4.65% | 2.33%   | 0.19% | 0.38% | 6.09% | 0.76%   | 3.91%    | 39.85% |
| 栃木市   | 3.82%   | 2.12% | 7.59%  | 5.57%   | 4.60% | 3.06%   | 0.22% | 0.17% | 7.17% | 0.54%   | 3.87%    | 38.72% |
| 佐野市   | 4.16%   | 1.67% | 7.51%  | 6.65%   | 3.31% | 1.90%   | 0.17% | 0.30% | 6.73% | 0.43%   | 3.35%    | 36.19% |
| 鹿沼市   | 5.34%   | 2.95% | 8.19%  | 6.15%   | 3.83% | 2.93%   | 0.04% | 0.35% | 4.85% | 0.56%   | 2.88%    | 38.05% |
| 小山市   | 3.52%   | 2.49% | 8.14%  | 4.27%   | 3.54% | 3.86%   | 0.33% | 0.23% | 7.98% | 0.73%   | 4.12%    | 39.20% |
| 真岡市   | 4.69%   | 2.47% | 9.09%  | 6.75%   | 5.10% | 4.05%   | 0.24% | 0.30% | 6.43% | 0.53%   | 3.49%    | 43.14% |
| 大田原市  | 3.42%   | 2.25% | 9.24%  | 7.03%   | 3.81% | 2.65%   | 0.36% | 0.36% | 4.89% | 0.72%   | 2.55%    | 37.28% |
| 矢板市   | 4.39%   | 2.05% | 8.38%  | 7.50%   | 5.65% | 2.45%   | 0.33% | 0.43% | 4.55% | 0.65%   | 3.44%    | 39.83% |
| 那須塩原市 | 3.91%   | 2.35% | 6.79%  | 10.87%  | 3.96% | 2.49%   | 0.24% | 0.35% | 3.96% | 0.35%   | 2.86%    | 38.11% |
| 下野市   | 3.76%   | 2.20% | 6.80%  | 4.65%   | 5.77% | 2.35%   | 0.44% | 0.31% | 8.31% | 0.59%   | -        | 39.00% |
| さくら市  | 4.45%   | 1.66% | 9.94%  | 7.48%   | 4.79% | 3.00%   | 0.10% | 0.40% | 6.91% | 0.63%   | 3.00%    | 42.36% |
| 那須烏山市 | 4.74%   | 2.16% | 11.60% | 4.21%   | 2.69% | 1.37%   | 0.12% | 0.20% | 6.15% | 0.63%   | 3.12%    | 36.99% |
| 栃木県   | 4.14%   | 2.37% | 8.25%  | 6.35%   | 4.14% | 2.58%   | 0.27% | 0.31% | 6.29% | 0.65%   | 3.58%    | 38.94% |

【生活習慣病医療費の内訳 日光市年度比較】

| 年度     | 生活習慣病内訳 |       |        |         |       |         |       |       |       |         |          | 計      |
|--------|---------|-------|--------|---------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|----------|--------|
|        | 糖尿病     | 脂質異常症 | 高血圧性疾患 | 虚血性心疾患等 | 脳梗塞   | その他の脳疾患 | 動脈硬化  | 肝疾患   | 腎不全   | 骨粗しょう症等 | 歯肉及び歯周疾患 |        |
| 平成24年度 | 4.33%   | 2.82% | 9.99%  | 7.80%   | 4.66% | 3.22%   | 0.35% | 0.38% | 4.70% | 0.90%   | 2.68%    | 41.83% |
| 平成27年度 | 4.51%   | 2.89% | 9.15%  | 8.43%   | 4.25% | 2.02%   | 0.47% | 0.45% | 4.94% | 0.91%   | 2.74%    | 40.76% |

＜目で見える栃木県の医療費状況より＞

【（参考）生活習慣病保有者 同規模保険者比較】

| 年度     | 保険者別 |       |         |        |        |        |
|--------|------|-------|---------|--------|--------|--------|
|        |      | 県平均   | 同規模保険者  |        |        |        |
|        |      |       | 日光市     | 真岡市    | 大田原市   | 下野市    |
| 平成24年度 | 保有者  |       | 10,028人 | 8,857人 | 7,842人 | 5,779人 |
|        | 保有率  | 34.9% | 37.3%   | 34.9%  | 35.6%  | 38.1%  |
| 平成27年度 | 保有者  |       | 9,124人  | 8,782人 | 8,223人 | 5,570人 |
|        | 保有率  | 37.9% | 39.7%   | 38.1%  | 39.9%  | 40.7%  |

＜KDBシステムより＞

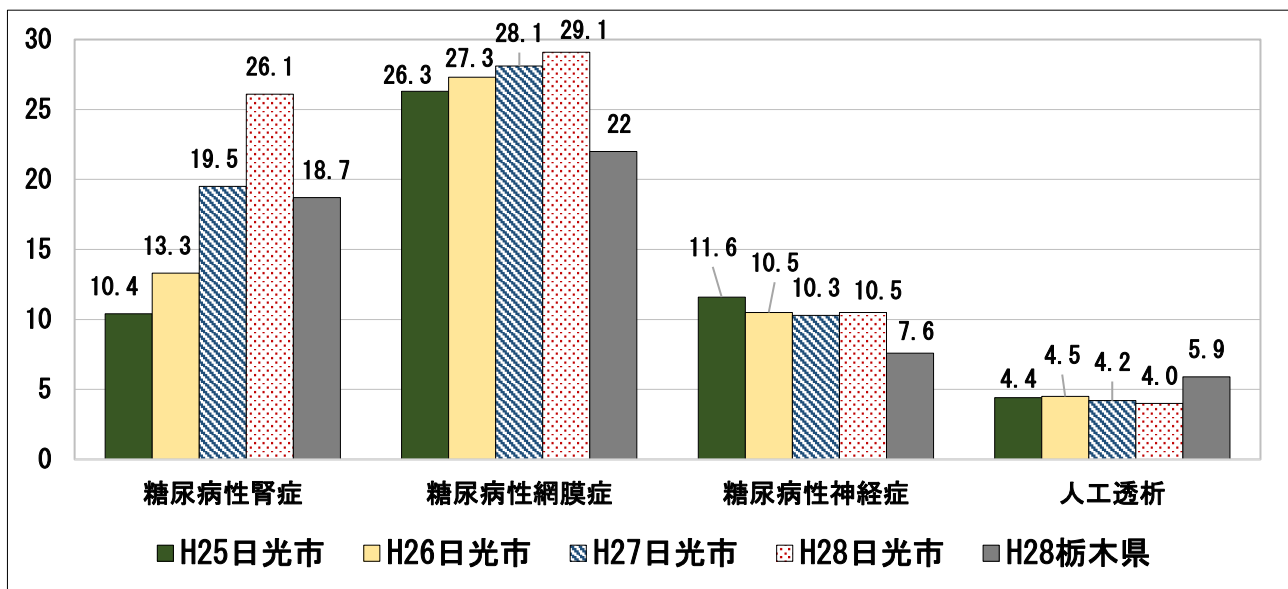
#### 4. 糖尿病合併症及び人工透析の状況

日光市において、生活習慣病の中でも糖尿病は増加しており、糖尿病性合併症においても年々増加しています。特に平成28年度は糖尿病性腎症が増えています。網膜症は年々微増し、栃木県と比較して患者数は多い状況です。

人工透析患者数は日光市においては横ばいとなっています。平成28年度においては、男性33人、女性10人となっており、圧倒的に男性が多い状況です。また、50歳代から患者数が増加している傾向があります。

さらに、人工透析患者数は後期高齢者もあわせると、平成28年度は233人となっています。後期高齢者については、65歳以上の特定疾病療養受給証交付者を含んでおり、年々増加傾向となっています。国民健康保険被保険者人工透析患者のうち、糖尿病で治療している者は56.1%、高血圧症で治療している者が92.7%となっています。

【 患者千人当り 糖尿病合併症及び人工透析患者数 】



<KDB システムより>

【 平成28年度 国保被保険者における年齢別人工透析患者数 】

| 日光市     |      |      |      |
|---------|------|------|------|
| 年 齢     | 男    | 女    | 合 計  |
| 30 歳代   | 1 人  | 1 人  | 2 人  |
| 40 歳代   | 5 人  | 2 人  | 7 人  |
| 50 歳代   | 16 人 | 2 人  | 18 人 |
| 60～64 歳 | 6 人  | 5 人  | 11 人 |
| 65～69 歳 | 4 人  | 0 人  | 4 人  |
| 70～74 歳 | 1 人  | 0 人  | 1 人  |
| 合 計     | 33 人 | 10 人 | 43 人 |

<KDB システムより>

【 国保被保険者における人工透析患者の推移 】(40歳～74歳)

| 年度       | 人工透析       |                       |                          |                           |
|----------|------------|-----------------------|--------------------------|---------------------------|
|          | 患者数<br>(※) | 被保険者に占める<br>人工透析患者の割合 | 人工透析患者数のうち<br>糖尿病患者 (割合) | 人工透析患者数のうち<br>高血圧症患者 (割合) |
| 平成 26 年度 | 50 人       | 0.3%                  | 32 人 (64.0%)             | 46 人 (92.0%)              |
| 平成 27 年度 | 50 人       | 0.3%                  | 30 人 (60.0%)             | 45 人 (90.0%)              |
| 平成 28 年度 | 41 人       | 0.2%                  | 23 人 (56.1%)             | 38 人 (92.7%)              |

<KDB システムより>

【 後期高齢者における人工透析患者の推移 】(75歳以上)

| 年度       | 人工透析       |                       |                          |                           |
|----------|------------|-----------------------|--------------------------|---------------------------|
|          | 患者数<br>(※) | 被保険者に占める<br>人工透析患者の割合 | 人工透析患者数のうち<br>糖尿病患者 (割合) | 人工透析患者数のうち<br>高血圧症患者 (割合) |
| 平成 26 年度 | 166 人      | 1.2%                  | 112 人 (67.5%)            | 152 人 (91.6%)             |
| 平成 27 年度 | 178 人      | 1.3%                  | 126 人 (70.8%)            | 168 人 (94.4%)             |
| 平成 28 年度 | 192 人      | 1.3%                  | 127 人 (66.1%)            | 183 人 (95.3%)             |

※65歳以上の特定疾病療養受給証交付者を含む

<KDB システムより>

## 5. 後期高齢者の状況

日光市は、後期高齢者1人当りの医療費は930,722円と県内で一番高い状況です。

また、高齢化率と75歳以上の人口割合は県内で2番目に高くなっています。

日光市の1人当り医療費の推移をみると、平成27年度は前年比1.51%の増加でしたが、平成28年度は前年比0.48%減少しました。

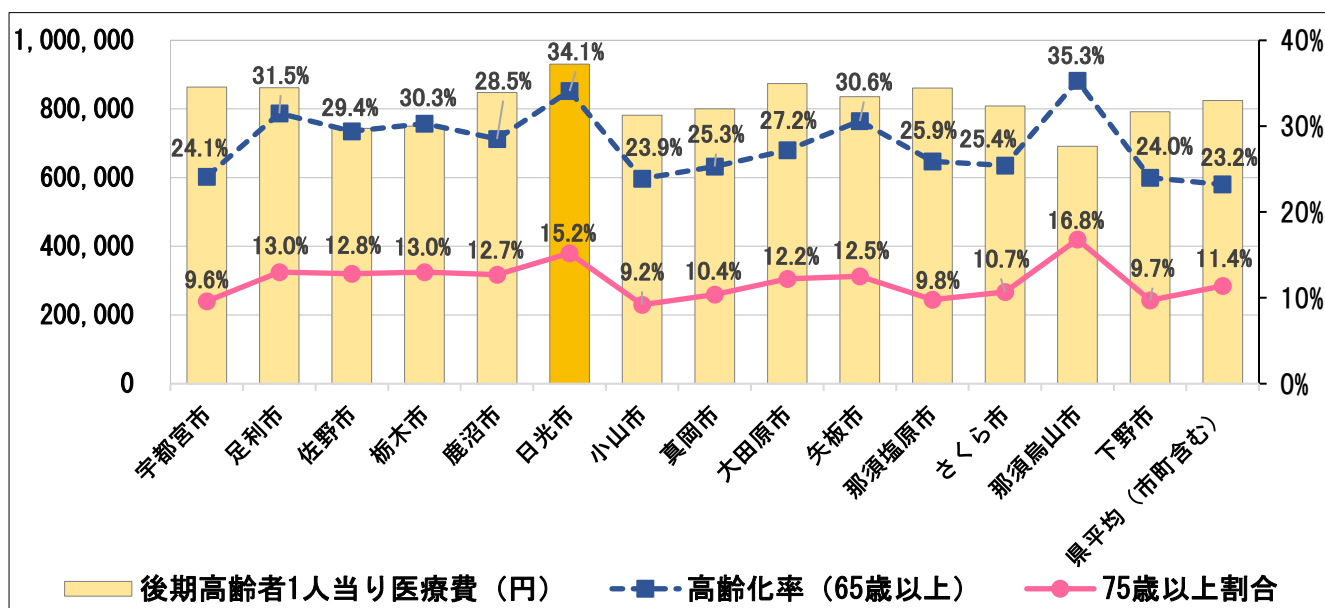
【平成28年度 人口に占める高齢者割合と1人当り医療費との関係】

|           | 高齢化率<br>(65歳以上) | 75歳以上割合 | 後期高齢者<br>1人当り医療費(円) |
|-----------|-----------------|---------|---------------------|
| 宇都宮市      | 24.1%           | 9.6%    | 863,889             |
| 足利市       | 31.5%           | 13.0%   | 861,670             |
| 佐野市       | 29.4%           | 12.8%   | 743,623             |
| 栃木市       | 30.3%           | 13.0%   | 749,674             |
| 鹿沼市       | 28.5%           | 12.7%   | 847,563             |
| 日光市       | 34.1%           | 15.2%   | 930,722             |
| 小山市       | 23.9%           | 9.2%    | 781,806             |
| 真岡市       | 25.3%           | 10.4%   | 800,449             |
| 大田原市      | 27.2%           | 12.2%   | 874,404             |
| 矢板市       | 30.6%           | 12.5%   | 836,358             |
| 那須塩原市     | 25.9%           | 9.8%    | 861,065             |
| さくら市      | 25.4%           | 10.7%   | 809,271             |
| 那須烏山市     | 35.3%           | 16.8%   | 691,663             |
| 下野市       | 24.0%           | 9.7%    | 791,863             |
| 県平均(市町含む) | 23.2%           | 11.4%   | 824,935             |

【1人当り医療費の推移】

|           | 平成26年度   | 平成27年度              | 平成28年度              |
|-----------|----------|---------------------|---------------------|
| 日光市       | 921,274円 | 935,228円(前年比1.51%増) | 930,722円(前年比0.48%減) |
| 県平均(市町含む) | 825,917円 | 836,426円(前年比1.27%増) | 824,935円(前年比1.37%減) |

【平成28年度 高齢化率と一人当り医療費】



<栃木県後期高齢者医療広域連合年報(H26~H28)より>

## 6. 介護認定の状況

### (1) 介護認定審査会対象者の主たる疾病分類

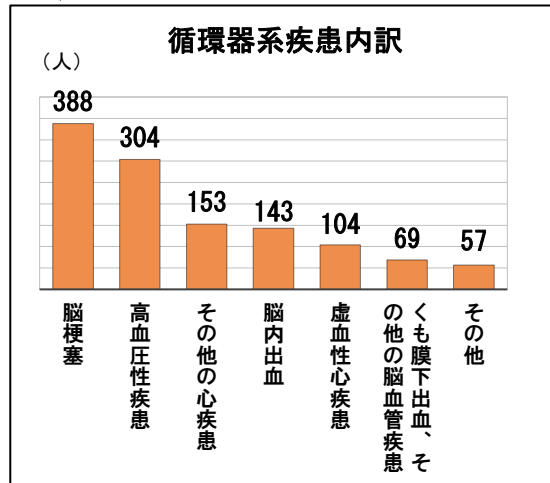
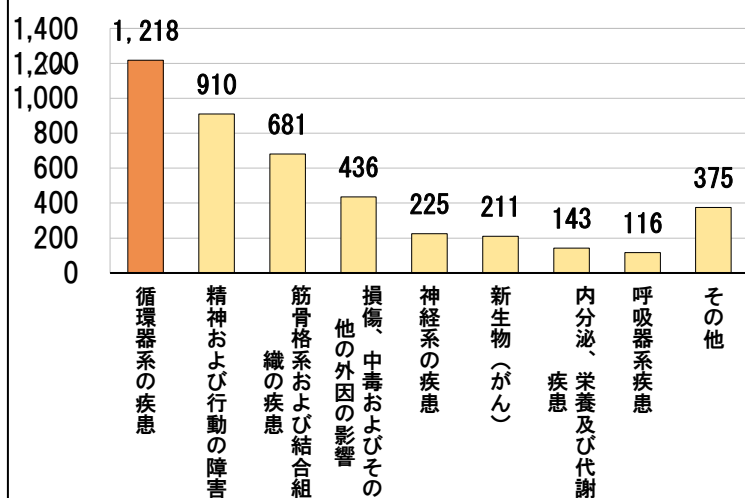
介護認定審査のために提出される主治医意見書からの疾病分類において、日光市では生活習慣病が要介護の原因として大きな比率を占めており、特に循環器系疾患によるものが多い状況です。循環器系疾患の中でも、特に脳梗塞と高血圧性疾患が多くなっています。

生活習慣病が占める医療費の県内比較(P19参照)でも、日光市は循環器系疾患のほとんどの疾患で他市よりも高い状況にあり、要介護状態に至る原因疾患の予防としても循環器疾患の予防は必要となります。

【平成28年度 介護認定審査会対象者の主たる疾病分類(大分類)】

| No. | 疾病分類(ICD10国際疾病分類:大分類) | 件数    | 割合    | 備考          |
|-----|-----------------------|-------|-------|-------------|
| 1   | 循環器系の疾患               | 1,218 | 28.2% |             |
| 2   | 精神および行動の障害            | 910   | 21.1% | (内 認知症 820) |
| 3   | 筋骨格系および結合組織の疾患        | 681   | 15.8% |             |
| 4   | 損傷、中毒およびその他の外因の影響     | 436   | 10.1% | (内 骨折 388)  |
| 5   | 神経系の疾患                | 225   | 5.2%  |             |
| 6   | 新生物(がん)               | 211   | 4.9%  |             |
| 7   | 内分泌、栄養及び代謝疾患          | 143   | 3.3%  | (内 糖尿病 119) |
| 8   | 呼吸器系疾患                | 116   | 2.7%  |             |
| 9   | その他                   | 375   | 8.7%  |             |
| 計   |                       | 4,315 | 100%  |             |

| 循環器系疾患内訳         | 件数    | 割合    |
|------------------|-------|-------|
| 脳梗塞              | 388   | 31.9% |
| 高血圧性疾患           | 304   | 25.0% |
| その他の心疾患          | 153   | 12.6% |
| 脳内出血             | 143   | 11.7% |
| 虚血性心疾患           | 104   | 8.5%  |
| くも膜下出血、その他の脳血管疾患 | 69    | 5.7%  |
| その他              | 57    | 4.7%  |
| 計                | 1,218 | 100%  |



<高齢福祉課介護保険認定係統計より>

【(参考) 1件当りの介護保険給付費の推移】

| 項目       | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成28年度<br>(栃木県) |
|----------|---------|---------|---------|-----------------|
| 要支援1     | 11,440  | 10,117  | 9,807   | 10,883          |
| 要支援2     | 17,568  | 15,890  | 14,438  | 16,920          |
| 要介護1     | 47,872  | 45,937  | 42,894  | 41,528          |
| 要介護2     | 65,187  | 63,334  | 60,596  | 50,356          |
| 要介護3     | 102,318 | 100,162 | 96,889  | 82,668          |
| 要介護4     | 123,835 | 125,463 | 123,040 | 105,756         |
| 要介護5     | 143,595 | 138,861 | 137,180 | 129,031         |
| 1件当たり給付費 | 71,023  | 68,270  | 69,040  | 61,999          |

<KDBシステムより>

## (2) 要介護度別介護認定審査会対象者の主たる疾病分類(小分類)

介護度別では介護度が高くなるにつれて、脳血管疾患と認知症の占める割合が顕著に増加しています。特に要介護4・要介護5では、その2項目で約45%を占めています。介護度が高くなるにつれて高血圧性疾患・糖尿病が減り、脳血管疾患が増えています。これらの基礎疾患を持っていた方が、後に脳血管疾患や認知症を発症し、介護度が上がっていると考えられます。

また、どの介護度においても、原因疾患として脳血管疾患・高血圧性疾患・心疾患・糖尿病などの生活習慣病があげられ約30%を占めています。さらに、生活習慣病は、ねたきり(要介護4・5認定)になる主な原因としても、高い割合を占めています。

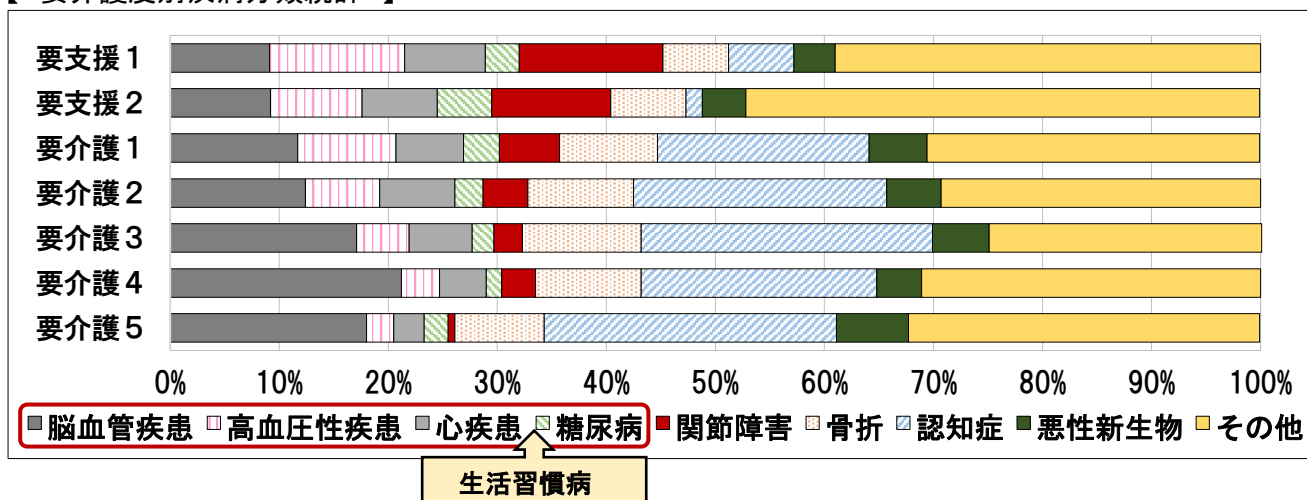
年代別では、40～64歳の第2号被保険者は、脳血管疾患によるものが42.7%と半数近くを占めています。年齢が高くなるにつれて高血圧性疾患・骨折・認知症の割合が増えています。

### 【平成28年度 要介護度別介護認定審査会対象者の主たる疾病分類(小分類)】

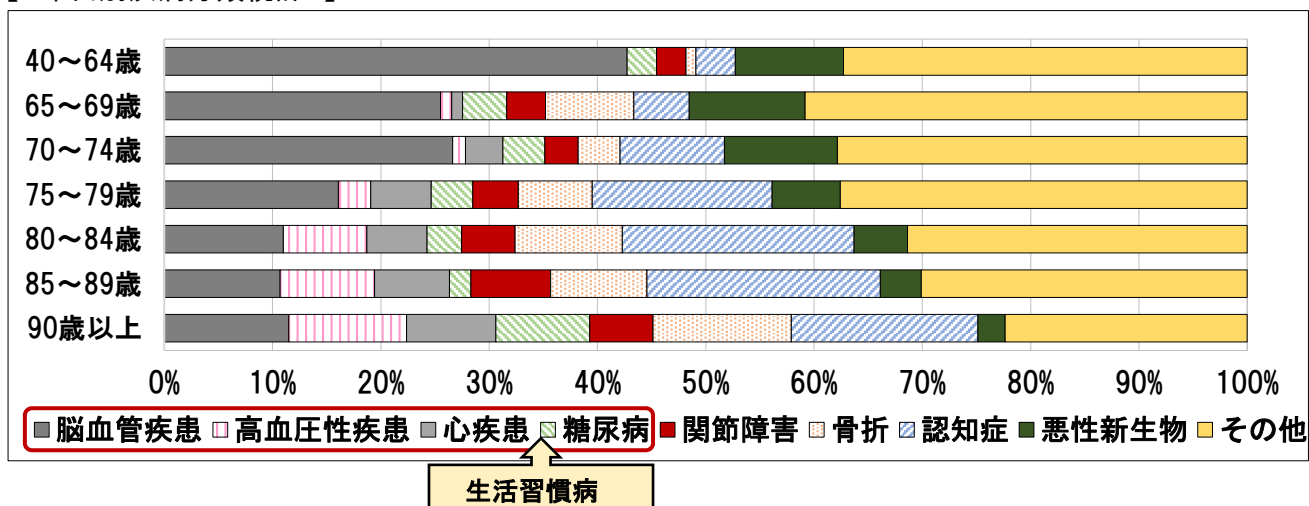
※非該当を除く

| 項目   | 脳血管疾患 | 高血圧性疾患 | 心疾患 | 糖尿病 | 関節障害 | 骨折  | 認知症 | 悪性新生物 | その他   | 計     |
|------|-------|--------|-----|-----|------|-----|-----|-------|-------|-------|
| 要支援1 | 38    | 52     | 31  | 13  | 55   | 25  | 25  | 16    | 163   | 418   |
| 要支援2 | 37    | 34     | 28  | 20  | 44   | 28  | 6   | 16    | 190   | 403   |
| 要介護1 | 129   | 100    | 69  | 36  | 61   | 100 | 214 | 59    | 337   | 1,105 |
| 要介護2 | 101   | 55     | 56  | 21  | 33   | 79  | 188 | 41    | 238   | 812   |
| 要介護3 | 113   | 32     | 38  | 13  | 17   | 72  | 176 | 34    | 165   | 660   |
| 要介護4 | 123   | 20     | 25  | 8   | 18   | 56  | 125 | 24    | 180   | 579   |
| 要介護5 | 57    | 8      | 9   | 7   | 2    | 26  | 85  | 21    | 102   | 317   |
| 計    | 598   | 301    | 256 | 118 | 230  | 386 | 819 | 211   | 1,375 | 4,294 |

### 【要介護度別疾病分類統計】



### 【年代別疾病分類統計】



### (3)地域・地区別要介護等認定状況

介護度別では要介護1、次いで要介護2の認定者数が多い状況です。認知機能の低下や心身機能の低下によりサービスの利用が必要となった状態で認定を受ける方が多いと思われます。

地域別では、高齢化率、認定率ともに、足尾地区が高くなっています

#### 【 地域・地区別要介護認定者数 】

|                  | 今市地区   | 落合地区  | 豊岡地区  | 大沢地区   | 塩野室地区 | 日光地域   | 藤原地域  | 足尾地域  | 栗山地域  | 住所地<br>特例 | 計      |
|------------------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-----------|--------|
| 市人口 (※1)         | 23,663 | 8,506 | 6,406 | 18,165 | 2,619 | 12,934 | 8,843 | 2,040 | 1,269 |           | 84,445 |
| 1号被保険者数 (※2)     | 6,776  | 2,776 | 2,068 | 4,925  | 925   | 5,209  | 3,412 | 1,059 | 594   | 92        | 27,836 |
| 要<br>介<br>護<br>度 | 要支援1   | 116   | 35    | 33     | 56    | 15     | 74    | 59    | 31    | 6         | 426    |
|                  | 要支援2   | 98    | 32    | 28     | 53    | 12     | 92    | 57    | 19    | 9         | 403    |
|                  | 要介護1   | 289   | 112   | 53     | 168   | 39     | 204   | 127   | 44    | 28        | 1,086  |
|                  | 要介護2   | 203   | 82    | 60     | 101   | 21     | 164   | 91    | 37    | 26        | 792    |
|                  | 要介護3   | 156   | 73    | 43     | 91    | 20     | 135   | 68    | 21    | 15        | 630    |
|                  | 要介護4   | 121   | 66    | 40     | 90    | 30     | 117   | 63    | 21    | 17        | 584    |
|                  | 要介護5   | 67    | 40    | 34     | 54    | 14     | 64    | 53    | 26    | 6         | 371    |
|                  | 認定者合計③ | 1,050 | 440   | 291    | 613   | 151    | 850   | 518   | 199   | 107       | 4,292  |
| 高齢化率 (%)         | 28.6   | 32.6  | 32.3  | 27.1   | 35.3  | 40.3   | 38.6  | 51.9  | 46.8  |           | 33.0   |
| 認定率 (%)          | 15.5   | 15.9  | 14.1  | 12.4   | 16.3  | 16.3   | 15.2  | 18.8  | 18.0  |           | 15.4   |

※1 市人口は、住民基本台帳(H29. 4. 1)から

※2 1号被保険者数・認定者数は、介護保険事業状況報告書(3月分)より

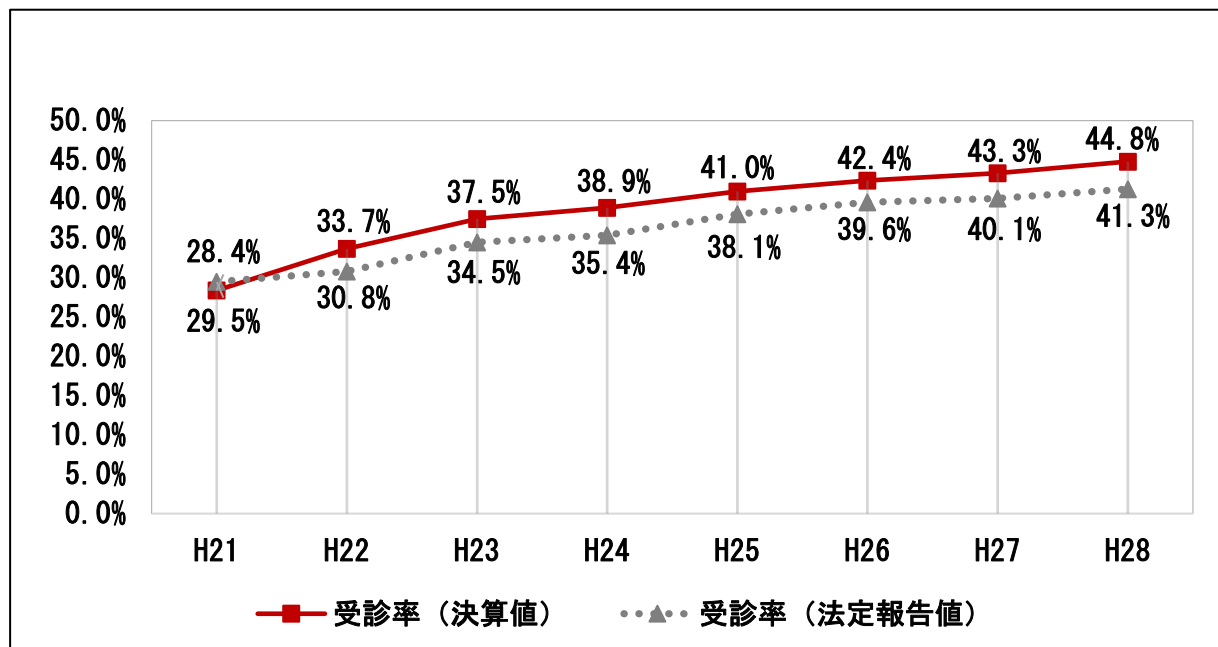
## 7. 特定健診の状況

### (1) 受診率と形態別受診者数の推移

平成28年度の特定健診は対象者16,363名、受診者7,338名、受診率は44.8%と年々増加傾向となっています。

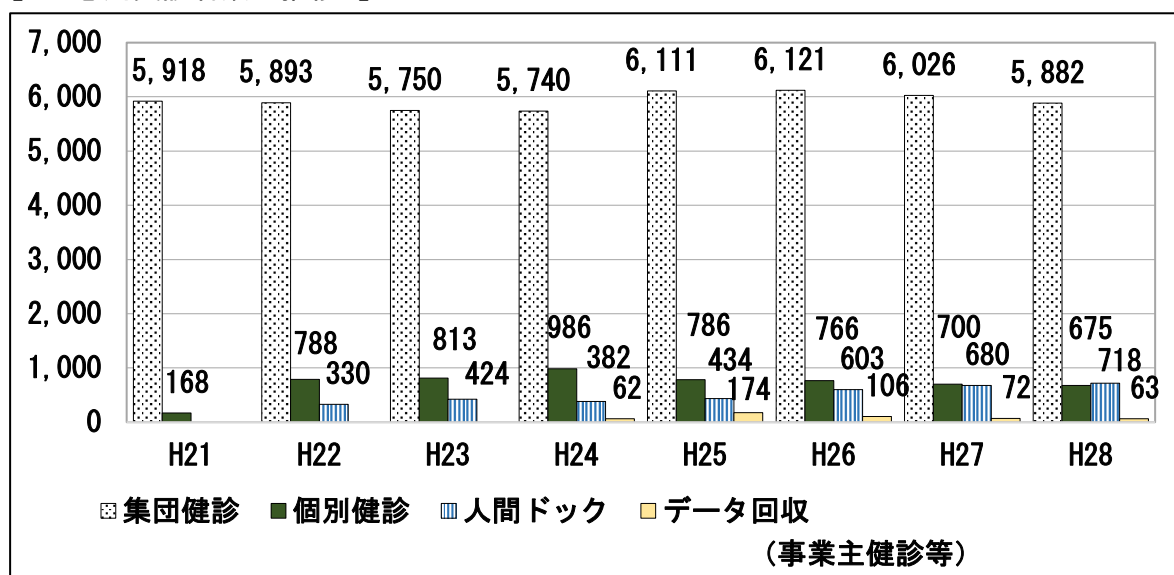
形態別受診者数は医療機関での個別健診が年々減少し、人間ドックが増加しています。

#### 【 特定健診受診率の推移 】



※ 法定報告値：国において全国的な比較を行うための対象者を設定し、算出した数値。年間を通じて被保険者であった者を対象とする。

#### 【 形態別受診者数の推移 】

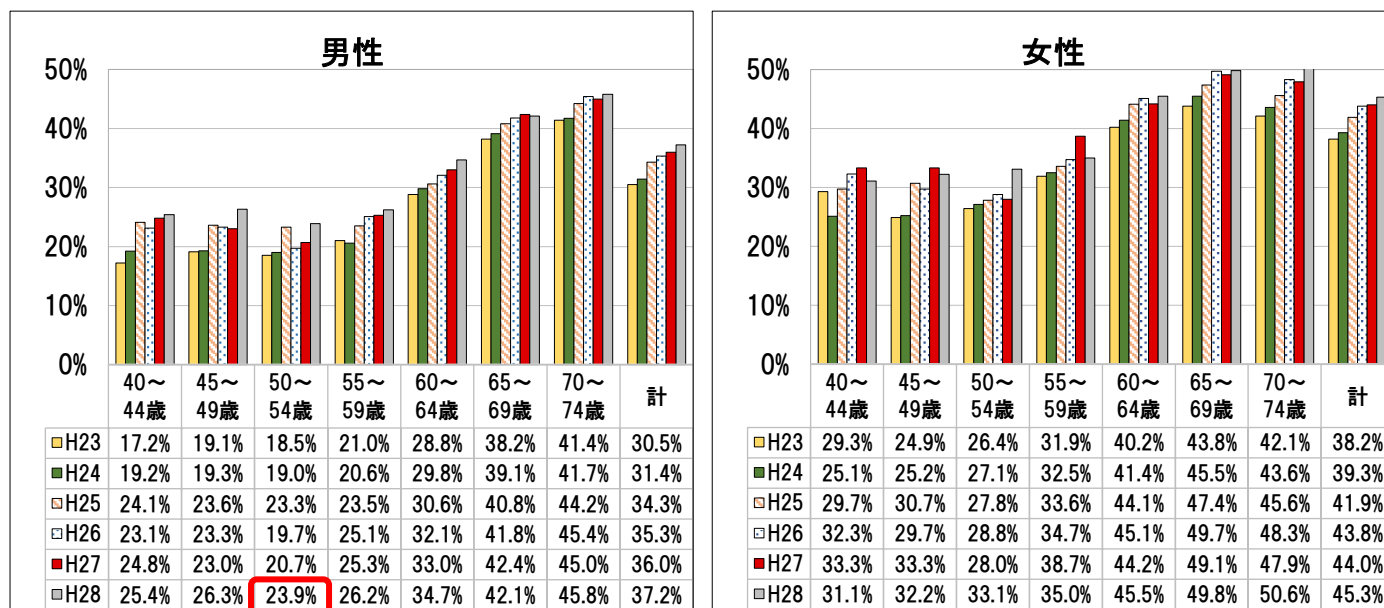


<決算値より>

## (2) 性別・年齢別受診状況

女性に比べ、男性の受診率は低くなっています。また、男女ともに40歳～50歳代の受診率が低く、特に男性の50歳～54歳の受診率は23.9%となっています。

### 【 特定健診受診率の推移 】



## (3) 継続受診・継続未受診・不規則受診の推移

平成23年度から平成25年度の3年間、平成24年度から平成26年度の3年間、平成25年度から平成27年度の3年間についての受診形態比較を見ると、3年継続未受診者は年々減ってはいますが、未だ49.6%と高い割合となっています。また、不規則受診者が増加しており、継続受診に至っていない状況です。健診未受診者の中には医療機関に通院中のため受診しない者もいる状況です。

### 【 継続受診・継続未受診・不規則受診状況 】

新規受診者…過去3年間未受診で新規受診した方

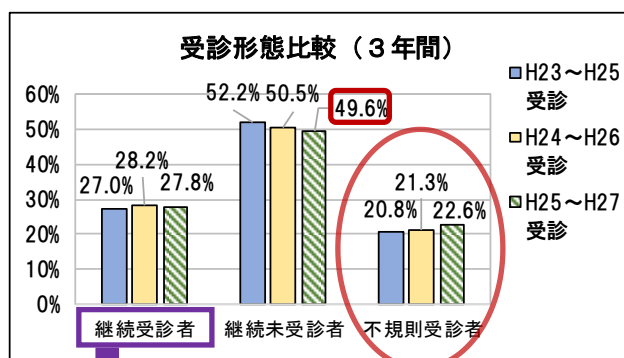
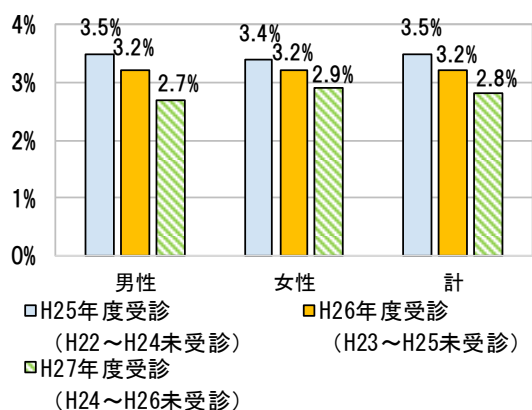
継続受診者…3年間すべて受診している方

継続未受診者…3年間に1回も受診していない方

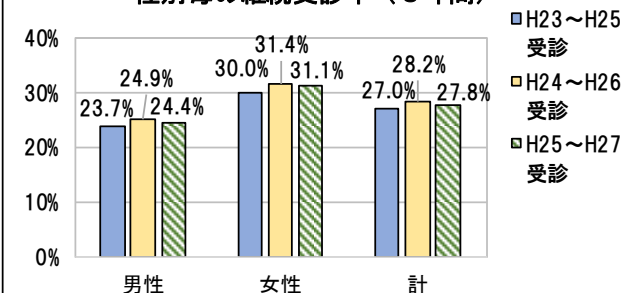
不規則受診者…すべてではないが1回以上受診している方

(※上記は期間内に国保の資格特喪がない者を対象)

#### (参考) 新規受診率 (過去3年間未受診)



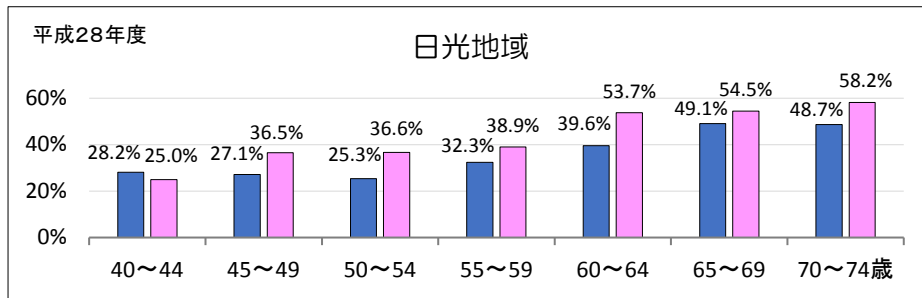
#### (参考) 性別毎の継続受診率 (3年間)



<平成29年2月国保連提供 特定健診等データベースより>

#### (4) 地域・年齢別受診率

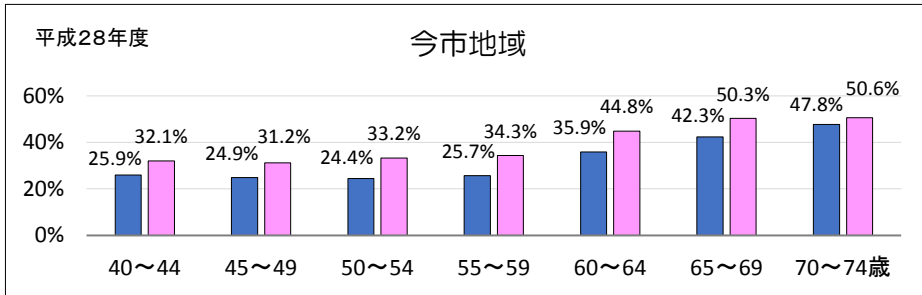
凡例：■男性 ■女性



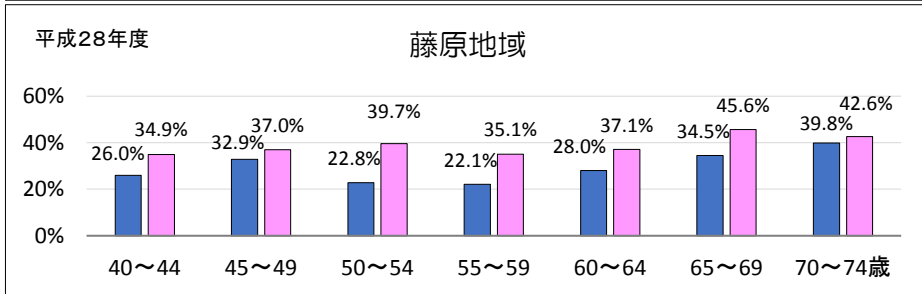
日光市 全地域計  
**41.5%**

＜受診率の高い順＞

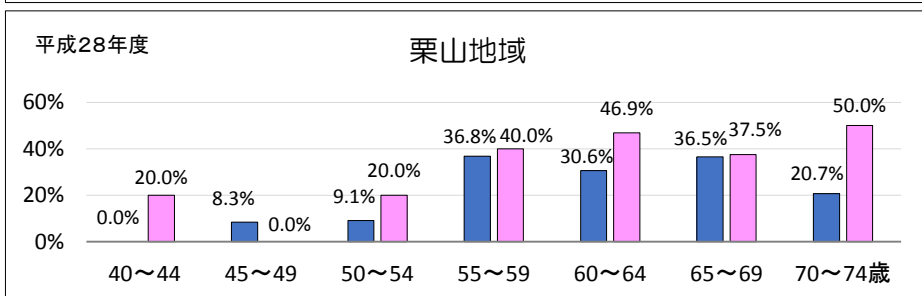
①日光地域  
(地域全体の受診率)  
**46.7%**  
(前年比+1.6%)



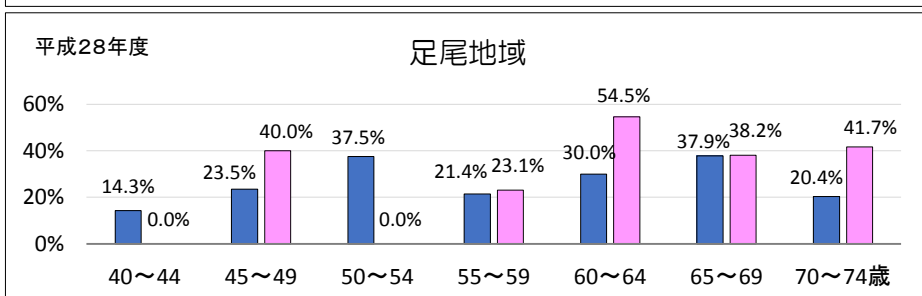
②今市地域  
(地域全体の受診率)  
**41.6%**  
(前年比+1.3%)



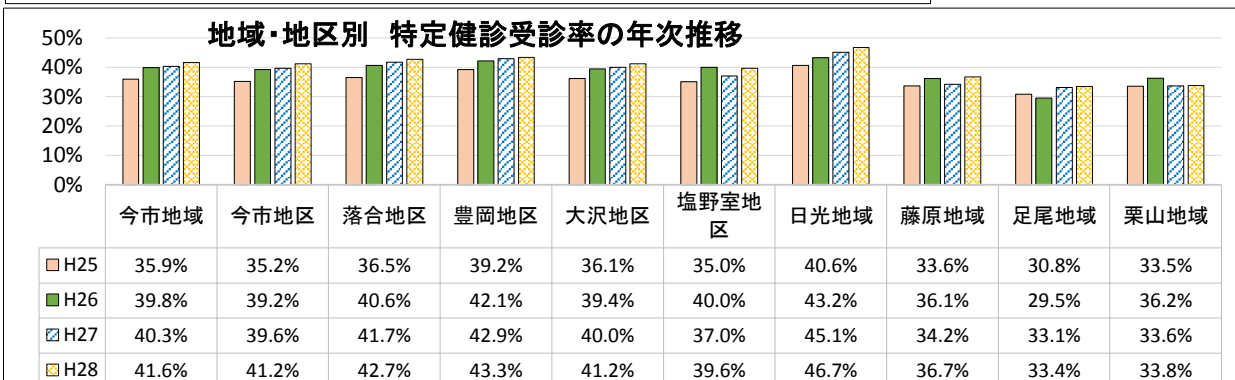
③藤原地域  
(地域全体の受診率)  
**36.7%**  
(前年比+2.5%)



④栗山地域  
(地域全体の受診率)  
**33.8%**  
(前年比+0.2%)



⑤足尾地域  
(地域全体の受診率)  
**33.4%**  
(前年比+0.3%)



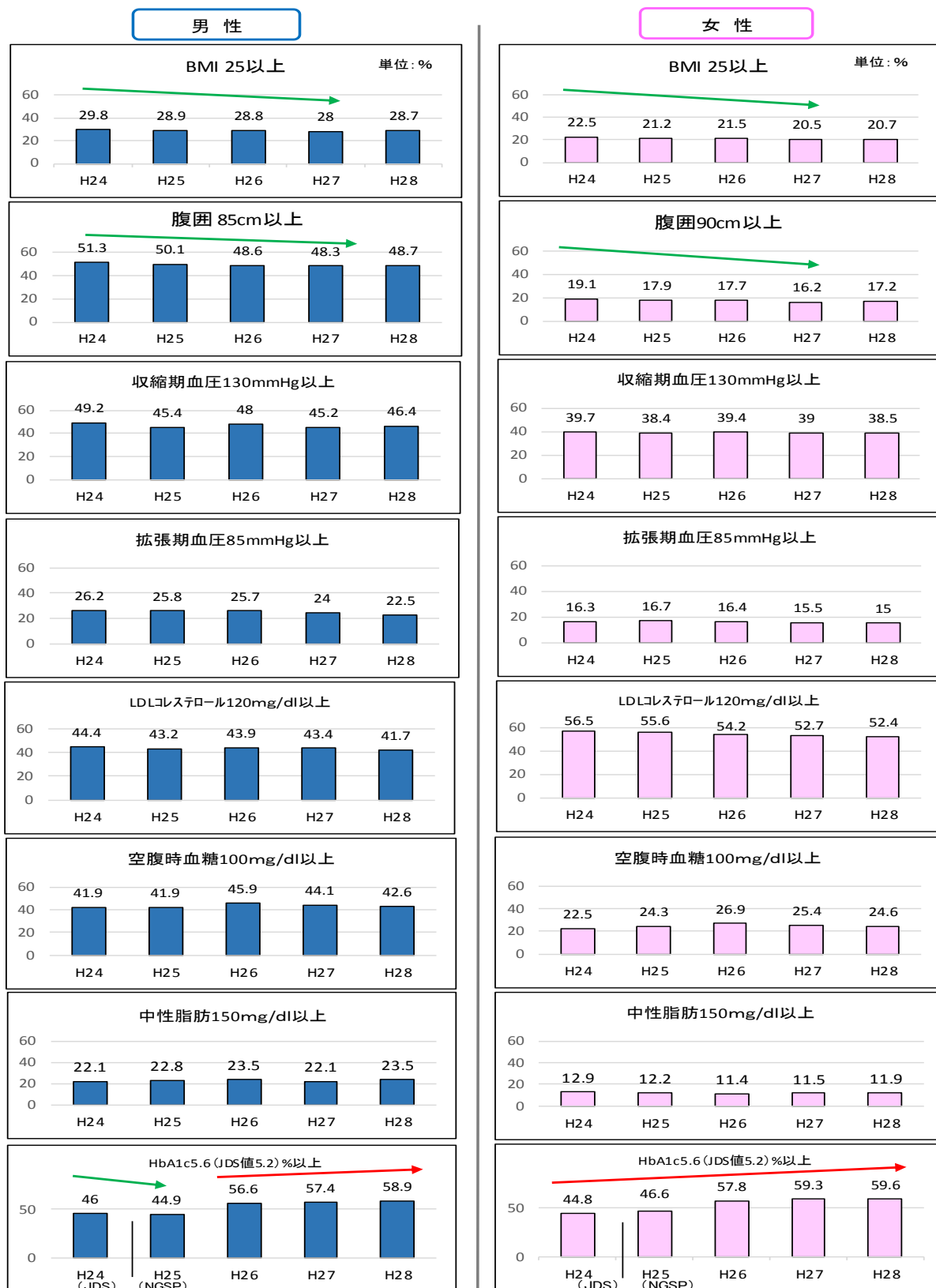
＜法定報告値、KDBシステムより＞

## (5) 各種検査項目の有所見率

特定健診の有所見率に増減がみられる項目については、高血圧症患者数は増加していますが、健診の収縮期血圧有所見率は横ばいです。しかしながら、男性においては50%近くが有所見者となっています。HbA1cの有所見率は、平成26年に急増し、その後も増加傾向にあります。

糖尿病及び予備群が県及び県内比較でも高率であり、発症及び重症化予防が重要となります。

### 【 男女別有所見率 】



＜特定健診等データ管理システム、KDBシステムより＞

## (6) 特定健診データ分析受診勧奨事業

### ① 平成28年度データ分析受診勧奨事業の内容

特定健診受診率向上のための取り組みとして、平成26年度より実施してきた「データ分析受診勧奨事業」を引き続き実施しました。対象者を未受診者と不定期受診者のグループに分け、不定期受診者に対しては、過去の受診歴・問診項目・受診結果等をもとに委託業者がデータ分析をし、4つの区分に分け、それぞれの区分の特性に合った勧奨資材(4種類)を作成し、送付しました。未受診者の中で通院歴のある対象者に対しては、例年受診率が低い傾向があることから、2回勧奨通知を送付しました。

また、勧奨通知送付後、返答のない方に対し、市職員が電話勧奨を実施しました。

### 【 通知の区分及び受診率 】

| 通知                                                                                                                                                             | 区分 | 健診<br>受診歴 | 分類内容等                         | 通知<br>規格              | 送付数に対する<br>受診率 | 勧奨通知<br>送付日   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|-------------------------------|-----------------------|----------------|---------------|
| 日光市の特定健診<br>20以上の<br>血圧の高さが続きます。<br>【受診目安】<br>血圧計を測定し、血圧が高ければ、医師に相談してください。<br>【受診目安】<br>血圧計を測定し、血圧が高ければ、医師に相談してください。<br>【受診目安】<br>血圧計を測定し、血圧が高ければ、医師に相談してください。 | A  | あり        | ・健診受診歴多い<br>・運動習慣あり           | A4圧着<br>6面            | 31.8%          | 244/768人      |
| 日光市の特定健診<br>1健康でどんな病気か<br>わかる？<br>2血圧の高さが<br>どうすればいい？<br>3毎年おに1回で<br>いいんじゃないの？                                                                                 | B  | あり        | ・健診受診歴多い<br>・運動習慣あり           | A4圧着<br>6面            | 32.3%          | 129/400人      |
| 日光市の特定健診<br>1健康でどんな病気か<br>わかる？<br>2血圧の高さが<br>どうすればいい？<br>3毎年おに1回で<br>いいんじゃないの？                                                                                 | C  | あり        | ・健診受診歴不定期<br>・体重の変動あり         | A4圧着<br>6面            | 26.7%          | 223/835人      |
| 日光市の特定健診<br>1健康でどんな病気か<br>わかる？<br>2血圧の高さが<br>どうすればいい？<br>3毎年おに1回で<br>いいんじゃないの？                                                                                 | D  | あり        | ・健診受診歴不定期<br>・健康意識低い          | A4圧着<br>6面            | 28.9%          | 200/692人      |
| 平成28年度 特定健診申込書                                                                                                                                                 | E  | なし        | ・特定健診受診歴なし                    | 往復ハガキ<br>4面           | 7.4%           | 390/5,300人    |
| 特定健診の心、<br>かかりつけの先生に<br>相談してください。<br>日光市の特定健診<br>1健康でどんな病気か<br>わかる？<br>2血圧の高さが<br>どうすればいい？<br>3毎年おに1回で<br>いいんじゃないの？                                            | E2 | なし        | ・特定健診受診歴なし<br>かつ<br>5疾病の通院歴あり | A4圧着<br>6面<br>(2回目発送) | 2.1%           | 75/3,603人     |
| 通知発送(4種類)に対する受診率                                                                                                                                               |    |           |                               |                       | 10.8%          | 1,206/11,170人 |
| うち電話勧奨対象者に対する受診率                                                                                                                                               |    |           |                               |                       | 29.6%          | 165/558人      |

## ②データ分析受診勧奨事業の効果

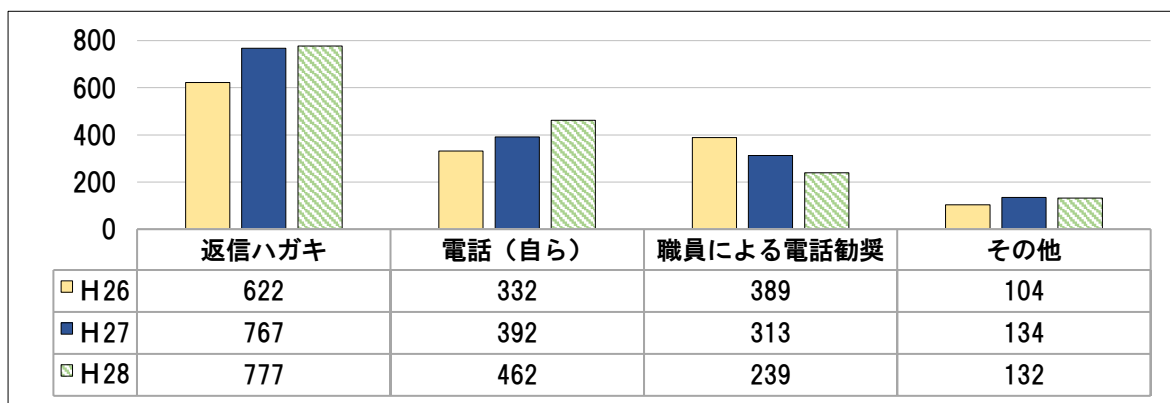
特定健診の未受診者に対する受診勧奨の効果としては、受診率が年々上昇しています。

区分ごとの受診率を見ると、「A(健診受診歴が多く、運動習慣ありの方)」、「B(健診受診歴が多く、健康意識の低めの方)」の受診率が比較的高くなっており、データ分析による対象者の区分分けや特性ごとに勧奨資材を変えることは、受診勧奨の取り組みとして一定の効果があると言えます。

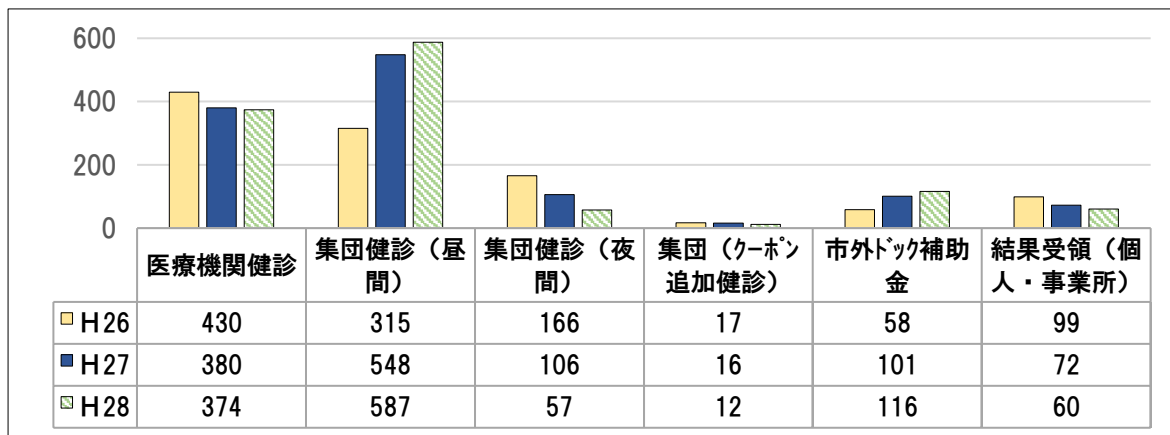
また、集団健診日程や市外人間ドック補助金制度の案内を勧奨通知に記載したことも、受診率向上につながったと考えられます。

一方で、「E2(生活習慣病で通院中のため健診受診歴のない方)」に対する勧奨通知は2回送付しましたが、受診率が2.1%と低い状況でした。引き続き、通院中の方に対し健診受診への意識づけを行っていくことが重要です。

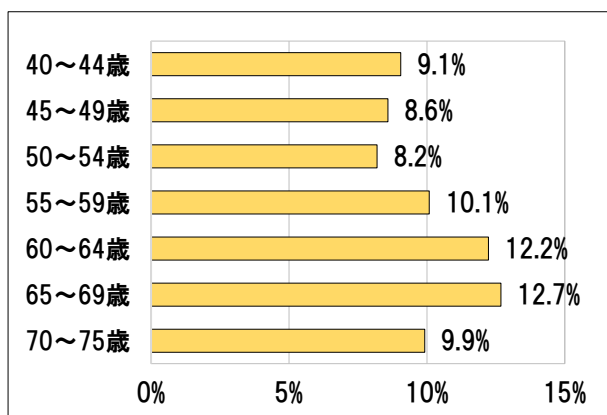
### 【（参考）受診勧奨者の申込方法内訳】



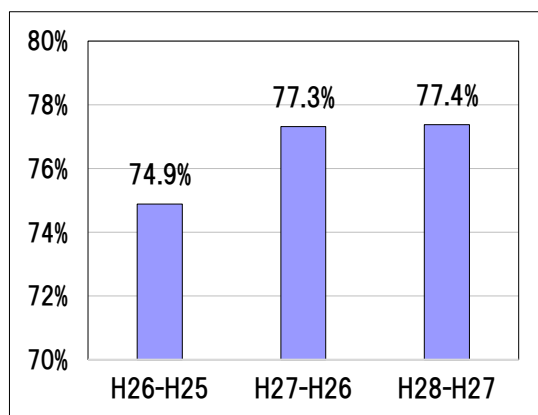
### 【（参考）受診勧奨者の形態別受診者数】



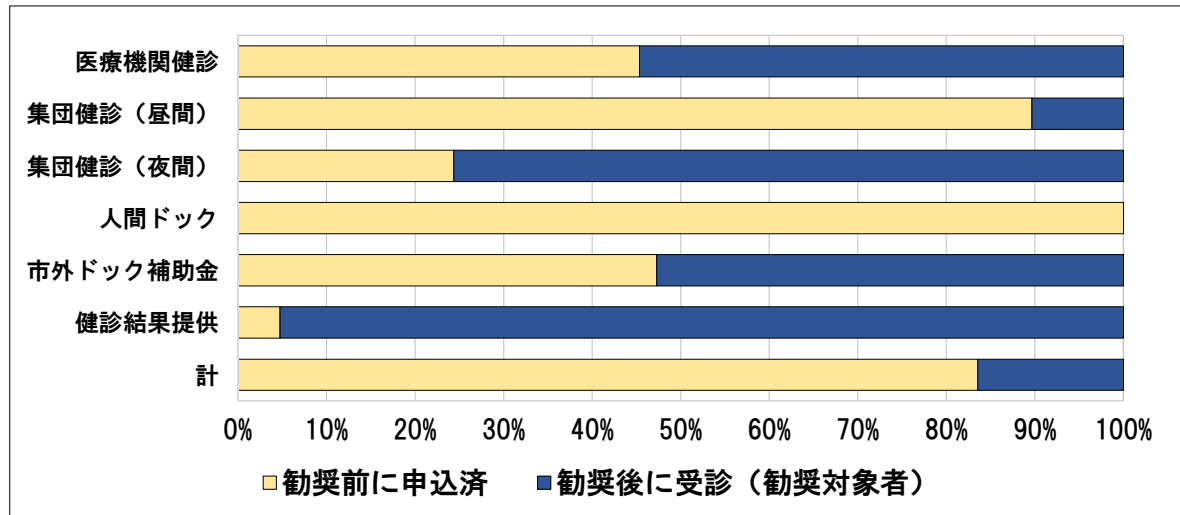
### 【（参考）平成28年度年齢別受診率】



### 【（参考）2年連続受診者の割合】



【（参考） 受診勧奨後に健診を受診した者の割合 】



【（参考） 健診受診者内訳 】

|    |                 | H26年度        | H27年度        | H28年度        |
|----|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| 国保 | 集団健診(昼間)        | 5,954        | 5,905        | 5,800        |
|    | 集団健診(夜間)        | 167          | 121          | 82           |
|    | 個別健診(医療機関方式)    | 766          | 700          | 675          |
|    | 人間ドック(40歳以上)    | 603          | 680          | 718          |
|    | 事業所健診等他の健診結果受領  | 106          | 72           | 63           |
|    | <b>特定健診受診者計</b> | <b>7,596</b> | <b>7,478</b> | <b>7,338</b> |
|    | 受診率             | 42.4%        | 43.3%        | 44.8%        |
|    | (対象者数)          | 17,925       | 17,256       | 16,363       |

|            |                   | H26年度        | H27年度        | H28年度        |
|------------|-------------------|--------------|--------------|--------------|
| 後期<br>(参考) | 集団健診(昼間)          | 2,461        | 2,570        | 2,749        |
|            | 集団健診(夜間)          | 28           | 9            | 7            |
|            | 個別健診(医療機関方式)      | 514          | 586          | 543          |
|            | <b>はつらつ健診受診者計</b> | <b>3,003</b> | <b>3,165</b> | <b>3,299</b> |
|            | 受診率               | 23.3%        | 24.6%        | 25.4%        |
|            | (対象者数)            | 12,875       | 12,892       | 12,990       |

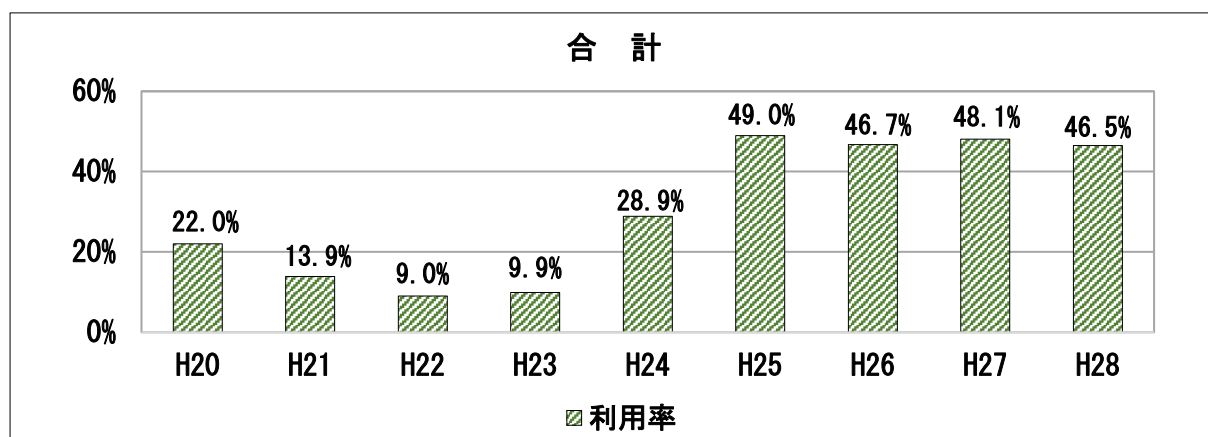
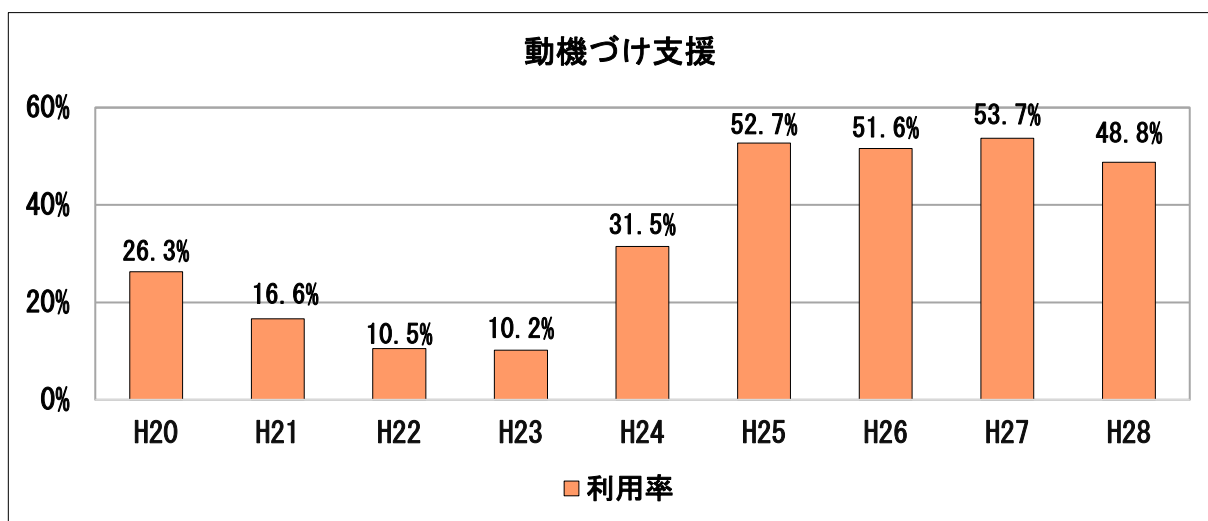
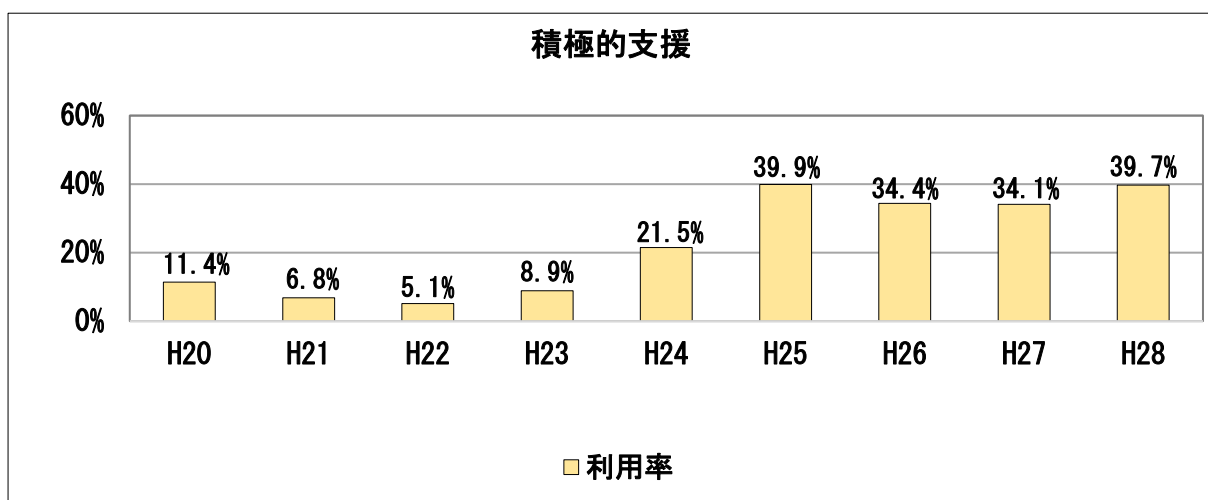
## 8. 特定保健指導の状況

### (1) 特定保健指導利用率・利用形態の推移

特定保健指導利用率は、年度により変動はありますが、平成25年度からの第2期計画においては45%以上を維持しています。積極的支援より動機づけ支援の方が利用率は高い状況です。

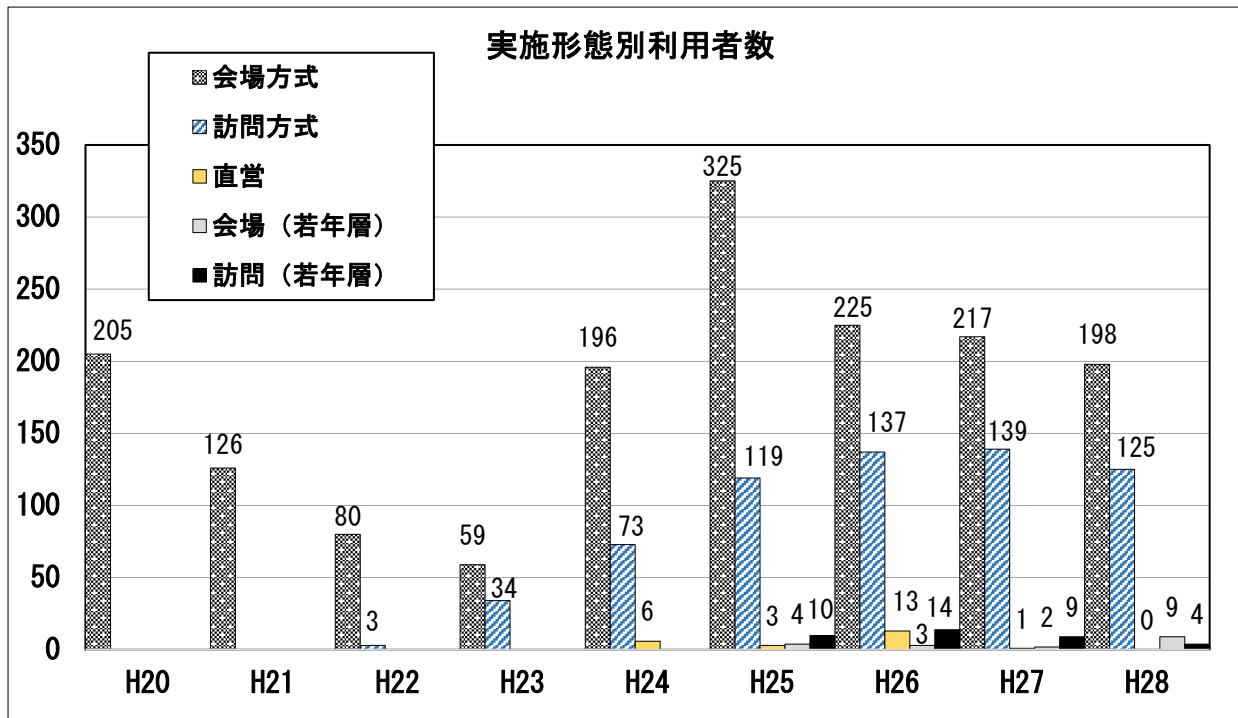
実施形態別利用者を見ると、訪問方式保健指導が定着してきています。

#### 【 特定保健指導利用率の年次推移 】



< 決算値より >

【 実施形態別利用者数の年次推移 】



＜決算値より＞

(2) 年齢別利用状況

動機づけ支援では45歳から49歳の男性の利用率が低く、積極的支援では男女ともに40歳代の利用率が低い状況でした。

全体として、男女ともに40歳代の利用は少ないですが、50歳代からの利用は増えています。

【 平成28年度 特定保健指導 年齢・男女別利用状況 】

| 動機づけ支援 | 性別 | 年齢別    | 対象者 | 実施者 | 利用率   |
|--------|----|--------|-----|-----|-------|
|        | 男性 | 40～44歳 | 7   | 1   | 14.3% |
|        |    | 45～49歳 | 11  | 1   | 9.1%  |
|        |    | 50～54歳 | 12  | 2   | 16.7% |
|        |    | 55～59歳 | 12  | 6   | 50.0% |
|        |    | 60～64歳 | 36  | 19  | 52.8% |
|        |    | 65～69歳 | 146 | 67  | 45.9% |
|        |    | 70～74歳 | 94  | 45  | 47.9% |
|        |    | 計      | 318 | 141 | 44.3% |
|        | 女性 | 40～44歳 | 8   | 1   | 12.5% |
|        |    | 45～49歳 | 14  | 3   | 21.4% |
|        |    | 50～54歳 | 8   | 3   | 37.5% |
|        |    | 55～59歳 | 11  | 7   | 63.6% |
|        |    | 60～64歳 | 31  | 14  | 45.2% |
|        |    | 65～69歳 | 69  | 47  | 68.1% |
|        |    | 70～74歳 | 52  | 29  | 55.8% |
|        |    | 計      | 193 | 104 | 53.9% |
|        | 合計 |        | 511 | 245 | 47.9% |

| 積極的支援 | 性別 | 年齢     | 対象者 | 実施者 | 利用率    |
|-------|----|--------|-----|-----|--------|
|       | 男性 | 40～44歳 | 21  | 2   | 9.5%   |
|       |    | 45～49歳 | 31  | 4   | 12.9%  |
|       |    | 50～54歳 | 20  | 4   | 20.0%  |
|       |    | 55～59歳 | 18  | 12  | 66.7%  |
|       |    | 60～64歳 | 51  | 27  | 52.9%  |
|       |    | 計      | 141 | 49  | 34.8%  |
|       | 女性 | 40～44歳 | 2   | 0   | 0.0%   |
|       |    | 45～49歳 | 1   | 0   | 0.0%   |
|       |    | 50～54歳 | 3   | 3   | 100.0% |
|       |    | 55～59歳 | 6   | 4   | 66.7%  |
|       |    | 60～64歳 | 13  | 4   | 30.8%  |
|       |    | 計      | 25  | 11  | 44.0%  |
|       | 合計 |        | 166 | 60  | 36.1%  |

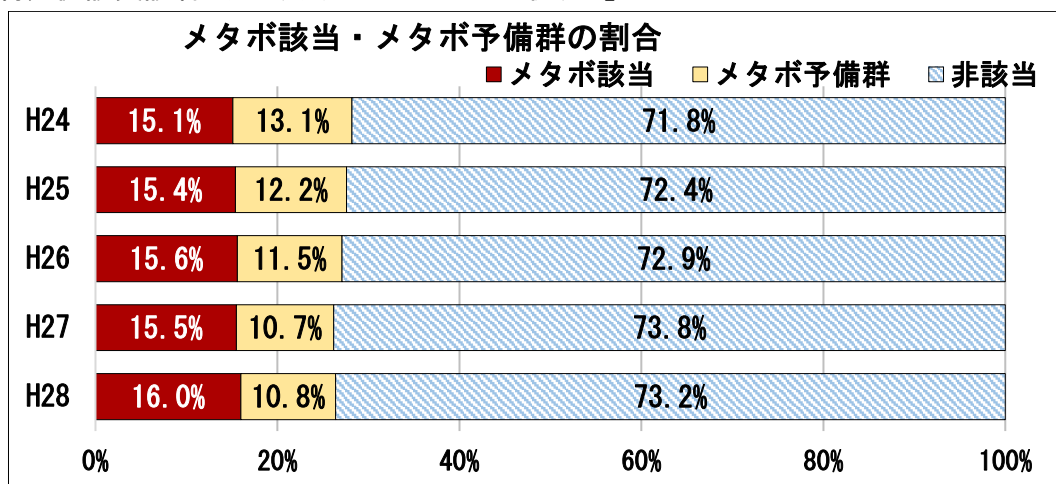
＜法定報告値より＞

### (3)メタボリックシンドローム該当・予備群及び特定保健指導該当者等の推移

メタボリックシンドローム該当が増加し、予備群は減少しています。また、非該当者は年々増加傾向にあります。

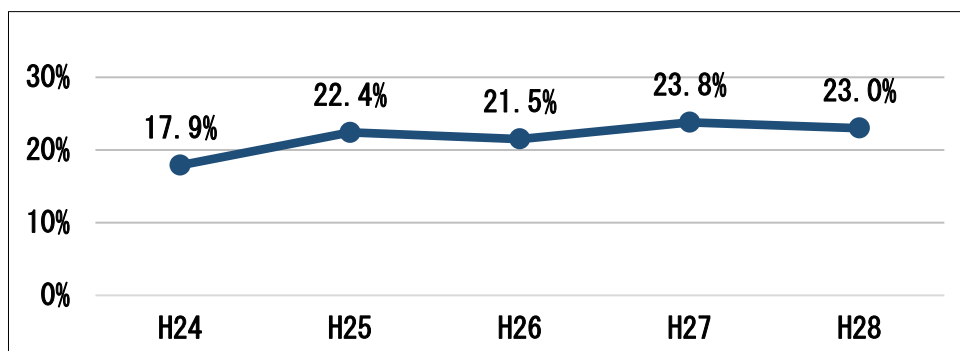
特定保健指導利用者のうち、26.1%が翌年度対象外になっています。

#### 【 特定健診受診者メタボリックシンドロームの状況 】



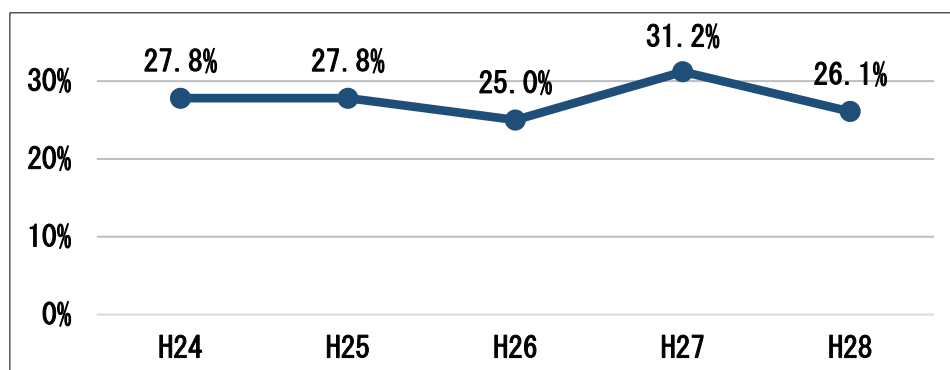
<法定報告値より>

#### 【 前年度特定保健指導対象者で次年度対象外になった者の割合 】



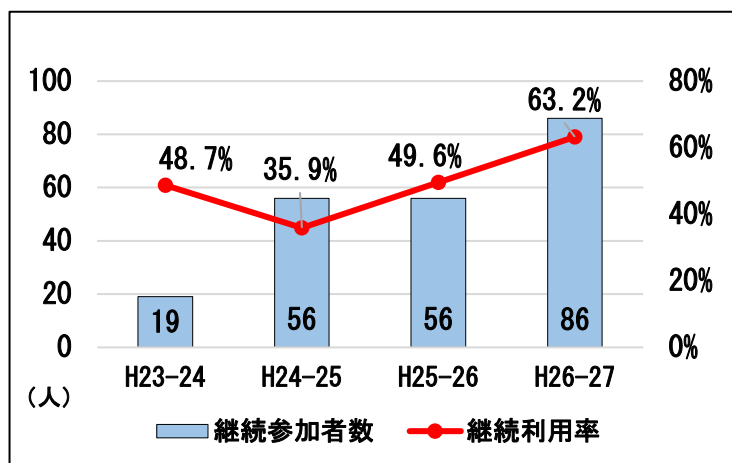
<法定報告値より>

#### 【 特定保健指導利用による保健指導対象者の減少率 】



<法定報告値より>

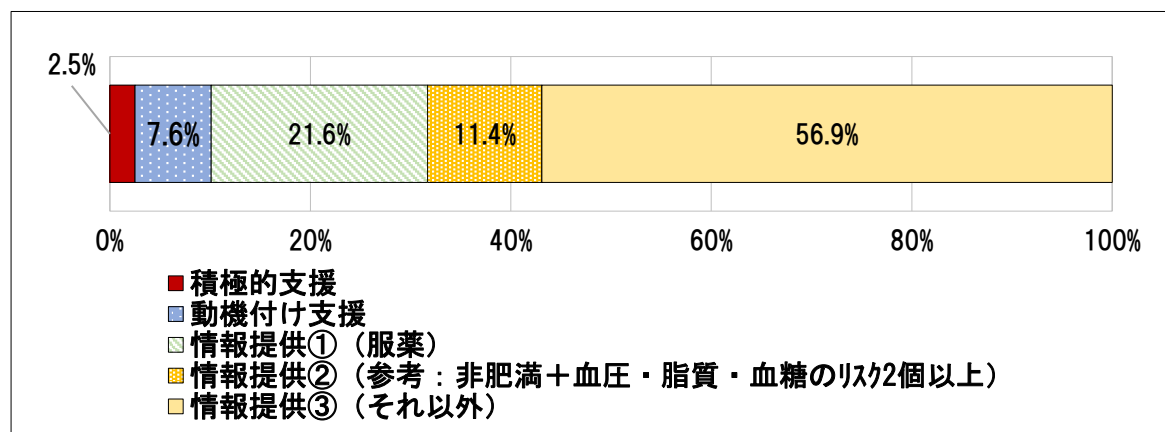
【（参考） 特定保健指導2年連続利用率 】



<国保連提供データベースより>

【（参考） 特定保健指導階層化 】

|        | H24   | H25   | H26   | H27   | H28   |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 積極的支援  | 3.6%  | 3.4%  | 3.1%  | 3.0%  | 2.5%  |
| 動機付け支援 | 9.8%  | 8.8%  | 8.2%  | 7.6%  | 7.6%  |
| 情報提供①  | 20.1% | 20.2% | 21.2% | 20.6% | 21.6% |
| 情報提供②  | 10.9% | 11.1% | 12.9% | 12.1% | 11.4% |
| 情報提供③  | 55.6% | 56.5% | 54.6% | 56.7% | 56.9% |



<法定報告リスクパターン別集計表より>

【（参考）特定健診受診者のメタボ該当・メタボ予備群及び特定保健指導該当者等の推移】

| 項 目   |              |         |                                                 | H24    | H25    | H26    | H27    | H28    |
|-------|--------------|---------|-------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特定健診  | 健診対象者数       |         |                                                 | 18,568 | 18,312 | 17,902 | 17,248 | 16,345 |
|       | 受診者数         |         |                                                 | 6,576  | 6,982  | 7,091  | 6,908  | 6,753  |
|       | 健診受診率【法定報告値】 |         |                                                 | 35.4%  | 38.1%  | 39.6%  | 40.1%  | 41.3%  |
| 受診者内訳 | 内臓脂肪症候群（メタボ） | メタボ該当   | 内臓脂肪症候群 該当者数                                    | 994    | 1,077  | 1,105  | 1,068  | 1,078  |
|       |              |         | 内臓脂肪症候群 該当者割合                                   | 15.1%  | 15.4%  | 15.6%  | 15.5%  | 16.0%  |
|       |              |         | 前年比                                             | 0.1%   | 0.3%   | 0.2%   | -0.1%  | 0.5%   |
|       |              | 減少率     | 昨年度内臓脂肪症候群該当者のうち、<br>内臓脂肪症候群 該当者・予備群ではなくなった者の数  | 101    | 104    | 115    | 130    | 104    |
|       |              |         | 昨年度内臓脂肪症候群該当者のうち、<br>内臓脂肪症候群 該当者・予備群ではなくなった者の割合 | 11.6%  | 11.3%  | 11.9%  | 13.2%  | 10.9%  |
|       |              | メタボ予備群  | 内臓脂肪症候群 予備群者数                                   | 863    | 853    | 817    | 739    | 730    |
|       |              |         | 内臓脂肪症候群 予備群者割合                                  | 13.1%  | 12.2%  | 11.5%  | 10.7%  | 10.8%  |
|       |              |         | 前年比                                             | -0.4%  | -0.9%  | -0.7%  | -0.8%  | 0.1%   |
|       |              | 減少率     | 昨年度内臓脂肪症候群 予備群のうち、<br>内臓脂肪症候群 該当者・予備群ではなくなった者の数 | 152    | 179    | 173    | 155    | 137    |
|       |              |         | 昨年度内臓脂肪症候群該当者のうち、<br>内臓脂肪症候群 該当者・予備群ではなくなった者の割合 | 19.6%  | 22.9%  | 22.6%  | 21.5%  | 20.5%  |
|       | 特定保健指導       | 積極的支援   | 対象者数                                            | 236    | 236    | 220    | 207    | 166    |
|       |              |         | 利用者数                                            | 54     | 95     | 70     | 89     | 58     |
|       |              |         | 利用率                                             | 22.9%  | 40.3%  | 31.8%  | 43.0%  | 34.9%  |
|       |              | 動機づけ支援  | 対象者数                                            | 643    | 612    | 584    | 522    | 511    |
|       |              |         | 利用者数                                            | 226    | 322    | 289    | 318    | 234    |
|       |              |         | 利用率                                             | 35.1%  | 52.6%  | 49.5%  | 60.9%  | 45.8%  |
|       |              | 合計      | 対象者数                                            | 879    | 848    | 804    | 729    | 677    |
|       |              |         | 利用者数                                            | 280    | 417    | 359    | 323    | 292    |
|       |              |         | 利用率                                             | 31.9%  | 49.2%  | 44.7%  | 44.3%  | 43.1%  |
|       |              |         | 終了率【法定報告値】                                      | 37.5%  | 39.4%  | 42.4%  | 44.3%  | 45.1%  |
|       |              | 対象者の減少率 | 昨年度の特定保健指導の対象者のうち、<br>特定保健指導の対象ではなくなった者の数       | 148    | 183    | 167    | 173    | 154    |
|       |              |         | 昨年度の特定保健指導の対象者のうち、<br>特定保健指導の対象ではなくなった者の割合      | 17.9%  | 22.4%  | 21.5%  | 23.8%  | 23.0%  |
|       |              |         | 昨年度の特定保健指導利用者数(人)<br>※資格の異動者を除く                 | 97     | 263    | 388    | 317    | 383    |
|       |              |         | 昨年度の特定保健指導利用者のうち、<br>今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数    | 27     | 73     | 97     | 99     | 100    |
|       |              |         | 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率                          | 27.8%  | 27.8%  | 25.0%  | 31.2%  | 26.1%  |

<法定報告値より>

#### (4) 特定保健指導(会場方式)参加者分析

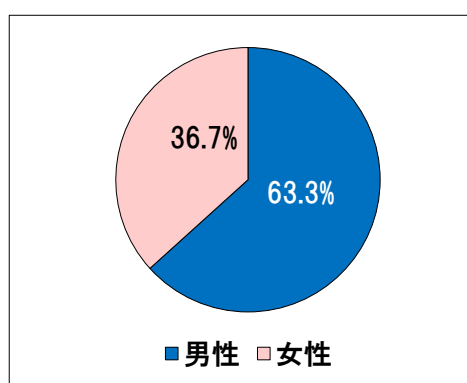
日光市の特定保健指導対象者の男女別割合は、男性:女性≒62%:38%と圧倒的に男性が多く、会場方式参加者も男性:女性≒63%:37%と特定保健指導対象者割合と概ね同じ比率で男性が多い状況です。

年代別にみると、60歳代の参加者数が多く、60歳以降の定年退職後に国民健康保険に移行する人が多いため、60歳以上の加入者数が増えることに加え、定年を機に自身の健康に対する意識が高くなり、積極的な参加に繋がりがやすいこと等が考えられます。支援方法別にみると、積極的支援:動機づけ支援≒17%:83%で動機づけ支援の参加者が男女共に多くなっています。

会場方式では、積極的支援だけでなく、動機づけ支援も初回・中間・最終の3回の教室を設定し、グループ支援を中心に行っています。

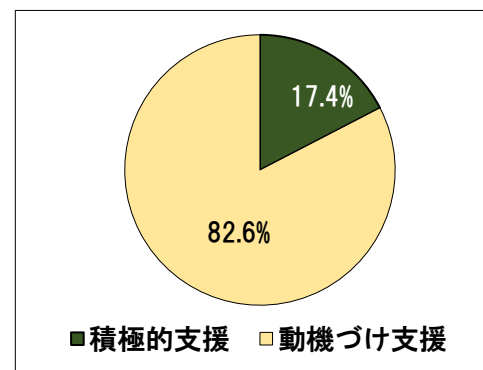
##### 【 男女別参加者数 】

|    | 参加者数  | 割合     |
|----|-------|--------|
| 男性 | 131 人 | 63.3%  |
| 女性 | 76 人  | 36.7%  |
| 総数 | 207 人 | 100.0% |



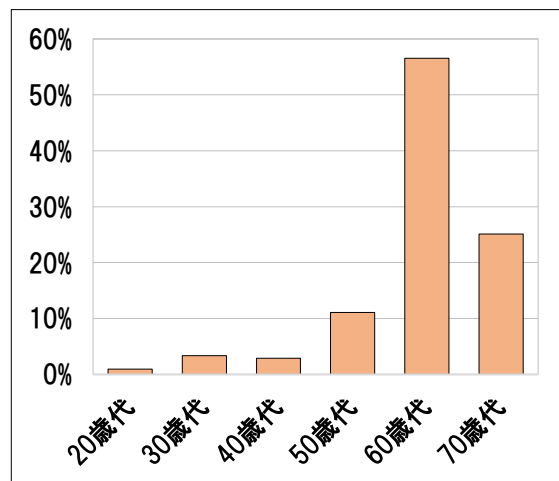
##### 【 支援方法別参加者数 】

|        | 男性    | 女性   | 計     | 割合     |
|--------|-------|------|-------|--------|
| 積極的支援  | 28 人  | 8 人  | 36 人  | 17.4%  |
| 動機づけ支援 | 103 人 | 68 人 | 171 人 | 82.6%  |
| 計      | 131 人 | 76 人 | 207 人 | 100.0% |



##### 【 年代別参加者数 】

| 年代別参加者数 | 男性    | 女性   | 計     | 割合     |
|---------|-------|------|-------|--------|
| 20 歳代   | 2 人   | 0 人  | 2 人   | 1.0%   |
| 30 歳代   | 6 人   | 1 人  | 7 人   | 3.4%   |
| 40 歳代   | 3 人   | 3 人  | 6 人   | 2.9%   |
| 50 歳代   | 13 人  | 10 人 | 23 人  | 11.1%  |
| 60 歳代   | 75 人  | 42 人 | 117 人 | 56.5%  |
| 70 歳代   | 32 人  | 20 人 | 52 人  | 25.1%  |
| 計       | 131 人 | 76 人 | 207 人 | 100.0% |



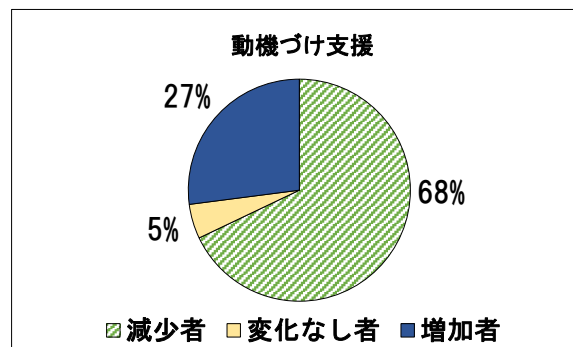
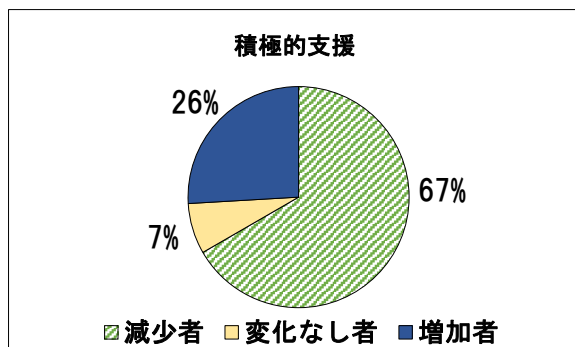
## (5) 特定保健指導修了者の変化

平成28年度特定保健指導修了者の体重と腹囲の変化についてみると、会場方式・訪問方式共に、減少者の割合が半数を超えていました。特に、会場方式の積極的支援対象者のうち、腹囲の減少者は81%と高い割合でした。

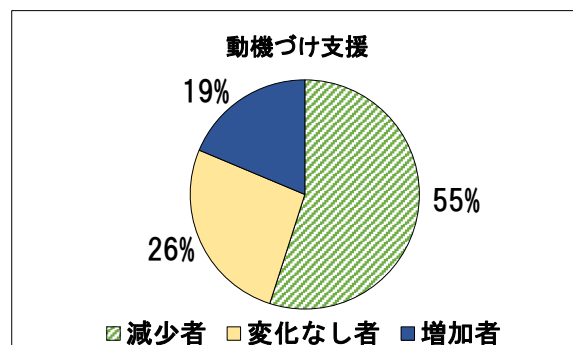
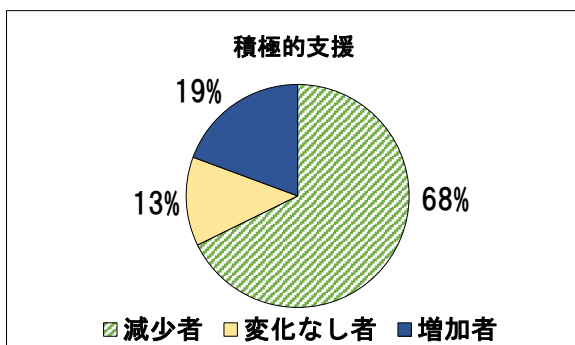
特定保健指導を受けたことで、体重と腹囲の改善に効果があることがわかります。

### 【 体重の変化(会場方式) 】

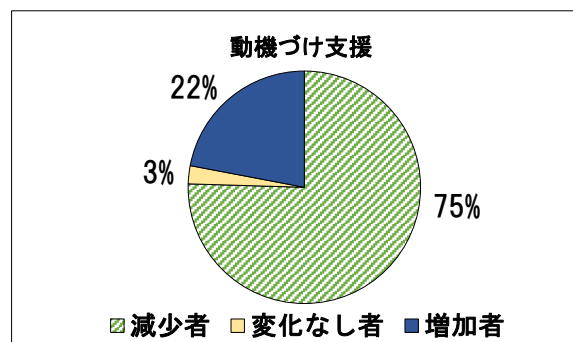
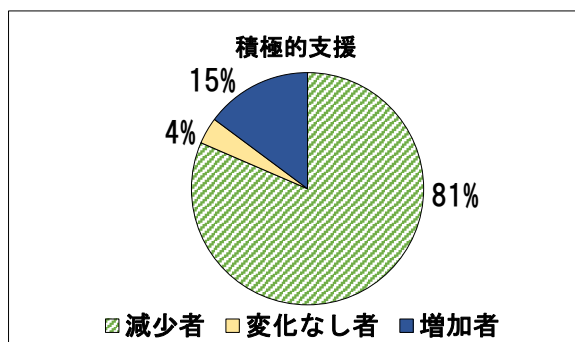
※すべて平成30年1月現在



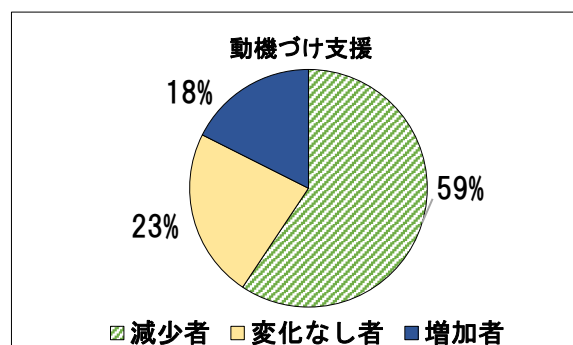
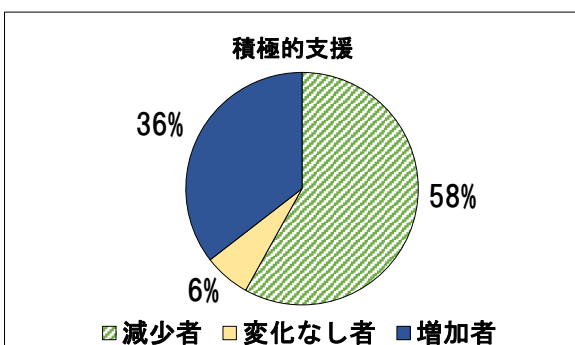
### 【 体重の変化(訪問方式) 】



### 【 腹囲の変化(会場方式) 】



### 【 腹囲の変化(訪問方式) 】



## (6) 特定保健指導参加者の指導前後の健診結果の比較

平成27年度特定保健指導修了者の効果を検証するため、階層化健診年度と平成28年度の特定健診(人間ドック等含む)の検査結果値を比較し、特定保健指導参加者のデータ改善状況を分析しました。

### ① 会場方式

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 結果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各検査項目で一定の改善傾向が見られ、特に体重・腹囲における改善率が高いといえます。中性脂肪の改善率は体重・腹囲に比し低いことがわかります。</li> <li>・積極的支援と動機づけ支援を比べると、指導介入が多い積極的支援の方がすべての項目で改善率が高い状況です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |
| 考察 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士と健康運動指導士による、食事・運動の両面からの支援が入ること、対象者に合せて日常生活の中で取り組める内容を一緒に考えていくことができます。</li> <li>・食事指導、運動実践指導、目標立て等、実践に向けた指導内容になっており、参加者自らが目標設定を行うことで意識づけされやすく、また、6か月の支援期間に3回の会場来所としていることから、3か月後に中間評価をしながらタイムリーな支援が受けられます。</li> <li>・グループ支援であることから参加者間の相乗効果としての相互刺激があります。</li> <li>・血液検査データ改善率をさらに向上させるための生活習慣改善及び改善された習慣の定着に向けて、更なる指導スキルの向上を図っていく必要があります。</li> </ul> |

| 検査項目        | 支援区分 | 人数 | 平均値   |       | 改善最高値 | 改善最低値 | 改善者数(人) | 改善者割合  |
|-------------|------|----|-------|-------|-------|-------|---------|--------|
| 体重(kg)      | 積極的  | 5  | -3.40 | -2.57 | -5.7  | -0.9  | 5       | 100.0% |
|             | 動機づけ | 62 | -1.73 |       | -13.0 | 2.8   | 42      | 67.7%  |
| BMI         | 積極的  | 5  | -1.10 | -0.84 | -1.8  | -0.2  | 5       | 100.0% |
|             | 動機づけ | 62 | -0.58 |       | -5.7  | 1.7   | 38      | 61.3%  |
| 腹囲(cm)      | 積極的  | 5  | -3.50 | -2.82 | -7.1  | 1.6   | 4       | 80.0%  |
|             | 動機づけ | 62 | -2.14 |       | -13.7 | 6.0   | 40      | 64.5%  |
| 中性脂肪(mg/dl) | 積極的  | 5  | -5.20 | -5.19 | -91   | 92    | 3       | 60.0%  |
|             | 動機づけ | 62 | -5.18 |       | -278  | 133   | 31      | 50.0%  |

※ 集計の対象者：H27年度特定保健指導修了者の内、H28年度特定健診受診者112名

## ② 訪問方式

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 結果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動機づけ支援では、中性脂肪の改善率が「会場方式」よりも高く6割を超えています。</li> <li>・積極的支援では、体重・腹囲の改善率が40%に満たない状況です。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                              |
| 考察 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士による指導であり、食事指導の内容が充実していると考えられます。</li> <li>・積極的支援では、指導介入頻度が多いにもかかわらず、改善されないケースも多いことから、支援経過を確認し、課題分析、改善策を検討する必要があります。</li> <li>・動機づけ支援では、体重・中性脂肪の改善率は6割以上であることから、食生活の変化による効果とも考えられます。</li> <li>・運動器系等の身体の課題や固定された時間での支援が難しい等様々な状況下にある対象者についても、個々の状況に合わせて個別で支援を受けられるため、改善率としては低いものの、幅広く対象者にアプローチできるメリットがあります。</li> </ul> |

| 検査項目            | 支援区分 | 人数 | 平均値    |       | 改善最高値 | 改善最低値 | 改善者数(人) | 改善者割合 |
|-----------------|------|----|--------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 体重<br>(kg)      | 積極的  | 8  | 0.48   | -0.47 | -1.6  | 2.2   | 3       | 37.5% |
|                 | 動機づけ | 37 | -1.42  |       | -11.3 | 7.8   | 24      | 64.9% |
| BMI             | 積極的  | 8  | 0.20   | -0.14 | -0.5  | 1.1   | 3       | 37.5% |
|                 | 動機づけ | 37 | -0.47  |       | -4.0  | 3.2   | 25      | 67.6% |
| 腹囲<br>(cm)      | 積極的  | 8  | 0.88   | 0.29  | -4.3  | 5.5   | 3       | 37.5% |
|                 | 動機づけ | 37 | -0.31  |       | -14.9 | 12.0  | 15      | 40.5% |
| 中性脂肪<br>(mg/dl) | 積極的  | 8  | 19.75  | 0.74  | -21   | 119   | 4       | 50.0% |
|                 | 動機づけ | 37 | -18.27 |       | -144  | 116   | 23      | 62.2% |

※ 集計の対象者：H27年度特定保健指導修了者の内、H28年度特定健診受診者112名

## (7)尿中塩分量測定状況

特定保健指導(会場方式)では、優先的課題「脳血管疾患・心疾患対策」として、初回及び最終教室の2回において「尿中塩分量測定」「塩分チェックシート」を実施し、中間教室で「結果説明」と「減塩指導」を行っています。

尿中塩分量測定結果によると、摂取塩分量が基準値内の割合は、男性では初回20%、最終教室17.78%と低い結果であり、摂取塩分量平均値については、9～10gで基準値より高い状況でした。

また、初回基準外だった者の最終教室における基準値内だった者の割合は低い状況でしたが、随時尿カリウム濃度平均値は初回よりも最終教室で男女とも増加がみられました。

塩分チェックシートによると、減塩に対する意識は初回よりも最終教室で改善され、食事に関しても明らかな改善がみられました。

このことから、減塩を心がけている意識と実際の塩分摂取量には差があることがわかりました。引き続き、普段の食事の内容や方法を確認し、塩分のとり方と尿中塩分量測定の結果を併せ、わかりやすく行動変容につながる減塩指導の方法を検討し実施していきます。

## 【事業について】

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                           |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 事業概要 | <p>特定保健指導(会場方式)は、初回、中間(3カ月後)、最終(6カ月後)3回の教室でグループ支援をしている。その中で、優先的課題「脳血管疾患・心疾患」の対応として、減塩を目的に開始した事業。</p> <p><b>平成27年度</b>：初回教室で「尿中塩分量測定」「塩分に関するアンケート」を実施し、中間教室で「結果説明」と「減塩指導」を実施。</p> <p><b>平成28年度</b>：初回と最終教室の2回、「測定」「塩分チェックシート」を実施。またアンケートを点数化できるチェックシートに変更した。さらに、6カ月支援終了者対象のフォローアップ教室でも同様に実施し、継続して確認できる場を設定している。</p> |                           |
| 方法   | 初回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 事前に、尿検査キットと塩分チェックシートを郵送。  |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 自宅で起床後採尿。会場で尿とアンケートを回収。   |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 検査は業者委託                   |
|      | 中間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 検査結果の説明及び塩の体への影響：保健師      |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 減塩指導(集団指導)：管理栄養士          |
|      | ※以下、平成28年度～実施拡大分                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                           |
|      | 中間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 尿検査キットと塩分チェックシートを配布。      |
|      | 最終                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 自宅で起床後採尿。会場で尿とチェックシートを回収。 |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 検査は業者委託                   |
|      | 後日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 結果はリーフレットとメッセージを入れて郵送。    |

【 平成28年度特定保健指導(会場方式)参加者の尿中塩分量2回測定結果について 】

| 期間                            | 教室回数 | 性別 | 実施者数<br>(人) | 摂取塩分量<br>最高値<br>(g/日) | 摂取塩分量<br>最低値<br>(g/日) | 摂取塩分量<br>平均値<br>(g/日) | 随時尿K濃度<br>平均値<br>(mEq/L) | 基準内の<br>人数<br>(人) | 基準外の<br>人数<br>(人) | 基準内の<br>割合<br>(%) | <参考>                                    |                          |
|-------------------------------|------|----|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------------------------------|--------------------------|
|                               |      |    |             |                       |                       |                       |                          |                   |                   |                   | 日本人食事<br>摂取基準<br>(2015)<br>改定目標値<br>(g) | H27<br>国民栄養<br>調査<br>(g) |
| 平成28年4月～<br>平成29年3月末<br>2回測定者 | 初回   | 男  | 45          | 15.27                 | 5.17                  | 9.80                  | 44.60                    | 9                 | 36                | 20.00             | 8.0未満                                   | 11.00                    |
|                               |      | 女  | 20          | 13.83                 | 6.98                  | 9.70                  | 42.00                    | 1                 | 19                | 5.00              | 7.0未満                                   | 9.20                     |
|                               |      | 計  | 65          |                       |                       | 9.74                  | 43.79                    | 10                | 55                | 15.38             |                                         |                          |
|                               | 最終   | 男  | 45          | 15.60                 | 5.78                  | 10.20                 | 43.80                    | 8                 | 37                | 17.78             | 8.0未満                                   | 11.00                    |
|                               |      | 女  | 20          | 13.89                 | 6.43                  | 10.10                 | 42.10                    | 1                 | 19                | 5.00              | 7.0未満                                   | 9.20                     |
|                               |      | 計  | 65          |                       |                       | 10.21                 | 43.30                    | 9                 | 56                | 13.85             |                                         |                          |

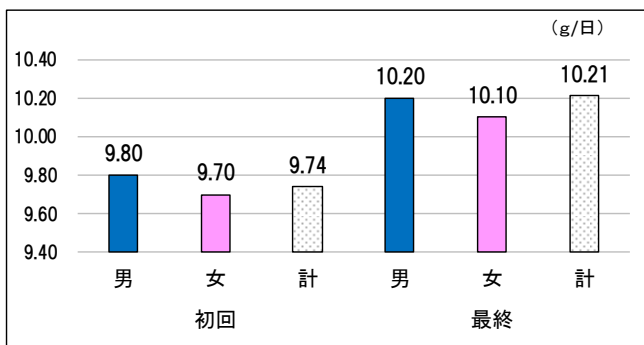
※ 平成29年4月1日現在

【 初回基準外だった者の最終測定状況 】

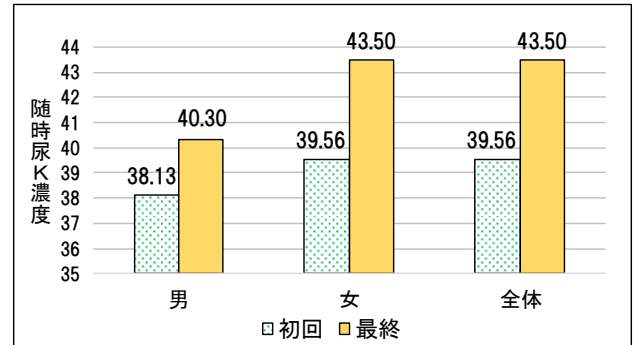
|                               | 教室回数 | 性別 | 初回<br>基準外<br>該当者<br>数<br>(人) | 摂取塩分量<br>最高値<br>(g/日) | 摂取塩分量<br>最低値<br>(g/日) | 摂取塩分量<br>平均値<br>(g/日) | 随時尿K濃度<br>平均値<br>(mEq/L) | 基準内の<br>人数<br>(人) | 基準外の<br>人数<br>(人) | 基準内の<br>割合<br>(%) | 1g以上減少<br>者数<br>(人) | 1g以上減少<br>した者の割合<br>(%) |
|-------------------------------|------|----|------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|-------------------------|
| 平成28年4月～<br>平成29年3月末<br>2回測定者 | 初回   | 男  | 36                           | 15.27                 | 8.37                  | 10.50                 | 38.13                    | 0                 | 36                | 0.00              |                     |                         |
|                               |      | 女  | 19                           | 13.83                 | 7.11                  | 9.83                  | 39.56                    | 0                 | 19                | 0.00              |                     |                         |
|                               |      | 計  | 55                           |                       |                       | 10.17                 | 38.85                    | 0                 | 55                | 0.00              |                     |                         |
| 平成28年4月～<br>平成29年3月末<br>2回測定者 | 最終   | 男  | 36                           | 15.60                 | 6.43                  | 10.75                 | 40.30                    | 4                 | 32                | 11.11             | 11                  | 30.56                   |
|                               |      | 女  | 19                           | 13.30                 | 6.43                  | 9.95                  | 43.50                    | 1                 | 18                | 5.26              | 7                   | 36.84                   |
|                               |      | 計  | 55                           |                       |                       | 10.35                 | 41.90                    | 5                 | 50                | 9.09              | 18                  | 32.73                   |

※ 平成29年4月1日現在

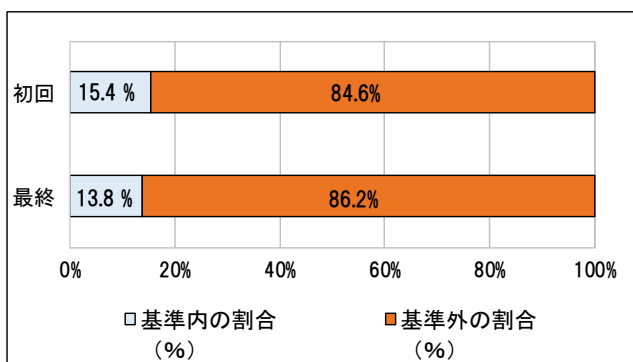
【 摂取塩分量平均比較(測定者全数) 】



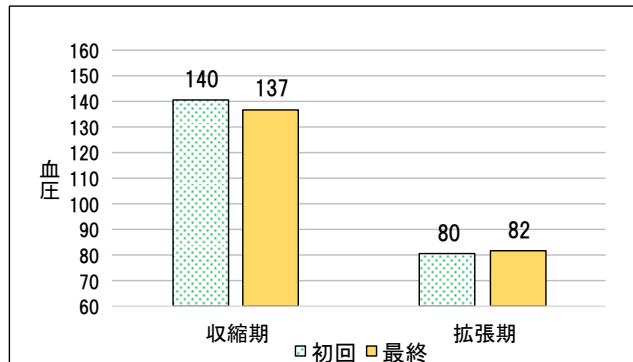
【 初回摂取塩分量が基準外であった者の随時尿K濃度の比較 】



【 (参考) 摂取塩分量の初回・最終教室の結果比較(測定者全数) 】

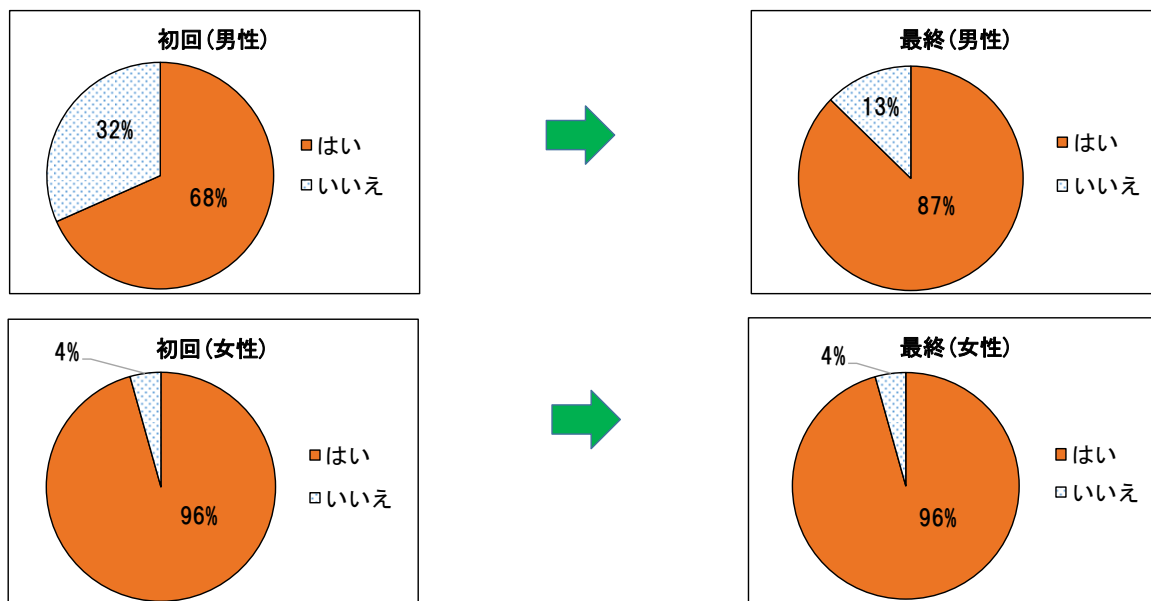


【 (参考) 尿中塩分量2回測定者の血圧による変化 】



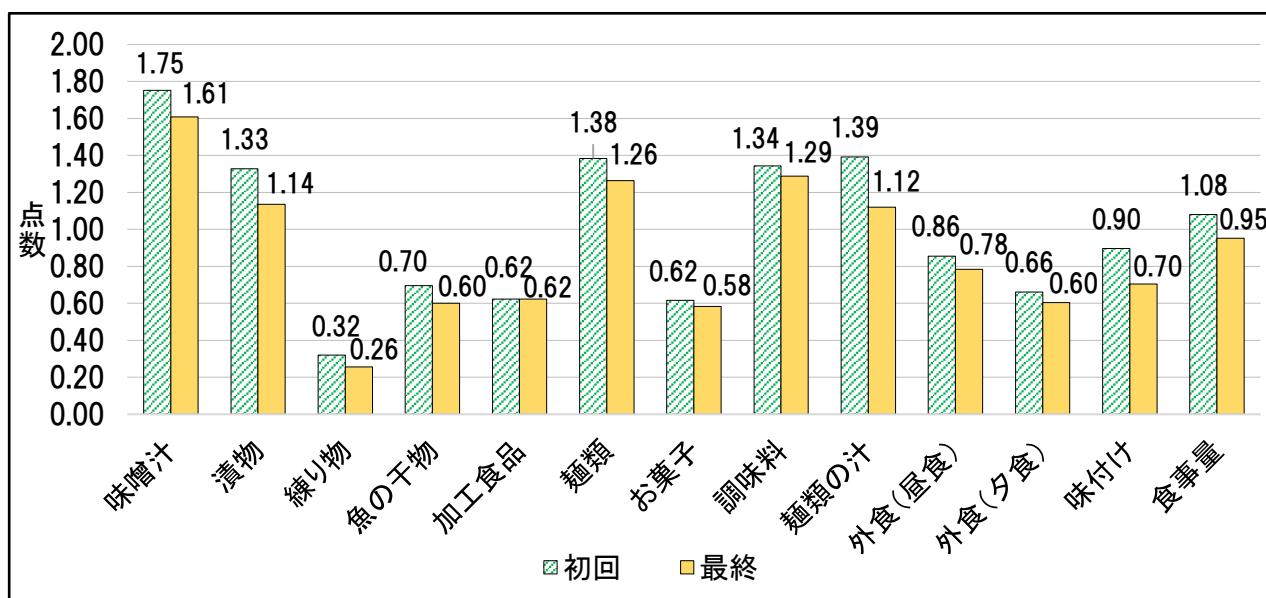
## 【塩分チェックシートからの分析結果】

### ① 会場方式における初回と最終教室における意識の変化(普段の食事で減塩を心がけていますか？)



### ② 会場方式における初回と最終教室における食事の変化

次の13項目に関して、頻度や量について、0点(全くとらない)～3点(多くとる)の点数化により評価したもの。



## 9. その他の保健事業

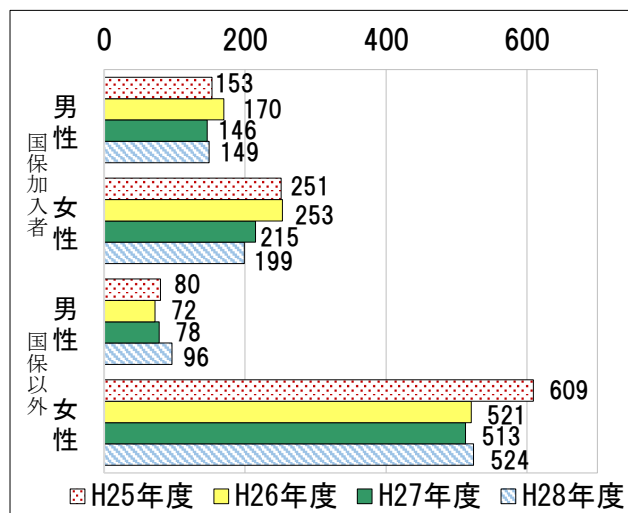
### (1) 若年層の一般健康診査・保健指導実施状況

若年層一般健診は、19から39歳の男女を対象に行っています。若年層一般健診では、男性の受診者数が横ばい、女性の受診者は減少傾向にあります。受診者数を増やす対策として、乳幼児健診の際の保護者への受診勧奨(健康課)や国保30歳代への受診勧奨通知送付(保険年金課)などを行っています。引き続き関係課との連携により、事業の周知と受診勧奨を行うことが重要です。

また、保健指導についても、早い段階での意識づけを行い、重症化を予防するためにも、引き続き勧奨を行っていく必要があります。

【 若年層一般健診受診者数の推移 】

| 加入保険別            | 性別 | H25   | H26   | H27 | H28 |
|------------------|----|-------|-------|-----|-----|
| 国保加入者            | 男性 | 153   | 170   | 146 | 149 |
|                  | 女性 | 251   | 253   | 215 | 199 |
|                  | 計  | 404   | 423   | 361 | 348 |
| 国保非加入者<br>(国保以外) | 男性 | 80    | 72    | 78  | 96  |
|                  | 女性 | 609   | 521   | 513 | 524 |
|                  | 計  | 689   | 593   | 591 | 620 |
| 総計               |    | 1,093 | 1,016 | 952 | 968 |

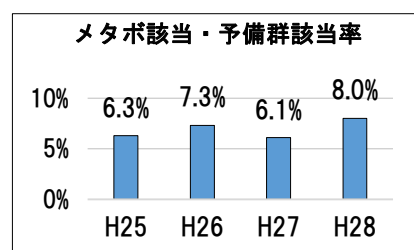


【 若年層一般健康診査の内容 】

|      |                                                                                                                                       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施内容 | <p>実施方法 : 集団健診</p> <p>対象年齢 : 19歳～39歳 男女</p> <p>実施時期 : 4月～12月</p> <p>実施回数 : 男性 69回 女性 87回</p>                                          |
| 検査項目 | <p>問診、身長、体重、腹囲、BMI、血圧測定、診察、<br/>中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、<br/>ASL(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、<br/>空腹時血糖(又は随時血糖)、HbA1c(NGSP 値)、尿糖、尿蛋白</p> |

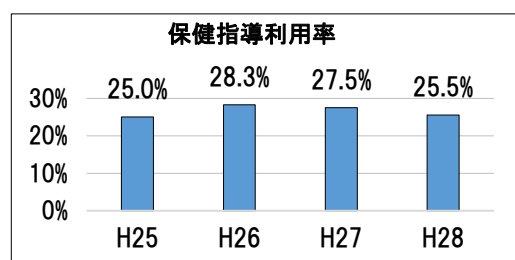
【 若年層一般健康診査メタボ・メタボ予備群該当者数 】

| H28年度 | 非該当・判定不能 | メタボ該当 | メタボ予備群 | 計   |
|-------|----------|-------|--------|-----|
| 男性    | 187      | 12    | 46     | 245 |
| 女性    | 703      | 4     | 16     | 723 |
| 計     | 890      | 16    | 62     | 968 |



【 特定保健指導(動機づけ支援) 】

| H28年度 | 対象者数 | 初回面接利用者数 | 利用率   |
|-------|------|----------|-------|
| 男性    | 43   | 11       | 25.6% |
| 女性    | 8    | 2        | 25.0% |
| 計     | 51   | 13       | 25.5% |



※ 実施方法(国保のみ実施) : 会場方式8人、訪問方式5人、直営0人

## (2) 歯科健診受診者の年次推移及び有所見率

日光市における多発疾病上位6疾患の第2位に「歯肉炎及び歯周疾患」が入っています。

国民健康保険加入者の歯科健診受診者数は徐々に増加しており、受診者の約42%にむし歯があり、また、約58%に歯周病が見られています。

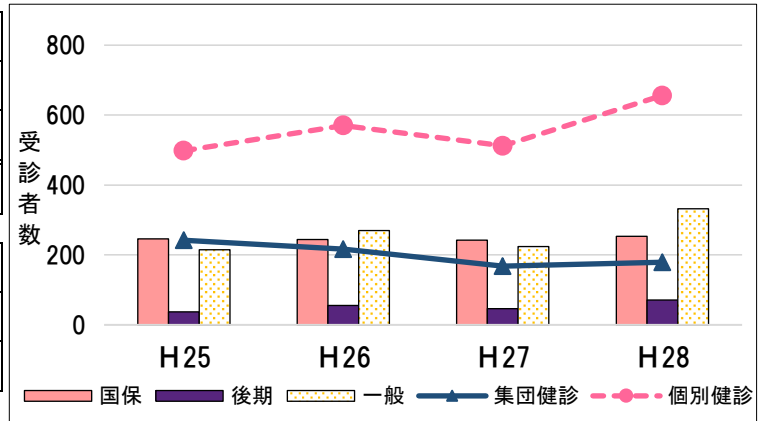
日光市は歯や口腔の健康とかかわりの深い糖尿病や虚血性心疾患などの生活習慣病の受診件数が高いことから、歯科健診受診者数の増加を目指すと共に、口腔と生活習慣病との関係なども含めて周知啓発を引き続き行う必要があります。

### 【 形態別・加入保険別歯科健診受診者の推移 】

| 年度     |      | H25 | H26 | H27 | H28 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|
| 健診種別   | 集団健診 | 242 | 217 | 168 | 179 |
|        | 個別健診 | 498 | 570 | 512 | 656 |
| 合計受診者数 |      | 740 | 787 | 680 | 835 |

|                    |    |     |     |     |     |
|--------------------|----|-----|-----|-----|-----|
| 個別健診<br>加入保険<br>内訳 | 国保 | 246 | 244 | 242 | 253 |
|                    | 後期 | 37  | 56  | 46  | 71  |
|                    | 一般 | 215 | 270 | 224 | 332 |



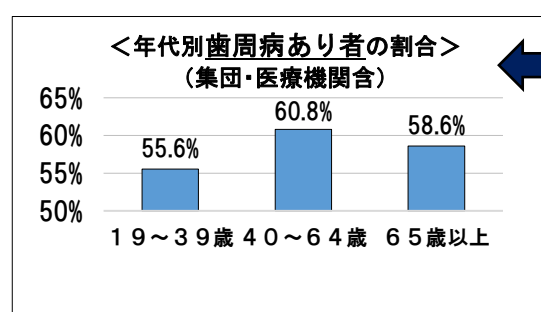
### 【 平成28年度歯科健診年代別受診結果 】

| 年代     | 人口(人)<br>(H28.4.1現在)<br>※人口統計表より | 受診者数<br>(合計) | 受診者数<br>(医療機関) | 受診者数<br>(集団) | 受診率  | 未処置歯<br>あり者数<br>(医療機関) | 未処置歯<br>あり者数<br>(集団) | むし歯が<br>ある割合 | 歯周病あり<br>者数<br>(医療機関) | 歯周病あり<br>者数<br>(集団) | 歯周病に<br>かかっ<br>ている人の<br>割合 |
|--------|----------------------------------|--------------|----------------|--------------|------|------------------------|----------------------|--------------|-----------------------|---------------------|----------------------------|
| 19～39歳 | 17,062                           | 225          | 187            | 38           | 1.3% | 94                     | 13                   | 47.6%        | 111                   | 14                  | 55.6%                      |
| 40～64歳 | 29,124                           | 291          | 223            | 68           | 1.0% | 84                     | 27                   | 38.1%        | 155                   | 22                  | 60.8%                      |
| 65歳以上  | 27,517                           | 319          | 246            | 73           | 1.2% | 102                    | 32                   | 42.0%        | 146                   | 41                  | 58.6%                      |
| 合計     | 73,703                           | 835          | 656            | 179          | 1.1% | 280                    | 72                   | 42.2%        | 412                   | 77                  | 58.6%                      |

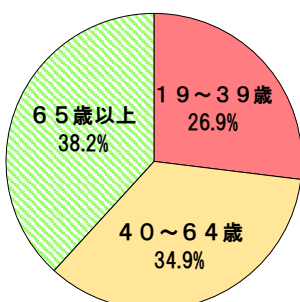
### 【 (参考) 平成28年度重点受診勧奨者の受診率 】

|     | 対象者数  | 受診者数 | 受診率   |
|-----|-------|------|-------|
| 65歳 | 1,382 | 52   | 3.8%  |
| 妊婦  | 226   | 73   | 32.3% |

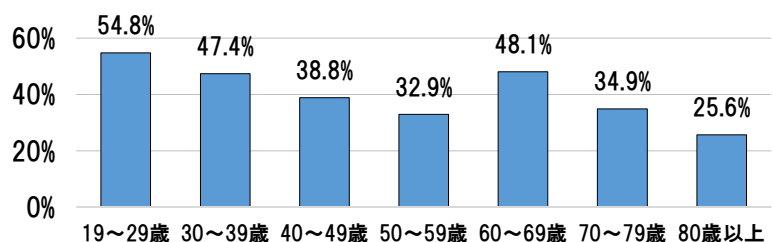
<健康課:平成28年度 日光市保健事業実績報告書より>



### (参考) <世代別受診割合>



### (参考) <年代別未処置歯あり者の割合> (医療機関健診のみの集計)



### (3) 脳ドック・人間ドック受診状況

脳ドックは平成25年度と比較し、平成28年度では受診者数が減っていますが、人間ドック、脳ドックのどちらかを補助対象としており、人間ドックを優先する方が多く、数年に1度のペースで受ける方がいる状況です。

国民健康保険加入者の医療費に占める割合や、要支援・要介護認定者の主たる疾病分類において脳梗塞と高血圧性疾患が多いことから、脳ドックの受診状況・精密検査該当者の追跡及び人間ドック受診者の有所見率について分析しました。

脳ドック受診者については、女性が男性より多く、年齢別では60～70歳代が多く受診しています。要精密検査者については、高血圧症、脳梗塞で治療している方が約30%を占めていました。

また、市内人間ドックの受診者は、年々増加しています。市内人間ドック受診者の血圧要精検・要医療及び治療中の割合は、平成28年度35.1%となっています。

#### 【 脳ドック年代別受診状況 】

| 年代   | 性別 | 平成 28 年度 |       |        | 平成 25 年度 |       |      |
|------|----|----------|-------|--------|----------|-------|------|
|      |    | 受診者数     | 要精検者数 | 要精検率   | 受診者数     | 要精検者数 | 要精検率 |
| 30 代 | 男  | 1        | 0     | 0%     | 1        | 0     | 0%   |
|      | 女  | 5        | 0     | 0%     | 2        | 0     | 0%   |
| 40 代 | 男  | 6        | 0     | 0%     | 3        | 0     | 0%   |
|      | 女  | 13       | 1     | 7.7%   | 11       | 0     | 0%   |
| 50 代 | 男  | 12       | 1     | 8.3%   | 23       | 2     | 9%   |
|      | 女  | 24       | 1     | 4.2%   | 50       | 6     | 12%  |
| 60 代 | 男  | 92       | 3     | 3.3%   | 130      | 7     | 5%   |
|      | 女  | 149      | 7     | 4.7%   | 189      | 9     | 5%   |
| 70 代 | 男  | 105      | 7     | 6.7%   | 128      | 7     | 6%   |
|      | 女  | 149      | 4     | 2.7%   | 155      | 12    | 8%   |
| 80 代 | 男  | 22       | 2     | 9.1%   | 40       | 0     | 0%   |
|      | 女  | 41       | 1     | 2.4%   | 50       | 2     | 4%   |
| 90 代 | 男  | 2        | 0     | 0%     | 1        | 0     | 0%   |
|      | 女  | 1        | 1     | 100.0% | 0        | 0     | 0%   |
| 計    | 男  | 240      | 13    | 5.4%   | 326      | 16    | 5%   |
|      | 女  | 382      | 15    | 3.9%   | 457      | 29    | 6%   |

#### 【 平成28年度脳ドック精検者追跡(国保被保険者分) 】

|           |   |
|-----------|---|
| 高血圧治療中    | 5 |
| 脳梗塞       | 3 |
| 心疾患       | 1 |
| その他 経過観察中 | 8 |

【 人間ドック有所見状況 】

|      |      | 平成 28 年度 |     |     |       | 平成 27 年度 |    |     |       |
|------|------|----------|-----|-----|-------|----------|----|-----|-------|
|      |      | 国保       | 後期  | 合計  | 割合    | 国保       | 後期 | 合計  | 割合    |
| 総受診者 |      | 512      | 101 | 613 | －     | 498      | 77 | 575 | －     |
| 血圧   | 要精検者 | 15       | 2   | 17  | 2.8%  | 22       | 3  | 25  | 4.3%  |
|      | 要医療者 | 8        | 2   | 10  | 1.6%  | 11       | 0  | 11  | 1.9%  |
|      | 治療中  | 138      | 50  | 188 | 30.7% | 151      | 31 | 182 | 31.7% |
|      | 計    | 161      | 54  | 215 | 35.1% | 184      | 34 | 218 | 37.9% |
| 糖代謝  | 要精検者 | 46       | 7   | 53  | 8.6%  | 18       | 2  | 20  | 3.5%  |
|      | 要医療者 | 1        | 1   | 2   | 0.3%  | 1        | 1  | 2   | 0.3%  |
|      | 治療中  | 43       | 8   | 51  | 8.3%  | 54       | 4  | 58  | 10.1% |
|      | 計    | 90       | 16  | 106 | 17.3% | 73       | 7  | 80  | 13.9  |

#### (4)健康づくり推進事業

生活習慣病予防のための健康教育として、公民館ごとに地域の特性や地区の要望などを  
取入れ健康教室を実施しています。

栄養・運動・男性の食育の健康教室を行い、国民健康被保険者は47.6%、後期高齢者  
が17.5%の参加がありました。これらの教室への参加は健康マイレージ事業と連携してお  
り、個々の健康づくりから地域の健康づくりを推進する事業として実施しています。

##### ①栄養・食生活に関する講座(9講座)

※参加率…延参加者数÷(回数×定員)

|                               | 公民館 | 講座名                 | 対象 | 定員    | 回数 | 参加率   | 延べ<br>参加人数 | 参加者数(全日程欠席者除く) |       |       |     | うち<br>男性 |
|-------------------------------|-----|---------------------|----|-------|----|-------|------------|----------------|-------|-------|-----|----------|
|                               |     |                     |    |       |    |       |            | 国保             | 社保    | 後期    | 計   |          |
| 1                             | 豊岡  | 栄養調理教室              | 男女 | 20    | 6  | 90.0% | 108        | 11             | 1     | 9     | 21  | 1        |
| 2                             | 大沢  | ヘルシークッキング講座         | 男女 | 24    | 6  | 88.2% | 127        | 16             | 7     | 1     | 24  | 1        |
| 3                             | 小林  | 生活習慣病予防のための栄養・調理教室  | 男女 | 15    | 5  | 76.0% | 57         | 10             | 2     | 3     | 15  | 0        |
| 4                             | 小来川 | 地元食材を活用した健康栄養調理教室   | 男女 | 20    | 10 | 80.5% | 161        | 8              | 3     | 10    | 21  | 0        |
| 5                             | 足尾  | 生活習慣病予防の健康栄養調理教室    | 男女 | 15    | 5  | 52.0% | 39         | 2              | 1     | 6     | 9   | 2        |
| 6                             | 藤原  | 生活習慣病予防のための栄養料理教室   | 男女 | 15    | 6  | 57.8% | 52         | 7              | 2     | 5     | 14  | 0        |
| 7                             | 三依  | 生活習慣病予防のための栄養料理教室   | 男女 | 10    | 8  | 66.3% | 53         | 0              | 0     | 7     | 7   | 0        |
| 8                             | 栗山  | 地元食材を利用したメタボ予防料理教室  | 男女 | 15    | 3  | 80.0% | 36         | 10             | 12    | 2     | 24  | 5        |
| 9                             | 湯西川 | 地元食材を利用したメタボ予防料理教室※ | 男女 | 10    | 2  | 60.0% | 12         | 5              | 3     | 0     | 8   | 0        |
| 計                             |     |                     |    | 144   | 51 | 72.3% | 645        | 69             | 31    | 43    | 143 | 9        |
| ※1回目は日向・湯西川合同開催のため3回のところ2回で記載 |     |                     |    | 平均参加率 |    |       | 12.6人/回    | 48.3%          | 21.7% | 30.1% |     | 6.3%     |

##### ②身体・運動に関する講座(17講座)

|    |        |                     |           |       |     |        |         |       |       |       |     |      |
|----|--------|---------------------|-----------|-------|-----|--------|---------|-------|-------|-------|-----|------|
| 1  | 今市     | らくらく健康ヨガ教室          | 男女(主に高齢者) | 60    | 20  | 62.6%  | 751     | 42    | 14    | 15    | 71  | 5    |
| 2  | 落合     | バレトン教室              | 男女        | 20    | 10  | 54.0%  | 108     | 8     | 11    | 0     | 19  | 0    |
| 3  | 豊岡     | 骨盤ダイエット&ストレッチ       | 男女        | 25    | 10  | 58.8%  | 147     | 7     | 24    | 2     | 33  | 1    |
| 4  | 豊岡     | いきいき教室健康体操(高齢者教室)   | 男女(主に高齢者) | 30    | 2   | 45.0%  | 27      | 10    | 0     | 8     | 18  | 3    |
| 5  | 大沢     | ピラティス講座             | 男女        | 20    | 8   | 55.6%  | 89      | 11    | 8     | 0     | 19  | 0    |
| 6  | 小林     | チョクシン<br>轟身体操教室     | 男女        | 15    | 10  | 34.0%  | 51      | 5     | 1     | 1     | 7   | 1    |
| 7  | 小林     | 健康ヨガ教室              | 男女        | 15    | 5   | 66.7%  | 50      | 7     | 5     | 2     | 14  | 1    |
| 8  | 日光     | ラテン骨盤エクササイズ         | 男女        | 30    | 5   | 71.3%  | 107     | 13    | 17    | 0     | 30  | 0    |
| 9  | 日光     | 代謝UPエクササイズ講座        | 男女        | 30    | 4   | 45.0%  | 54      | 11    | 11    | 0     | 22  | 0    |
| 10 | 清滝     | 健康リラックスヨガ教室         | 男女        | 20    | 5   | 81.0%  | 81      | 10    | 9     | 1     | 20  | 0    |
| 11 | 清滝     | 代謝UPヨガ教室            | 男女        | 20    | 5   | 60.0%  | 60      | 11    | 6     | 0     | 17  | 0    |
| 12 | 足尾     | 健康体操教室              | 男女        | 20    | 8   | 40.0%  | 64      | 5     | 1     | 12    | 18  | 1    |
| 13 | 三依     | 岩盤浴ヨガ教室             | 男女        | 11    | 6   | 87.9%  | 58      | 9     | 13    | 0     | 22  | 7    |
| 14 | 三依     | 生き生きヨガ教室            | 男女        | 8     | 6   | 35.4%  | 17      | 3     | 2     | 0     | 5   | 3    |
| 15 | 栗山(日向) | かんたん・健康エクササイズ教室     | 男女        | 20    | 5   | 70.0%  | 70      | 8     | 10    | 1     | 19  | 0    |
| 16 | 栗山(日向) | 岩盤ヨガ教室              | 男女        | 11    | 6   | 106.1% | 70      | 8     | 7     | 1     | 16  | 0    |
| 17 | 湯西川    | ヘルシービクス&スローエアロビクス教室 | 男女        | 10    | 6   | 98.3%  | 59      | 3     | 13    | 0     | 16  | 1    |
| 計  |        |                     |           | 365   | 121 | 63.0%  | 1,863   | 171   | 152   | 43    | 366 | 23   |
|    |        |                     |           | 平均参加率 |     |        | 15.4人/回 | 46.7% | 41.5% | 11.7% |     | 6.3% |

##### ③男性の食育や料理教室に関すること(1講座)

|   |    |            |    |       |   |       |       |       |      |       |    |        |
|---|----|------------|----|-------|---|-------|-------|-------|------|-------|----|--------|
| 1 | 大沢 | 男の健康栄養料理講座 | 男性 | 24    | 6 | 59.0% | 85    | 11    | 1    | 6     | 18 | 18     |
|   |    |            |    | 平均参加率 |   |       | 14人/回 | 61.1% | 5.6% | 33.3% |    | 100.0% |

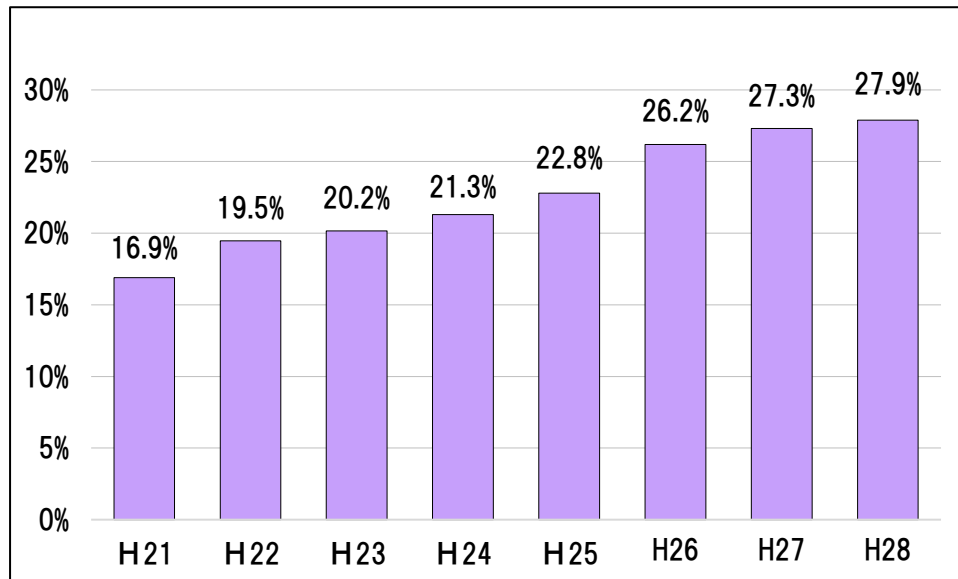
| 合計（①～③） |  |  |  | 回数    | 参加率   | 延べ<br>参加人数 | 参加者数（全日程欠席者除く） |       |       |     | うち<br>男性 |
|---------|--|--|--|-------|-------|------------|----------------|-------|-------|-----|----------|
|         |  |  |  |       |       |            | 国保             | 社保    | 後期    | 計   |          |
|         |  |  |  | 178   | 66.0% | 2,593      | 251            | 184   | 92    | 527 | 50       |
|         |  |  |  | 平均参加率 |       | 14.6人/回    | 47.6%          | 34.9% | 17.5% |     | 9.5%     |

## (5) 後期高齢者(はつらつ)健診受診状況

後期高齢者(はつらつ)健診は、後期高齢者の人口が年々増加し対象者数も増える中、受診者も増加しています。しかし、栃木県後期高齢者医療広域連合が運営方針の中で示している受診率目標値の30%にはまだ届かない状況です。

何らかの疾患で通院していることにより、健診を受診しないことも、受診率が伸びない背景の一つと考えられます。治療中の方には、かかりつけ医へ相談し、健診のメリット等を説明し受診してもらえよう勧奨していく必要があります。

### 【平成28年度はつらつ健診受診率の推移】



(人)

|      |     | H21    | H22    | H23    | H24    | H25    | H26    | H27    | H28    |
|------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 対象者数 |     | 12,847 | 13,078 | 12,591 | 12,645 | 12,840 | 12,875 | 12,892 | 12,990 |
| 受診者数 | 集団  | 2,015  | 2,048  | 2,046  | 2,100  | 2,368  | 2,488  | 2,579  | 2,756  |
|      | 個別  | 155    | 497    | 492    | 526    | 470    | 514    | 586    | 543    |
|      | 計   | 2,170  | 2,545  | 2,538  | 2,626  | 2,838  | 3,002  | 3,165  | 3,299  |
| 受診率  | 目標  |        |        |        |        | 30.0%  | 30.0%  | 30.0%  | 30.0%  |
|      | 受診率 | 16.9%  | 19.5%  | 20.5%  | 21.3%  | 22.8%  | 26.2%  | 27.3%  | 27.9%  |
|      | 伸び率 |        | 2.6%   | 1.0%   | 0.8%   | 1.5%   | 3.4%   | 1.1%   | 0.6%   |

## 10. 分析のまとめ

### 【 データからの分析 】

|     | 項目                             | 現状                                                                                                                                                                                                                                                | 課題                                                                                                                                                                                                            | 対策                                                                                                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 統計  | 人口動態<br>死亡率                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、人口の減少傾向が著明。</li> <li>・被保険者数が減少する中で高齢化が進んでいる。</li> <li>・心疾患による死因割合が県より高く、特に女性の死亡割合が高い。</li> </ul>                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地域間での人口構成、高齢化等に大きな格差がある。</li> <li>・死亡の高い疾患は「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」である。</li> <li>・特に、心疾患、脳血管疾患が高い。</li> </ul>                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率の向上。</li> <li>・「高血圧」「脂質異常」など生活習慣病に対する正しい知識の周知。</li> <li>・生活習慣改善のための機会の提供。</li> <li>・重症化予防。</li> <li>・地域特性に応じた施策の展開。</li> </ul>                           |
| 医療費 | 1人当たり医療費<br>医療費の割合<br>(国民健康保険) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関受診率は年々上昇しているが県平均を下回り、被保険者1人当たりの診療費とレセプト1件当たりの診療費は県平均を上回っている。</li> <li>・平成27年度の1人当たり医療費は県内で上位である。</li> <li>・高血圧性疾患、虚血性心疾患等の生活習慣病が医療費に占める割合が高い。</li> <li>・多発疾患では、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎、3位糖尿病となっている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・状態が悪化してから医療機関に受診している傾向がある。</li> <li>・医療費の費用額割合が1番多いのは、「高血圧性疾患」ついで「虚血性心疾患」である。</li> <li>・「高血圧性疾患」は、国保・後期高齢者ともに1番受診件数が多い。</li> <li>・「糖尿病」も国保、後期高齢者共に受診割合が高い。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率向上。</li> <li>・特定保健指導実施率向上。</li> <li>・受診件数の多い「高血圧性疾患」対策の継続。</li> <li>・「糖尿病」発症予防・重症化予防。</li> <li>・「う蝕(むし歯)」の受診割合が多いことから、歯科健診受診率向上、口腔衛生に関する意識啓発。</li> </ul> |
|     | 慢性腎不全<br>(国民健康保険)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病合併症が増加している。</li> <li>・慢性腎不全治療者は糖尿病・高血圧の基礎疾患有病割合が高い。</li> <li>・人工透析は50歳代が多い。</li> </ul>                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「慢性腎不全」罹患者は男性に多く、50歳代からの発症が増える。</li> <li>・基礎疾患は「糖尿病」が多く、「高血圧」で治療中者は92%となっている。</li> </ul>                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「慢性腎不全」予防対策としての「糖尿病」発症予防、重症化予防。</li> <li>・「糖尿病性腎症」も含めた糖尿病重症化予防施策としての医療機関・関係機関との連携。</li> </ul>                                                                 |

|            |           |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                       |
|------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 後期高齢者、介護保険 | 後期高齢者     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者1人当たりの医療費が県内で一番高い。</li> <li>・高齢化率や75歳以上の人口割合は県内で2番目に高い。</li> <li>・腎不全による人工透析が増えている</li> </ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者1人当たりの医療費が県内で1番高いことから、適切な時期に治療を受けていないことが推測される。</li> <li>・健診未受診者の多くは、通院中である。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の意識や生活背景等の状況に応じた健康づくりの、健康管理への対応。</li> <li>・健診受診率の向上。</li> <li>・早期(若年層)からの健康管理意識啓発と健診の定着。</li> </ul>                        |
|            | 介護給付費の推移等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日光市では、「生活習慣病」が要介護の原因として大きな比率を占めている。</li> <li>・要介護状態となる原因疾病は脳梗塞と高血圧性疾患の比率が高い。</li> <li>・疾病分類統計によると、40～64歳の第2号被保険者では「脳血管疾患」が42.9%を占めている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護状態となる原因疾患は、循環器疾患で、特に脳梗塞、高血圧性疾患が大きな比率を占めている。</li> <li>・40～64歳の第2号被保険者では「脳血管疾患」によるものが原因疾患の約半数を占めている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・はつらつ健診受診率の向上。</li> <li>・介護予防の観点から、生活習慣病発症予防のための生活習慣改善と早期治療による重症化予防。</li> <li>・介護予防の観点から「生きがいづくりの推進」「元気なうちからの介護予防」。</li> </ul> |

【 各種健診等からの分析 】

|       | 項目                                        | 現状                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 課題                                                                                                                                                                                                   | 対策                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康診査等 | 特定健診の状況                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の受診率は年々増加しているが、4割程度である。</li> <li>・受診が継続しない不規則受診者が2割程度いる。</li> <li>・リスクが高いことが判明しても治療に繋がらない者がいる。</li> <li>・有所見率では、HbA1cは年々増加している。</li> <li>・通院中の方の受診率が上がらない。</li> <li>・受診勧奨においては、対象者の特性に応じた勧奨資材の活用等が有効である。</li> <li>・人間ドックの受診者数が増加している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の受診率は年々増加しているが目標値には届かない。</li> <li>・特定健診受診率は、男性の40～50歳代が低い。</li> <li>・3年間健診未受診者が約5割と多く、不規則に受診している方が約2割いる。</li> <li>・HbA1cの有所見率は平成26年度から上昇している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年代に合わせた受診勧奨：若年層及び働き盛りの年代への勧奨及び健康意識の向上。前期高齢者への受診勧奨。</li> <li>・特定健診受診率向上によるリスクの把握。</li> <li>・職域との連携、通院者への対策として、医療機関及び事業所との連携・協力体制の構築。</li> <li>・マイレージ事業の推進。</li> <li>・地域の特性に応じた勧奨が引き続き必要である。</li> <li>・対象者の特性に応じた受診勧奨として、効果的な資材を用いた受診勧奨の実施。</li> </ul> |
|       | 若年層健診<br>脳ドック<br>歯科健診<br>後期高齢者（はつらつ）健康診査等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層の男性受診者が少ない。</li> <li>・歯科健診の受診率は低い。未処置歯や歯周病がある者が多い。</li> <li>・脳ドック受診者は男性より女性の方が多い。</li> <li>・要精検者は平成25年と比べ半数以下に減っている。</li> <li>・脳ドック受診者は、年々減少傾向にあり、要精検者も減っている。</li> <li>・年々、後期高齢者人口の増加により対象者数は増える中、受診率も増加しているが、目標値に達していない。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年国保加入者の健診受診率が低い。</li> <li>・幅広い対象者に歯科健診を行っているが、全体の受診率は低い。</li> </ul>                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診受診率の向上。</li> <li>・歯科健診受診率の向上。</li> <li>・「高血圧性疾患」「糖尿病」に対する正しい知識の周知。</li> <li>・口腔と生活習慣病との関係を含めた周知。</li> <li>・国保加入者と同様、通院者への対策として医療機関及び事業所との連携・協力体制の構築。</li> </ul>                                                                                    |

【 保健指導からの分析 】

|        | 項目        | 現状                                                                                                                                                                                                                                           | 課題                                                                                                                                                                                                                | 対策                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特定保健指導 | 特定保健指導の状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導の該当率は男性が高い。</li> <li>・特定健診の新規受診者には特定保健指導の該当者が多い。</li> <li>・男性は年齢とともに服薬中に移行する者が多い。</li> <li>・40代から50代前半の利用率が低い。</li> <li>・特定保健指導の参加者は不参加者より改善率が高い。</li> <li>・内臓脂肪症候群非該当者の割合は増加傾向にある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・40～50歳代の利用率が低く、健診同様働き盛りの年齢層について検討が必要である。</li> <li>・特定保健指導に参加しやすい環境づくりや周知方法・内容の見直し、検討が必要。</li> <li>・保健指導については、積極的・動機づけ支援対象者のみでなく、重症化予防及び情報提供者に対して対策をとることも重要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層一般健診、特定健診の受診率向上。</li> <li>・特に、若年層や働き盛りの男性に対する健診受診率の向上、及び健康意識向上のための普及啓発。</li> <li>・若年層と40～50歳代への生活習慣指導、特定保健指導による発症予防。</li> <li>・特定保健指導の内容の充実。</li> <li>・未参加者対策。</li> </ul> |

## 11. 現状の保健事業

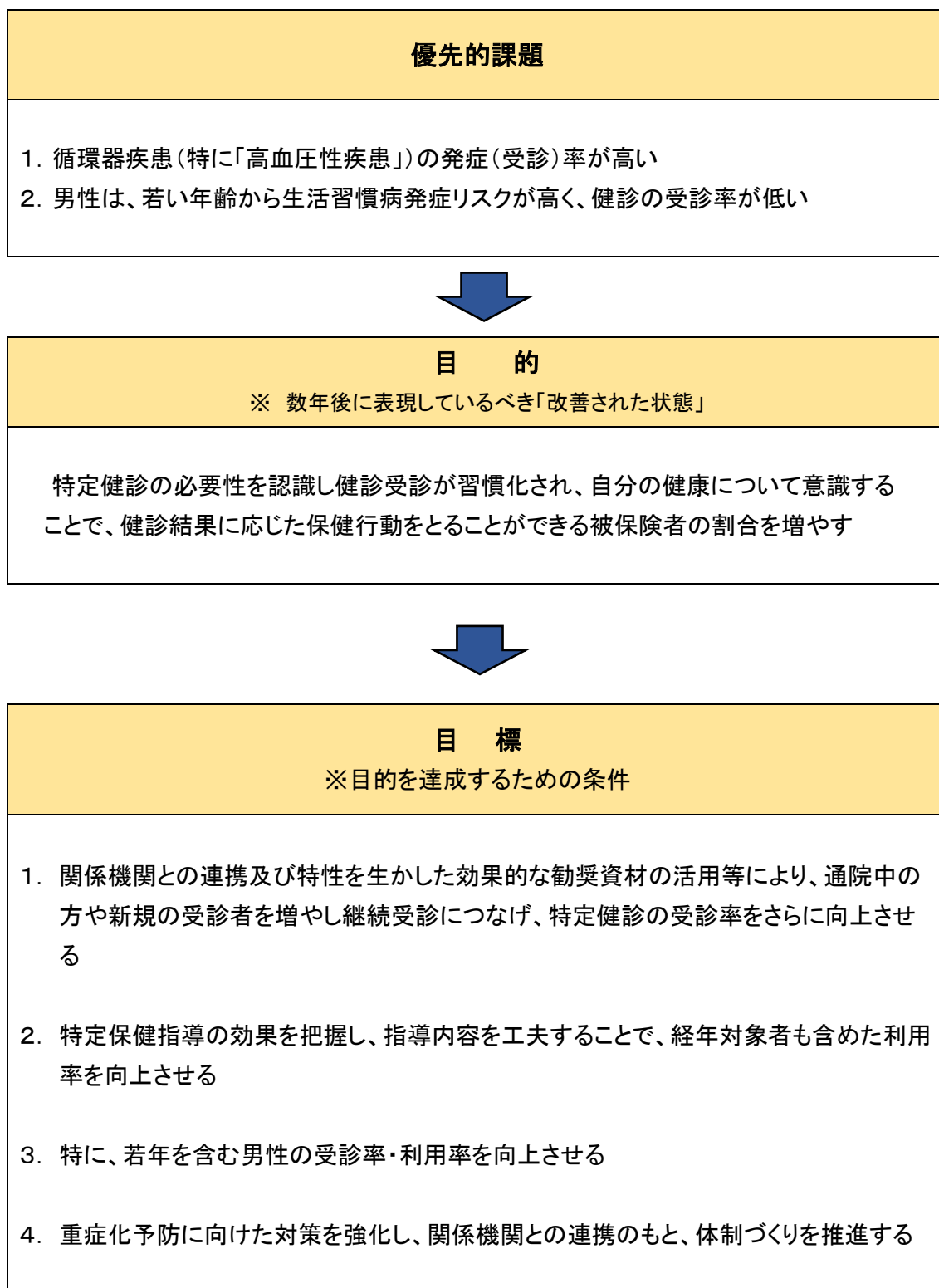
| 目的                                | 事業名              | 概要                                                                                                             | 実施内容                                                                                                                                  | 実 績                                                                                                                                                                                                    | 評 価                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康の保持増進、<br>疾病の発症予防、<br>早期発見・早期治療 | 特定健康診査事業         | 40歳から74歳までの人を対象とし特定健康診査を実施する。                                                                                  | ・集団健診 4～1月（がん検診も同時受診可）<br>・個別健診 6～3月 医療機関（市内32か所）<br>① 受診勧奨通知：9月、10月<br>② 乳幼児相談等での保護者への勧奨<br>③ 医療機関との連携による受診勧奨<br>④ 健康教室、イベント等での勧奨等実施 | 特定健診受診率<br>平成26年度 42.4 %<br>平成27年度 43.3 %<br>平成28年度 44.8 %                                                                                                                                             | 第2期特定健康診査等実施計画においては、平成29年度目標値を60.0%としているが、データヘルス計画時、目標値と現状とでは差があることから目標値を設定し、達成に向けた事業を行ってきた。<br>・男女ともに受診率は増加しているが、50歳代の男性受診率が低い。                                                                            |
|                                   | 若年層健康診査事業        | 19歳～39歳の男女（加入保険を問わず）実施。                                                                                        | ・集団健診 4～1月（がん検診も同時受診可）<br>① 乳幼児相談等での保護者への勧奨<br>② 健康教室、イベント等での勧奨等実施                                                                    | 一般健康診査受診者数（19歳～39歳男性国保）<br>平成26年度 170人<br>平成27年度 146人<br>平成28年度 149人                                                                                                                                   | 受診機会の拡大として、夜間健診など若年層も受診できるようになったが、H28は男性は微増、女性は減少となっている。就労による加入・喪失の変動などある。引き続きの勧奨は必要である。                                                                                                                    |
|                                   | 人間ドック・脳ドック事業     | 被保険者35歳以上で保険税を完納している者を対象とする。同年度内に特定健診等重複しての受診がないこと。                                                            | ① 市内（指定医療機関）における健診<br>② 市外（指定医療機関）における健診（人間ドックのみ）                                                                                     | 受診者数<br>平成26年度 628人<br>平成27年度 709人<br>平成28年度 732人                                                                                                                                                      | 人間ドック受診者は年々増加している。平成26年度から市外でのドックについて助成していることから、受診者は増加している。                                                                                                                                                 |
|                                   | 成人歯科健診事業         | 19歳以上の市民、自己負担金なし。                                                                                              | ① 集団健診 年間5回 健康課<br>② 医療機関方式 6月1日～3月31日 日光市内42歯科医院                                                                                     | 受診者数 国保<br>平成26年度 570人（244人）<br>平成27年度 512人（242人）<br>平成28年度 656人（253人）                                                                                                                                 | 関係機関との連携により、各事業での勧奨を行っていることもあり、年々増加している。しかし国保対象者は横ばいである。                                                                                                                                                    |
|                                   | 骨粗しょう症検診（対象年齢拡大） | 事前に希望する健診日の申し込み・受付をし、集団健診において、上腕部のX線検査または、かかとに超音波をあてて、骨密度を測定する。                                                | 対象：H25～27：20～70歳の5歳刻みの年齢<br>H28～：20～85歳の5歳刻みの年齢<br>実施回数：集団健診会場84回                                                                     | 受診者数<br>H25年度 1,068人<br>H26年度 935人<br>H27年度 887人<br>H28年度 1,138人<br>（内75・80・85歳：290人）                                                                                                                  | ・対象年齢を拡大することで75歳以上の年齢で290人の受診者があり、自身の状態把握につながったと考えられる。<br>・骨粗しょう症予防のためには、若い年齢から検診を受診し、適切な生活習慣を身につけることが重要であるため、引き続き20～70歳の受診も積極的に勧める必要がある。                                                                   |
|                                   | 胃がんハイリスク（ABC）検診  | 胃がんの早期発見、予防のため、市内医療機関で、血液検査にて血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体及び血清ペプシノゲンの値を測定する検診を実施。                                           | 対象：40～70歳のうち5歳刻みの者<br>実施方法：個別健診<br>実施期間：6～11月<br>実施場所：市内医療機関（26か所）                                                                    | 受診者数<br>平成26年度 712人<br>平成27年度 755人<br>平成28年度 554人                                                                                                                                                      | ・血液検査により胃の状態を知ること、受検者のがん予防に寄与することができた。また胃がんハイリスク検診後のアンケートでは、定期的な胃がん検診（内視鏡検査）の希望者が増えていることから、胃がん検診への意識づけとして効果があつたと考えられる。<br>・平成30年度に検診実施から5年を経過し、40歳以上の者については一度個別勧奨を行っていると考えられるため、平成31年度以降の対象者について検討を行う必要がある。 |
|                                   | がん検診精密検査受診勧奨     | がん検診精検未受診者を抽出し、勧奨者リストを作成する。<br>未受診者に対し、1次勧奨（勧奨通知書を郵送）を行い、その後も未受診の者に対し2次勧奨（電話にて状況確認）を実施し、受診状況の把握と未受診者への受診勧奨をする。 | 対象者：前年度12月～当該年度11月までに市が実施する集団健診において、要精密検査となったものの検診受診から4か月経過しても未受診の者（結果連絡票が返却されていない者）                                                  | 【H25】※64歳以下<br>要精検者数：491人<br>精検受診者数：345人（70.3%）<br>【H26】※64歳以下<br>要精検者数：392人<br>精検受診者数：277人（70.7%）<br>【H27】※64歳以下<br>要精検者数：389人<br>精検受診者数：285人（73.3%）<br>【H28】<br>要精検者数：1,441人<br>精検受診者数：1,232人（85.5%） | ・未受診者に対し、通知のみでなく電話による勧奨を行うことにより、精検受診率の向上につながっている。<br>・精検受診率がさらに向上するよう、未受診者の状況把握に努め、勧奨を徹底していく必要がある。                                                                                                          |

| 目的                                  | 事業名                               | 概要                                                                                 | 実施内容                                                                                                                                                   | 実 績                                                                                                                             | 評 価                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタボリックシンドロームの予防・改善、生活習慣病の発症予防・重症化予防 | 特定保健指導事業                          | ・40歳～74歳までの人を対象とし特定保健指導を実施する。<br>・会場(集団)方式:グループ支援 ・訪問(個別)方式:個別支援                   | ・業者委託<br>① 会場(集団)方式:運動の実践及び管理栄養士による指導、個別面接による目標設定<br>② 訪問(個別)方式:管理栄養士対応                                                                                | 特定保健指導利用率<br>平成26年度 46.7 %<br>平成27年度 48.1 %<br>平成28年度 46.5 %                                                                    | 利用率及び継続利用者は評価指標に届かなかった。継続利用については、H26,H27指導内容等検討しながら実施しており増加につながったと思われる。未終了者について検討していく必要がある。                                                                                                                   |
|                                     | 若年層保健指導事業                         | ・若年層保健指導(19歳～39歳国保のみ)動機づけ支援と同じ内容で実施<br>・会場(集団)方式:グループ支援 ・訪問(個別)方式:個別支援             | ・業者委託<br>① 会場(集団)方式:運動の実践及び管理栄養士による指導、個別面接による目標設定<br>② 訪問(個別)方式:管理栄養士対応                                                                                | 特定保健指導利用率<br>平成26年度 28.3 %<br>平成27年度 27.5 %<br>平成28年度 25.5 %                                                                    | メタボ予備群共に男性が多い状況。健康不安が少ない年齢層ともいえる。引き続きの勧奨及び委託業者との内容の検討していく必要がある。                                                                                                                                               |
|                                     | 尿中塩分量測定事業                         | 特定保健指導参加者(会場方式):初回及び最終回に実施                                                         | 特定保健指導会場方式参加者に実施。容器を事前に送付し、教室当日回収。検査委託業者に依頼。<br>随時尿を利用した尿中塩分濃度測定<br>尿中ナトリウム・カリウム・クレアチニン量からの計算式で算出                                                      | 実施者数<br>H27 188人、H28 349人<br>男 8.0g未満 17.7%<br>女 7.0g未満 6.8%<br>男女 13.3%<br>1回目と2回目の測定で1g減った割合 男<br>30.56% 女36.84%<br>男女 32.73% | H28においては、約86%の人が基準値より多い塩分量を摂取している。教室等での聞き取りでは、食事内容により検査値は変わるが、自分の振り返りの場となり、減塩に対する意識付けになっている。                                                                                                                  |
|                                     | 健診結果説明会                           | 説明会の対象とする検査値を設定し、保健師・栄養士が生活習慣改善のための指導をする。                                          | 対象:19～74歳(特定保健指導対象者を除く)でBMI、血圧、LDL、TG、HbA1cの数値が市の設定した基準値を超えた方<br>内容:結果の説明、問診票を活用した生活習慣の振り返り、受診・治療の必要性に関する説明、健康づくり推進員による減塩の推進<br>説明方法:説明会々場での面接、窓口での面接等 | 健診結果説明会実績<br>平成25年度 1,855人<br>平成26年度 1,960人<br>平成27年度 1,810人<br>平成28年度 1,693人                                                   | ・生活習慣問診票を使用することにより、対象者の生活リズムや食生活、運動習慣、受診状況等を確認し、今後の取り組みについて対象者と一緒に考え、行動変容を促している。<br>・毎年説明会の対象となる受診者がいるため、効果的な保健指導の方法について今後も検討していく必要がある。                                                                       |
|                                     | 糖尿病及び糖尿病性腎症重症化予防                  | 国及び県の「糖尿病(性腎症)重症化予防プログラム」に基づき、段階別の健診結果データから郵送による情報提供、健診結果説明会、家庭訪問、特定保健指導等による対応を行う。 | 対象者:19～74歳(特定保健指導対象者を除く)でBMI、血圧、LDL、TG、HbA1cの数値が市の設定した基準値を超えた方<br>＜重症化予防家庭訪問対象者＞:HbA1c、空腹時血糖、尿蛋白、e-GFRの数値が市の設定した基準値を超えた方<br>対応方法:家庭訪問、窓口での面接等          | H25～28<br>説明会:263回、7,318人<br><br>H28 重症化予防対応:65人                                                                                | ・H28年度までは市の基準で対応していたが、H29年度からは国及び県の「糖尿病(性腎症)重症化予防プログラム」基準に基づいて事業全体を見直し、関係課との連携体制の再確認を行った。そのことで、明確な根拠に基づく対応方針の統一が図れた。<br>・健診結果説明会や家庭訪問等による対応の効果検証を行う必要がある。                                                     |
|                                     | 健康づくり応援教室(H29年度より、「糖尿病予防教室」に名称変更) | 糖尿病の発症予防・重症化予防のために糖尿病のメカニズム、予防法、バランスのよい食事について学び、自分の食事の振り返りをする。                     | 対象:19～74歳のうちHbA1c5.6%以上の方(特定保健指導対象者を除く)<br>内容:健康・栄養講話、ナトリウム比計による塩分摂取量チェック、ヘルシーバランス食試食、行動目標の設定<br>時期:7～11月まで計5回                                         | 教室の開催数:36回<br>参加者累計:451人<br>平成25年度:13回、107人<br>平成26年度:12回、146人<br>平成27年度:5回、99人<br>平成28年度:6回、99人                                | ・教室参加者の行動変容を促し、大部分の方の次年度のHbA1cの数値の改善を図れたものの、一方で年々参加者数が減少傾向にあり、勧奨方法の検討が必要である。                                                                                                                                  |
|                                     | 病態別栄養指導                           | 面接、訪問で個別に病態別栄養相談を実施。                                                               | 対象者:<br>・医療機関から指導依頼があった方<br><br>方法:相談日を予約したうえで、市の管理栄養士による相談・支援を行う。                                                                                     | H25年度 23人<br>H26年度 36人<br>H27年度 11人<br>H28年度 21人                                                                                | ・栄養相談を実施することにより、意識改革・行動変容を促し、数値の改善を図れた。<br>・対応する管理栄養士数が足りないため、栄養士のいない医療機関へ栄養相談の普及啓発ができない。                                                                                                                     |
| 健康に関する知識の普及                         | 家庭訪問等個別保健指導事業                     | ① 受診勧奨判定値以上者(ハイリスク)<br>② 重症化ハイリスク未受診者<br>③ 糖尿病性腎症重症化予防                             | 家庭訪問、面接、電話<br>保険年金課保健師                                                                                                                                 | 訪問 面接 電話<br>H26年度 89人<br>H27年度 56人 10人 63人<br>H28年度 21人 8人 150人                                                                 | 重症化ハイリスク者には早期受診を勧奨することで治療の必要性について理解した行動がとれるように引き続き実施していく必要がある。                                                                                                                                                |
|                                     | 健康づくり推進員事業                        | ・毎年健康づくり推進員(食生活改善推進員兼務)を養成しており、地域の健康づくり普及啓発を9支部に分かれ、健康教室、イベント等で実施している。             | 【地区(9支部)別事業】<br>・健康・栄養教室<br>・食育教室<br>・高齢者のお弁当づくり<br>【全体研修会】<br>【全体事業】<br>・各種イベント<br>・健康づくり大学校<br>・健診結果説明会                                              | ・健康・栄養教室(運動実践・調理実習等)<br>H25～H28累計実績<br>72回 1,098人<br><br>・健康関連イベントでの健康づくり普及活動(減塩みそ汁配布等)<br>H25～H28累計実績<br>6回 2,950人             | ・生活習慣病予防のための普及啓発ができ、9支部に分かれ健康教室を実施することで、地域の方が参加しやすい。また、イベントなどには、健康教室に参加しない方(青壮年期)も多く来場するため、良い普及啓発の場となる。<br>・健康づくり推進員の養成に関しては人員の確保における課題がある。また、推進員のレベル向上においては、高齢化等もあり、育成の困難さがある。さらに、普及啓発での効果を図りにくいことが課題となっている。 |
|                                     | 生活習慣病予防事業                         | 公民館と連携し、地域住民の要望を考慮しながら各地域に応じた講座、教室、講演等を行う。                                         | 生活習慣を改善する機会の提供<br>① 栄養・食生活に関すること<br>② 身体活動・運動に関すること<br>③ 男性の食育や料理教室に関すること                                                                              | 受講者実人数(国保該当者)<br>平成26年度 508人(237人)参加率 65.3%<br>平成27年度 478人(225人)参加率 64.8%<br>平成28年度 527人(251人)参加率 66%                           | 公民館と連携しながら地域にあった生活習慣病予防のための教室を展開している。定着している。                                                                                                                                                                  |

## 第4章 目的・目標の設定及び評価指標

### 1. 目的・目標の設定

目的・目標設定の根拠となる課題の詳細は、第3章「10. 分析のまとめ」に記載してあります。



## 2. データヘルス計画の参考指標

第2期特定健康診査等実施計画においては、特定健康診査等基本指針で示された参酌標準に基づき、最終年度の平成35年度である目標値を60.0%としたうえで、各年度の目標値を設定しました。

しかし、目標値と現状とでは差があることから、データヘルス計画では、現状の分析や課題の整理を行った上で、第2期データヘルス計画同様、平成29年度の実績見込みに各年度特定健診1.5%、特定保健指導1.0%の増加を見込んだ参考指標を設定し、達成に向けた対策を盛り込んでいます。

| 区 分      |                                | 特定健康診査等実施計画    |       |       |        |       |        |       |
|----------|--------------------------------|----------------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
|          |                                | 第2期計画          | 第3期計画 |       |        |       |        |       |
|          |                                | H29            | H30   | H31   | H32    | H33   | H34    | H35   |
| ① 特定健診   | 第3期特定健診等実施計画の目標受診率 ※年度内受診者     | 60.0%          | 49.0% | 51.0% | 53.00% | 55.0% | 57.00% | 60.0% |
|          | データヘルス計画の参考指標 (H29見込み+毎年度1.5%) | H29見込<br>46.3% | 47.8% | 49.3% | 50.8%  | 52.3% | 53.8%  | 55.3% |
| ② 特定保健指導 | 第3期特定健診等実施計画の目標実施率 ※初回面接者      | 60.0%          | 49.5% | 51.5% | 53.5%  | 55.5% | 57.5%  | 60.0% |
|          | データヘルス計画の参考指標 (H29見込み+毎年度1.0%) | H29見込<br>48.0% | 49.0% | 50.0% | 51.0%  | 52.0% | 53.0%  | 54.0% |

### ＜参考：計画上の数値と法定報告値の違い＞

日光市の「特定健康診査等実施計画」では、特定健康診査の受診率は年度内に受診した人数、特定保健指導の実施率は年度内に初回面接をした人数により算出しています。

一方、国においては、全国的な比較を行うために同じ条件で対象者を設定して数値を算出しています。具体的には、特定健康診査では年間を通じて被保険者であった者、特定保健指導では最後まで終了した者が対象となります。

「法定報告値」はこの基準より算出していますので、「特定健康診査等実施計画」の数値とは異なっています。

| 区 分         | 法定報告値 |       |       |       |       |       |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|             | H20   | H24   | H25   | H26   | H27   | H28   |
| ①特定健康診査 受診率 | 28.6% | 35.4% | 38.1% | 39.6% | 40.1% | 41.3% |
| ②特定保健指導 実施率 | 5.6%  | 37.5% | 39.4% | 42.4% | 44.3% | 45.1% |

### 3. データヘルス計画の評価指標

データヘルス計画では参考指標の裏付けとして具体的な評価指標を設定しています。

#### (1) アウトプット評価

実施量を立案した計画の実施率や開催回数で評価します。

| No. | 項 目                                   | データ<br>掲載<br>ページ | 評価指標                     |              |      |       |                          |              | データ<br>収集方法                        |
|-----|---------------------------------------|------------------|--------------------------|--------------|------|-------|--------------------------|--------------|------------------------------------|
|     |                                       |                  | 現状値                      |              | 短期   |       | 中長期                      |              |                                    |
|     |                                       |                  |                          |              | 評価時期 | 評価指標  | 評価時期                     | 評価指標         |                                    |
| 1   | 特定健診受診率の増加                            | 26               | H29年度<br>見込              | 46.3%        | 毎年度  | 1.5%増 | H35年度                    | 55.3%        | 決算値(国庫負担<br>金実績報告値＋市<br>外ドック・結果提供) |
| 2   | 男性の受診率の増加                             | 27               | 平成28年度                   | 37.2%        | 毎年度  | 1.5%増 | H35年度                    | 47.7%        | 法定報告値                              |
| 3   | 新規受診者の増加<br>※過去3年間未受診で<br>当年度受診した人の割合 | 27               | H27受診<br>(H24～26<br>未受診) | 2.8%         | 毎年度  | 0.2%増 | H35受診<br>(H32～34<br>未受診) | 4.4%         | 国保連提供デー<br>タベース                    |
| 4   | 継続受診者の増加<br>※3年間継続受診した人の割合            | 27               | H25～H27<br>継続受診          | 27.8%        | 毎年度  | 1.5%増 | H33～H35<br>継続受診          | 39.8%        | 国保連提供デー<br>タベース                    |
| 5   | 特定保健指導利用率の増加                          | 33               | H29年度<br>見込              | 48.0%        | 毎年度  | 1.0%増 | H35年度                    | 54.0%        | 決算値(年度内<br>全修了者＋初回<br>面接のみ)        |
| 6   | 継続利用者の増加<br>(2年連続参加率)                 | 36               | H27年度                    | 63.2%        | 毎年度  | 0.5%増 | H35年度                    | 67.2%        | 国保連提供デー<br>タベース                    |
| 7   | 若年層19歳～39歳(男性)の<br>一般健康診査受診者増か        | 45               | H28年度                    | 149人<br>(国保) | 毎年度  | 20人増  | H35年度                    | 289人<br>(国保) | 健康課からデー<br>タ提供                     |
| 8   | 若年層の保健指導(動機づけ<br>支援)利用率の増加            | 45               | H28年度                    | 25.5%        | 毎年度  | 0.5%増 | H35年度                    | 29.0%        | 決算値                                |

#### (2) アウトカム評価

事業を実施したことによる成果を目標の達成度で評価します。成果が出るまでには、中長期的追跡が必要です。

| 期<br>間                | No. | 項 目                             | データ<br>掲載<br>ページ | 評価指標   |       |      |       |       |       | データ<br>収集方法    |
|-----------------------|-----|---------------------------------|------------------|--------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
|                       |     |                                 |                  | 現状値    | 短期    |      | 中長期   |       |       |                |
|                       |     |                                 |                  |        | 評価時期  | 評価指標 | 評価時期  | 評価指標  |       |                |
| 短<br>期<br>・<br>中<br>期 |     | 特定健診結果有所見率の低下                   |                  |        |       |      |       |       |       |                |
|                       | 1   | (男性)中性脂肪の有所見率                   | 29               | H28年度  | 23.5% | 毎年度  | 0.5%減 | H35年度 | 20.0% | 特定健診等データ管理システム |
|                       | 2   | (男性)HbA1cの有所見率                  | 29               | H28年度  | 58.9% | 毎年度  | 0.5%減 | H35年度 | 55.4% |                |
|                       | 3   | (女性)HbA1cの有所見率                  | 29               | H28年度  | 59.6% | 毎年度  | 0.5%減 | H35年度 | 56.1% |                |
|                       |     | 特定保健指導減少率                       |                  |        |       |      |       |       |       |                |
|                       | 4   | ①昨年度の特定保健指導対象者のうち、対象ではなくなった者の割合 | 35               | 平成28年度 | 23.0% | 毎年度  | 現状維持  | H35年度 | 23.0% | 法定報告値          |
|                       | 5   | ②特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率         | 35               | 平成28年度 | 26.1% | 毎年度  | 0.5%増 | H35年度 | 29.6% |                |

| 期間 | No. | 項 目                                          | データ<br>掲載<br>ページ | 評価指標  |       |      |       |       |       | データ<br>収集方法      |
|----|-----|----------------------------------------------|------------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------------------|
|    |     |                                              |                  | 現状値   |       | 短期   |       | 中長期   |       |                  |
|    |     |                                              |                  |       |       | 評価時期 | 評価指標  | 評価時期  | 評価指標  |                  |
| 長期 | 1   | 脳血管疾患による死因割合の減少<br>(H35年度の評価指標はH28年度県平均値を計上) | 4                | H28年度 | 0.1%  | 毎年度  | 現状把握  | H35年度 | 0.1%  | KDBシステム          |
|    | 2   | 生活習慣病保有者割合の減少<br>(H35年度の評価指標はH28年度県平均値を計上)   | 19               | H28年度 | 39.7% | 毎年度  | 現状把握  |       | 37.9% | KDBシステム          |
|    | 3   | メタボ該当者及び予備群該当者割合の減少                          | 35               |       |       |      |       |       |       | 法定報告値<br>KDBシステム |
|    |     | ①メタボ該当者割合の減少                                 |                  | H28年度 | 16.0% | 毎年度  | 0.1%減 |       | 15.3% |                  |
|    | 4   | ②メタボ予備群該当者割合の減少                              |                  | H28年度 | 10.8% | 毎年度  | 0.1%減 |       | 10.1% |                  |

### (3) プロセス評価

目的達成に向けた実施過程や活動状況を評価します。

| No. | 項 目                                 | 内 容                                                                              |
|-----|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 受診率・実施率・受診者数・参加者数等を向上させるための工夫点等の再確認 | ・目標を達成するために、毎年、左記視点での見直し・評価を実施<br>・その結果に基づいて実施方法等を修正し、毎年度作成する「保健事業個別実施計画書」に反映させる |
| 2   | 関係機関・関係課との連携体制の構築                   |                                                                                  |
| 3   | 特定健診未受診者・特定保健指導不参加者の行動変容に至る働きかけの有無等 |                                                                                  |

### (4) ストラクチャー評価

事業を実施するための仕組みや体制が整っているかを評価します。

| No. | 項 目                             | 内 容                                                                              |
|-----|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 医師会、歯科医師会、薬剤師会への協力依頼と連携による事業の実施 | ・目標を達成するために、毎年、左記視点での見直し・評価を実施<br>・その結果に基づいて実施方法等を修正し、毎年度作成する「保健事業個別実施計画書」に反映させる |
| 2   | 行政内関係各課との連携による事業の効率的・効果的組立てと実施  |                                                                                  |
| 3   | 市内各関係事業所、関連組織等への働きかけによる事業の協働実施等 |                                                                                  |

## 第5章 保健事業の実施内容

### 1. 「優先的課題」に対する疾患毎の対応策(保健事業)

●＝個別事業計画書に記載、○＝実施主体

| 優先順位 | 疾患名                                                                 | 優先順位の根拠                                                               | 状態(段階)別対策               | 保健事業内容<br>(成人対象)               | 関係課   |     |             |              |
|------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------|--------------------------------|-------|-----|-------------|--------------|
|      |                                                                     |                                                                       |                         |                                | 保険年金課 | 健康課 | 援(地域包括センター) | 高齢福祉課<br>公民館 |
| 1    | 心疾患<br>脳血管疾患<br><br><優先疾患><br>①「高血圧」<br>②「脂質異常症」<br>③「糖尿病」<br>予防の促進 | ・医療費割合↑<br>・高額医療費<br>・多発(多受診)疾病<br>・複数疾患併発↑<br>・死亡率↑<br>・要介護認定原因疾患割合↑ | 発症前の予備群                 | ・特定健診、後期高齢者健診、若年層一般健診          | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | (未受診対策)                        | ●     | 連携  | 連携          | 連携           |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・人間ドック                         | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・脳ドック                          | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・特定保健指導                        | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・生活習慣病予防教室                     | ●     | 連携  |             | ●            |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・健診結果説明会<br><市設定の基準値以上>        |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・糖尿病予防教室                       |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・にっこう健康マイレージ事業                 | 連携    | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・健康づくり推進員事業                    |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       | 早期治療                    | ・健診結果説明会<br><市設定の基準値以上>        |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・特定保健指導                        | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・家庭訪問                          | ●     | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       | 重症化予防                   | ・糖尿病重症化予防事業(プログラム)             | ●     | 連携  |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・家庭訪問<br>(重症化ハイリスク・受診勧奨判定値以上者) | ●     | 連携  |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・病態別栄養指導(医療機関から依頼時)            |       | ○   |             |              |
| 2    | 慢性腎不全<br><br><優先疾患><br>「糖尿病」<br>を基礎疾患とするもの                          | ・高額医療費<br>・多発(多受診)疾病<br>・複数疾患併発↑                                      | 発症前の予備群                 | ・特定健診、後期高齢者健診、若年層一般健診          | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | (未受診対策)                        | ●     | 連携  | 連携          | 連携           |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・人間ドック                         | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・特定保健指導                        | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・生活習慣病予防教室                     | ●     | 連携  |             | ●            |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・健診結果説明会<br><市設定の基準値以上>        |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・糖尿病予防教室                       |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・にっこう健康マイレージ事業                 | 連携    | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・健康づくり推進員事業                    | 連携    | ○   |             | 連携           |
|      |                                                                     |                                                                       | 早期治療                    | ・健診結果説明会<br><市設定の基準値以上>        |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・特定保健指導                        | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・家庭訪問                          | ●     | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       | 重症化予防                   | ・糖尿病重症化予防事業(プログラム)             | ●     | 連携  |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・家庭訪問<br>(重症化ハイリスク・受診勧奨判定値以上者) | ●     | 連携  |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・病態別栄養指導(医療機関から依頼時)            |       | ○   |             |              |
| 3    | が ん                                                                 | ・高額医療費<br>・複数疾患併発↑<br>・死亡率↑                                           | 早期発見<br>早期治療            | ・がん検診                          |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | (未受診対策)                        | 連携    | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・人間ドック                         | ●     |     |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・にっこう健康マイレージ事業                 | 連携    | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・精密検査未受診勧奨の徹底                  | ○     | ○   |             |              |
| 4    | 歯及び<br>口腔疾患                                                         | ・多発(多受診)疾病                                                            | 早期発見<br>早期治療<br>生活習慣病予防 | ・歯科健診(受診率向上対策)                 | ●     | ○   | 連携          |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・健康教室                          |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・にっこう健康マイレージ事業                 | 連携    | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・介護予防教室                        |       | ○   | ○           |              |
| 5    | 骨粗しょう症                                                              | ・多発(多受診)疾病<br>・要介護認定原因疾患割合↑                                           | 発症前の予備群<br>早期発見         | ・骨粗しょう症検診                      | 連携    | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・健康教室                          |       | ○   |             |              |
|      |                                                                     |                                                                       |                         | ・介護予防事業                        |       | ○   | ○           |              |
|      |                                                                     |                                                                       | 重症化予防                   | ・介護保険(予防給付)                    |       |     | ○           |              |

## 2. 保健事業の概要 ①

| 事業<br>区分                   | 事業名<br>(網掛けは重点事業)        | 根拠法令等<br>(主)国民健康保険法                 | 対象年齢           |      |      |      |
|----------------------------|--------------------------|-------------------------------------|----------------|------|------|------|
|                            |                          |                                     | 19歳～           | 35歳～ | 40歳～ | 75歳～ |
| 成人健康<br>診査等                | 特定健康診査事業                 | (国)高齢者の医療の確保に関する法律                  |                |      | 国保   |      |
|                            | はつらつ健診<br>(後期高齢者健康診査)    | (国)高齢者の医療の確保に関する法律                  |                |      |      | 後期   |
|                            | 若年層健康診査事業                | (市)日光市国民健康保険条例<br>(保健事業:その他)        | 国保             |      |      |      |
|                            | 人間ドック・脳ドック助成事業           | (市)日光市国民健康保険及び後期高齢者医療制度人間ドック等事業実施要綱 | 国保以外           |      |      |      |
|                            | 成人歯科検診事業                 | (市)日光市歯科検診事業実施要綱                    | 国保             |      |      | 後期   |
| 特定保健<br>指導等                | 特定保健指導事業                 | (国)高齢者の医療の確保に関する法律                  |                |      | 国保   |      |
|                            | 若年層保健指導事業                | (市)日光市国民健康保険条例<br>(保健事業:その他)        | 国保             |      |      |      |
| 化糖<br>予尿<br>防病<br>事業<br>重症 | 糖尿病重症化予防事業               | (市)日光市国民健康保険条例<br>(保健事業:その他)        | 国保             |      |      |      |
| 健康<br>づくり<br>事業<br>推進      | 公民館共催事業                  | (市)日光市国民健康保険条例<br>(保健事業:その他)        | 国保以外           |      |      | 後期   |
|                            | 健康づくり意識啓発<br>(フェスティバル等)  | 〃                                   | 国保             |      |      | 後期   |
| 訪問<br>指導<br>事業             | 未受診勧奨                    | (市)日光市国民健康保険条例<br>(保健事業:その他)        |                |      | 国保   |      |
|                            | 特定保健指導<br>未利用者対策         | 〃                                   | 国保             |      |      |      |
|                            | 医療費適正化<br>(重複・頻回受診、療養費等) | 〃                                   | 国保             |      |      |      |
|                            | 重症化ハイリスク<br>未受診者保健指導     | 〃                                   | 国保(若年層保健指導対象者) |      | 国保   |      |
|                            | 受診勧奨判定値以上者<br>への保健指導     | 〃                                   |                |      | 国保   |      |
| 勸<br>奨<br>事業               | 特定健診<br>未申込者勧奨           | (市)日光市国民健康保険条例<br>(保健事業:その他)        |                |      | 国保   |      |
|                            | 人間ドック(がん検診)<br>精検者受診確認   | 〃                                   |                | 国保   |      | 後期   |

### 3. 保健事業の概要②(平成30～35年度)

各事業の年度毎実施内容の詳細は、毎年作成する保健事業「個別事業計画書」に記載します。

| 事業区分      | 事業名                       | 第3期実施計画 | 個別計画 | 事業の目的及び概要                                                                                             |
|-----------|---------------------------|---------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 成人健康診査等   | 特定健康診査事業                  | ○       | ○    | メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握およびリスク者のスクリーニングを主に集団健診・個別健診で実施。各種取組みで受診率向上を図る。                                |
|           | はつらつ健診<br>(後期高齢者健康診査)     |         | ○    | 栃木県後期高齢者医療広域連合から受託して後期高齢者の健診を実施。集団健診では、各種がん検診を同時実施することで利便性向上を図っている。各種取組みで受診率向上を図る。                    |
|           | 若年層<br>健康診査事業             | ○       | ○    | 医療費分析の結果、高額医療費の掛かる疾患の発症は40代から年齢が上がる毎に増加傾向にあった。そこで、若年層からの健康管理意識の向上を図るため平成22年度から健診事業を実施。                |
|           | 人間ドック・脳ドック<br>助成事業        |         | ○    | 国民健康保険及び後期高齢者医療制度被保険者の疾病の早期発見・早期治療に役立て、被保険者の健康増進と受診率向上を図るために実施。人間ドック結果から特定保健指導対象者を抽出。                 |
|           | 成人歯科検診事業                  |         | ○    | 歯科疾患の早期発見・早期治療に結びつけ、適切な保健指導により口腔機能の保持・増進と歯科保健に関する市民の意識向上を図る。                                          |
| 特定保健指導等   | 特定保健指導事業                  | ○       | ○    | メタボリックシンドロームの減少を目的に保健指導を実施。特に男性の該当率が高いため男性も参加しやすい環境を提供するため、個別訪問方式に加えて会場方式で運動メニューを導入し、栄養面と併せた内容で実施。    |
|           | 若年層<br>保健指導事業             |         | ○    | 若年層への健診事業は実施していたが、早期からの生活習慣病予防のための生活習慣改善の機会提供が必要と判断し、平成25年度から若年者にも対象を拡大して事業を実施。                       |
| 糖尿病重症化    | 糖尿病重症化予防事業                | ○       | ○    | 糖尿病の重症や医療機関の受診状況に応じて、適切な情報提供、受診勧奨や保健指導を行うことにより、生活習慣の改善や医療機関での治療に結びつけ、糖尿病発症や重症化、人工透析への移行を防止することを目的に実施。 |
| 健康づくり推進事業 | 公民館共催事業                   |         | ○    | 日頃の生活習慣改善のためには、きっかけとなる機会の提供も必要なため、各地区公民館との連携により地域の実情に応じた生活習慣病予防事業(講座・教室・講演)を共催で実施。                    |
|           | 健康づくり意識啓発<br>(フェスティバル等)   |         |      | 健康づくりの意識啓発の場として地域のイベントに参加。健康課とも連携のもとで一体的に事業を実施。                                                       |
| 訪問指導事業    | 未受診勧奨                     | ○       | ○    | 特定健診受診率向上を目指し、未受診者への受診勧奨を家庭訪問を通じて実施。                                                                  |
|           | 特定保健指導<br>未利用者対策          | ○       | ○    | 特定健診の結果、特定保健指導の対象となっていながら参加のない方に対して、家庭訪問により生活習慣改善のための特定保健指導利用を働きかける。状況に応じて直接保健指導を行う。                  |
|           | 医療費適正化<br>(重複・頻回受診、療養費等)  |         | ○    | 重複・頻回受診者及び被長期施術者に対して保健師が家庭訪問を行い、状況を確認のうえで療養方法についての保健指導や柔道整復師への正しいかかり方等についてアドバイスを行い、医療費の適正化を図る。        |
|           | 重症化ハイリスク<br>未受診者保健指導      | ○       | ○    | 特定健診の結果、重症化ハイリスクに該当するデータであった方に対して、家庭訪問により現状を確認したうえで、状況に応じて医療機関への受診勧奨を行うことで、適切な治療につなげる。                |
|           | 受診勧奨判定値<br>以上者への保健指導      | ○       | ○    | 特定健診の結果、受診勧奨判定値に該当しながら治療していない方に対して家庭訪問により現状確認を行い、状況に応じて医療機関への受診勧奨を行う。                                 |
| 勧奨        | 特定健診<br>未申込者勧奨            |         | ○    | 特定健診の受診率向上を目指し、未申込者への受診勧奨通知発送後に電話勧奨することで、受診の動機付けを行う。                                                  |
|           | 人間ドック(がん検診等)<br>精検対象者受診確認 |         | ○    | 集団健診のがん検診で精密検査になった場合には、医療機関から精検結果通知が市に返送されるシステムになっている。人間ドックの場合にはシステム化されていないため、個別に追跡確認を実施。             |

## 第6章 個人情報の保護

### 1. 特定健診・特定保健指導の記録データの保存方法

特定健診のデータは、特定健診の委託先から代行機関である栃木県国民健康保険団体連合会への送付、もしくは市がデータ化することにより、保存します。

特定保健指導の結果は、市が電子データ化し、代行機関である栃木県国民健康保険団体連合会に送付をすることで保存します。

### 2. 健康記録情報の保存年限

健康記録情報の保存年限は5年とし、保存年限が経過した場合は速やかに消去・破棄を行います。

また、保存年限内の健康記録情報について本人からの情報公開依頼があった場合は、日光市情報公開条例(平成18年日光市条例第10号)に基づき公開します。

### 3. 健康記録情報の管理方法

健康記録情報については、日光市個人情報保護条例(平成18年日光市条例第11号)に基づき適切に管理します。また、外部委託機関における管理についても日光市個人情報保護条例を準用します。

## 第7章 計画の公表及び周知

### 1. 特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画の公表

- ① 市のホームページ、「広報」掲載による公表
- ② 関係機関・関係団体及び関係施設への冊子の配布による公表

### 2. 特定健康診査等実施の周知

本計画は、対象者が自ら健康維持に関心を持ち、主体的に生活習慣の改善に努めることにより、始めてその成果が期待できるものであることから、特定健康診査等を実施する趣旨の普及啓発は重要であり周知を図るものとします。

- ① 市のホームページ、「広報」への掲載による周知
- ② 各関係機関窓口でのチラシ、パンフレット等の設置及び配布
- ③ 関係機関との連携による地域活動において啓発活動の展開

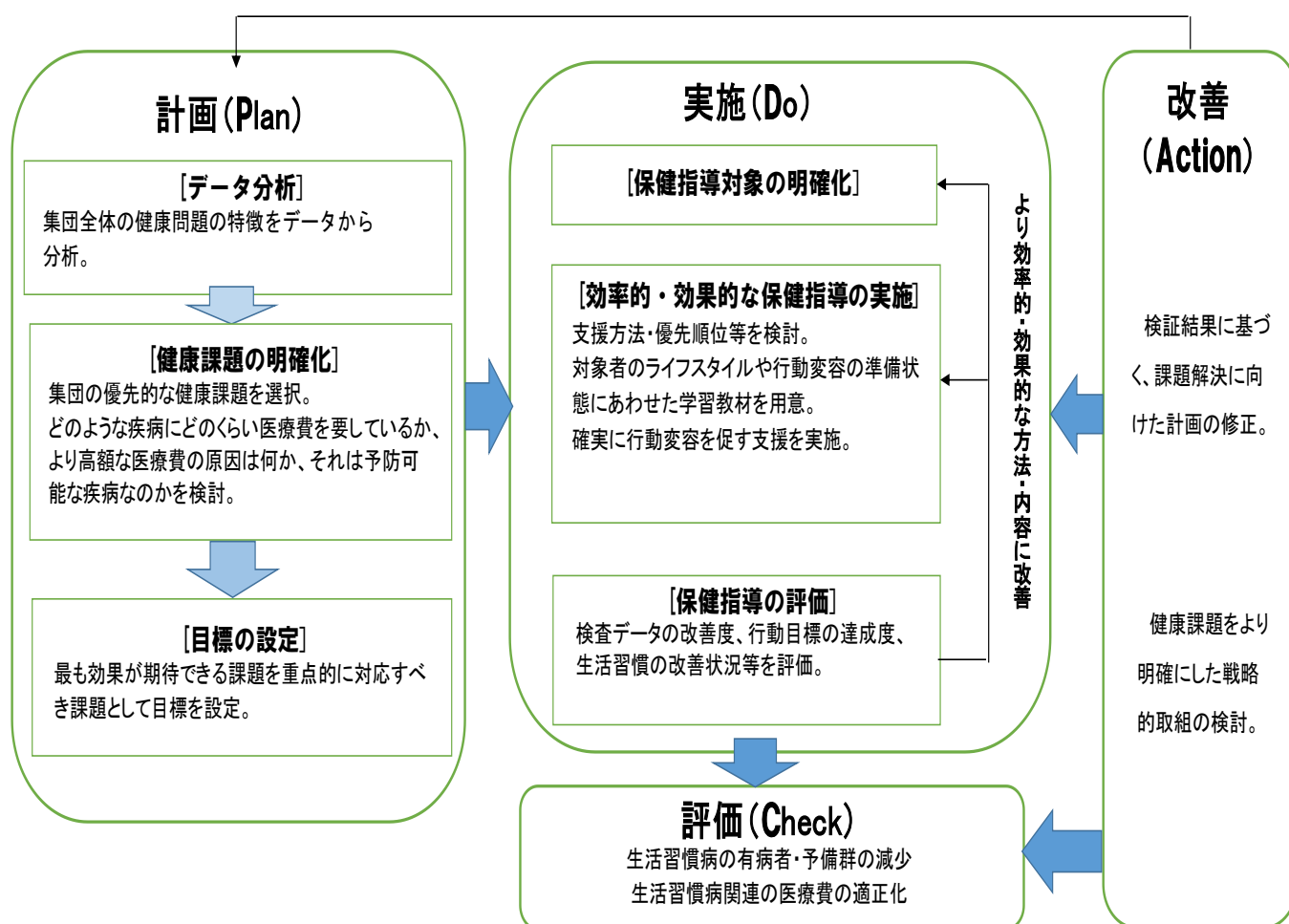
## 第8章 計画の評価及び見直し

実施計画及びデータヘルス計画の進行管理については、データ分析に基づいて明確になった健康課題に対し効率的・効果的な取り組み(特定健診・特定保健指導)を実施し、検証と評価を行います。その際PDCAサイクルにより実施します。また、計画の見直し等については、関係各課が連携し検討します。

なお、保険運営の健全化の観点から、日光市国民健康保険運営協議会に特定健康診査、特定保健指導の進捗状況を報告し、状況に応じて特定健診等実施計画を見直すこととします。

### 保健事業(健診・保健指導等)のPDCAサイクル

<出典:厚生労働省健康局「標準的な健診・保健指導プログラム」(平成25年4月)>



## 第9章 その他の事項

### 1. 関係機関との連携

本計画における各事業は、本市関係課との連携や医師会等の関係団体との協力により、効率的・効果的に実施していきます。

### 2. 地域包括ケアに係る取り組み

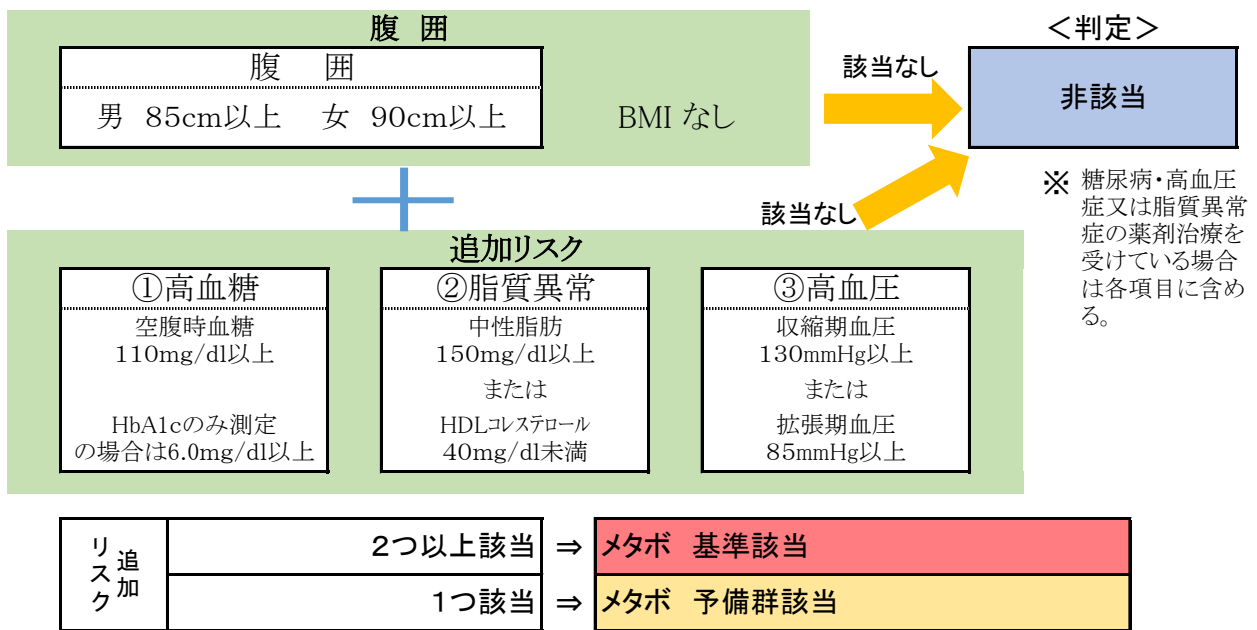
日光市国保加入者において、65歳以上加入者の割合を示す高齢化率は、平成29年4月時点で32.91%と高い状況となっています。高齢者が地域で元気に暮らし、医療サービスをできるだけ必要としないようにするための対策は、国保にとっても市全体にとっても非常に重要な課題と言えます。

また、重度の要介護状態となる原因として生活習慣病の重症化によるものが多くを占めています。要介護になる原因疾患のうち、脳血管疾患、糖尿病性腎症による人工透析等、生活習慣病の重症化に起因するものは予防が重要です。国保加入者の重症化予防を推進することが、要介護認定者の減少や市民一人ひとりの健康寿命の延伸につながることから、医療・介護・保健・福祉等各種サービスが相まって高齢者を支える地域包括ケアの構築が必要となります。

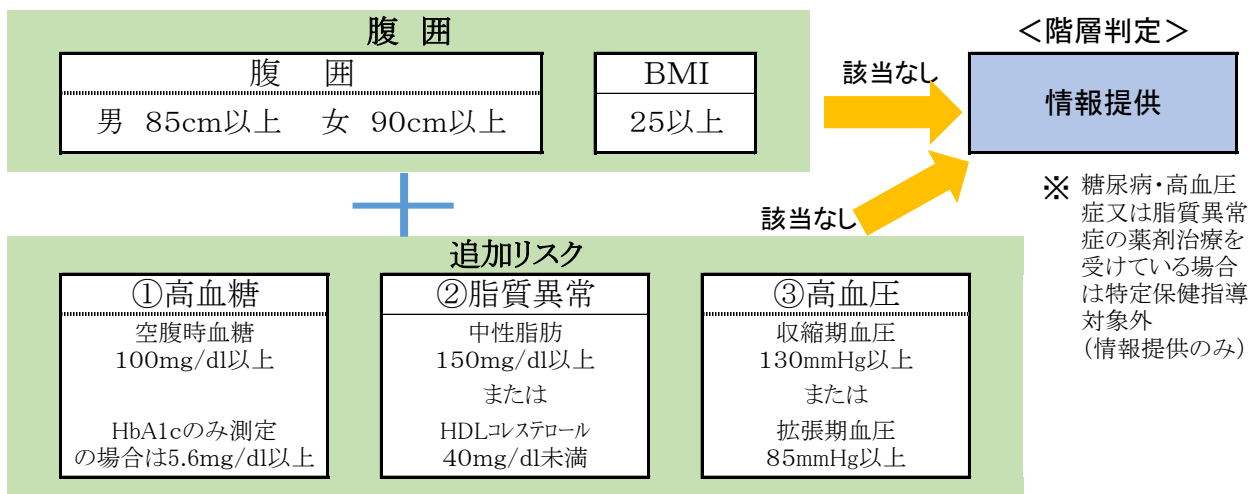
高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を継続することができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援に係る町内関係部署等が連携し、一体的に取り組むことを目的とした日光市地域包括ケアシステム推進ワーキングにも、国保部局として参加しています。

また、保健事業において、特定健診並びに後期高齢者の健診（はつらつ健診）の推進や関係かと連携した取り組みを行う等健康増進を図っています。

## 1 メタリックシンドローム(内臓脂肪症候群)診断



## 2 特定保健指導の階層化



| 1 腹囲(男85以上 女90以上) の場合 |        |      | ＜階層判定＞  |         |
|-----------------------|--------|------|---------|---------|
| 追加<br>リスク             | 2つ以上該当 |      | 40歳～64歳 | 65歳～74歳 |
|                       | 1つ該当   | 喫煙あり | 積極的支援   | 動機づけ支援  |
|                       |        | 喫煙なし | 動機づけ支援  |         |

| 2 BMI 25以上 の場合 |      |      | ＜階層判定＞  |         |
|----------------|------|------|---------|---------|
| 追加<br>リスク      | 3つ該当 |      | 40歳～64歳 | 65歳～74歳 |
|                | 2つ該当 | 喫煙あり | 積極的支援   | 動機づけ支援  |
|                |      | 喫煙なし | 動機づけ支援  |         |
|                | 1つ該当 |      | 動機づけ支援  |         |

< 略語解説 >

| 略語   | 説明         |
|------|------------|
| 国保   | 国民健康保険     |
| 後期   | 後期高齢者医療制度  |
| 社保   | 社会保険       |
| 国保以外 | 社会保険・共済組合等 |
| 要精検  | 要精密検査      |

---

---

|      |                                                                                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行年月 | 平成 3 0 年 3 月                                                                           |
| 発 行  | 栃木県日光市                                                                                 |
| 編 集  | 日光市 市民生活部 保険年金課<br>〒321-1292<br>栃木県日光市今市本町 1 番地<br>電話 0288-21-5110<br>FAX 0288-21-5120 |

---

---